

# 令和 6 年度第 2 四半期 (令和 6 年 7 月～9 月)

## 環境放射線測定結果

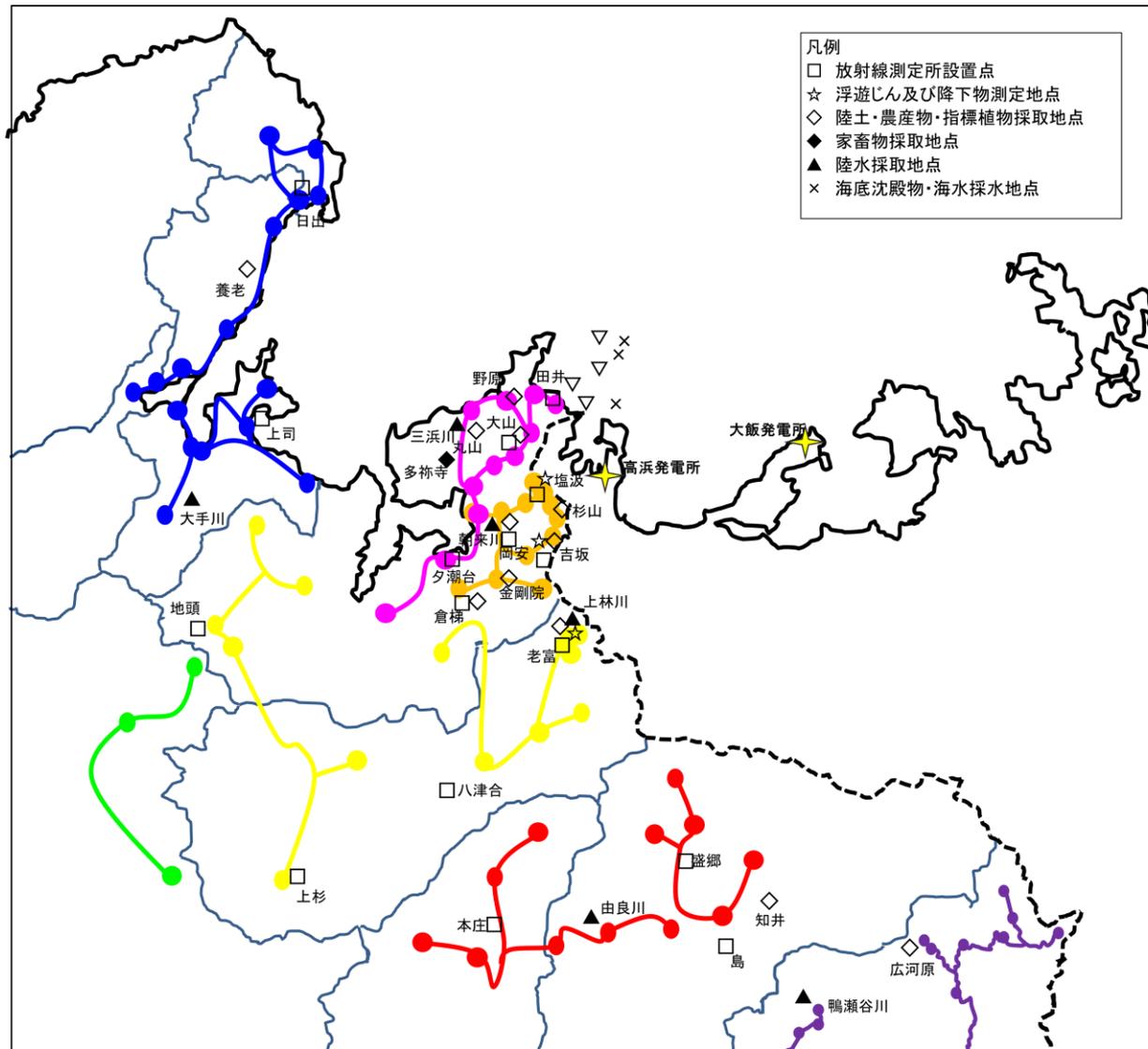
# 令和6年度高浜発電所及び大飯発電所環境放射線等測定計画 令和6年度第2四半期（令和6年7月～9月）

## ①測定所での監視



モニタリングポスト設置地点

## ②環境放射能測定車、環境放射線調査車で の監視



令和6年度環境放射線測定地点、環境試料採取地点及び環境放射線調査車測定地点

### ③ガンマ線放出核種分析、トリチウム分析結果

令和6年度 月別検体採取計画表

試料名		R6/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7/1	2	3	試料数
陸上モニタリング	浮遊じん (ガンマ線放出核種)	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	36
	ガス状ヨウ素		①				①			①			①	4
	降水物 (雨水・ちり)	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	12
	陸源水								②					2
	河川水		⑮						②					17
	陸上土				⑫									12
	農産物								⑦					7
	米													
	大豆										②			2
	大麦									①				1
	小麦										①			1
	大豆									②				2
	馬鈴薯			②										2
	梅			①										1
	きゅうり					②								2
	牛乳		①							②				3
	植指物							③						3
	松葉			⑦					⑦					14
	よもぎ													
海洋モニタリング	めばる	④												4
	さざえ			③										3
	なまこ	④												4
	わかめ	③												3
	あじ							①						1
	あおりいか								①					1
	うまづらはぎ		①											1
	するめいか	①												1
	かたくちいわし			①										1
	(指標海洋生物)	④												4
ほんだわら														
海底沈積物					③						③		6	
海水	③		③		④		③		③		④		20	

# 令和6年度第2四半期 (令和6年7月～9月)

## 環境放射線測定結果

### ① 測定所での監視

1. 空間放射線空気吸収線量率
2. 浮遊じん中の全 $\alpha$ ・ $\beta$ 放射能
3. 風配図

### ② 環境放射能測定車、環境放射線調査車での監視

1. 環境放射能測定車による測定
2. 環境放射線調査車による測定

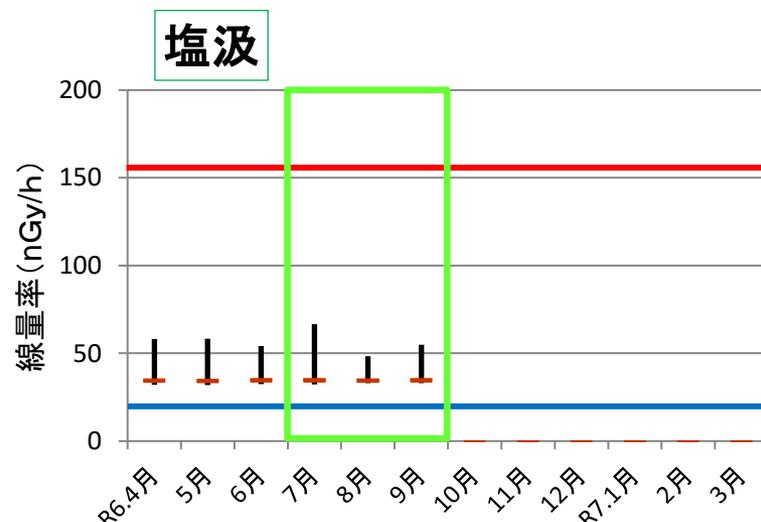
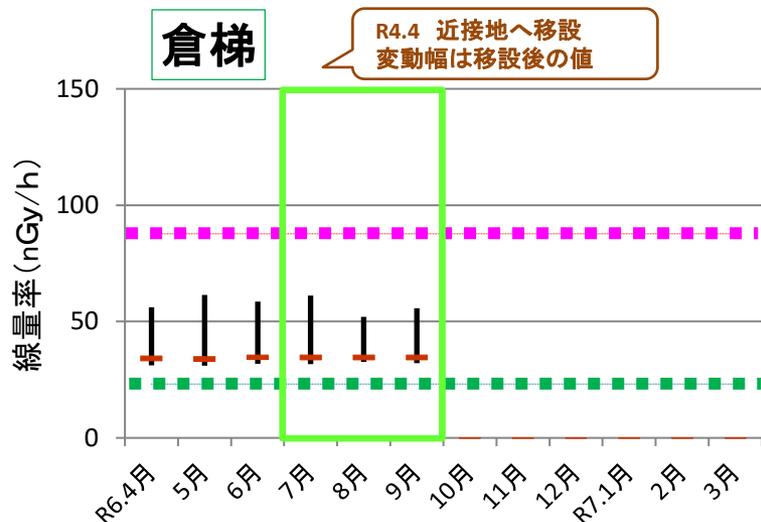
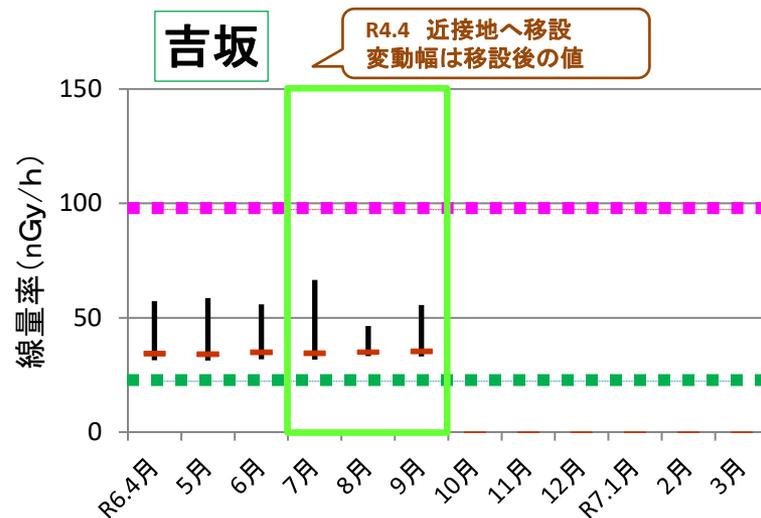
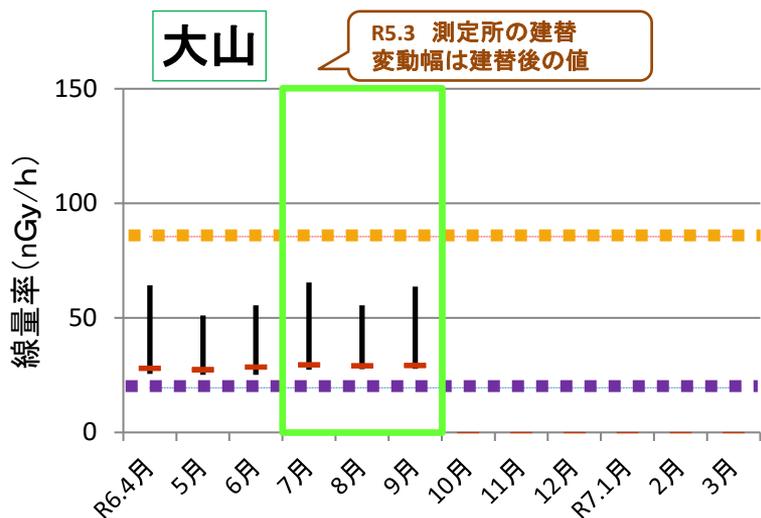
### ③ ガンマ線放出核種分析、トリチウム分析結果

# 空間放射線空気吸収線量率 測定結果

- 2箇所での測定所で過去\*の変動の範囲をわずかに下回り、他は過去\*の変動範囲内でした。（\*過去=10～1年）

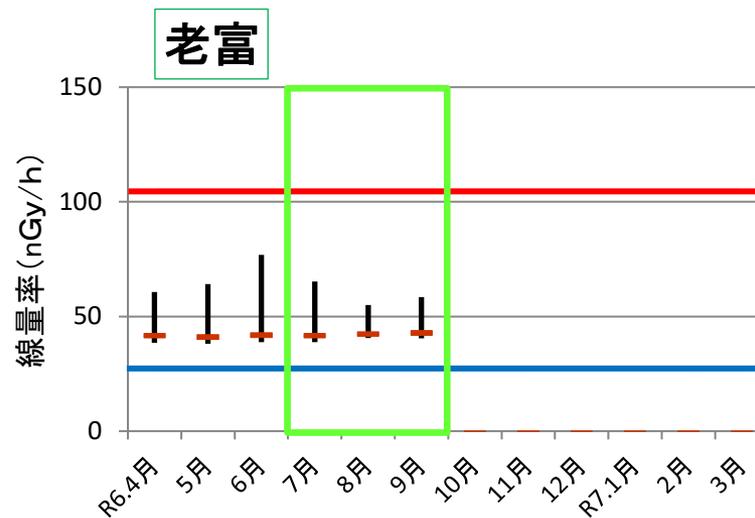
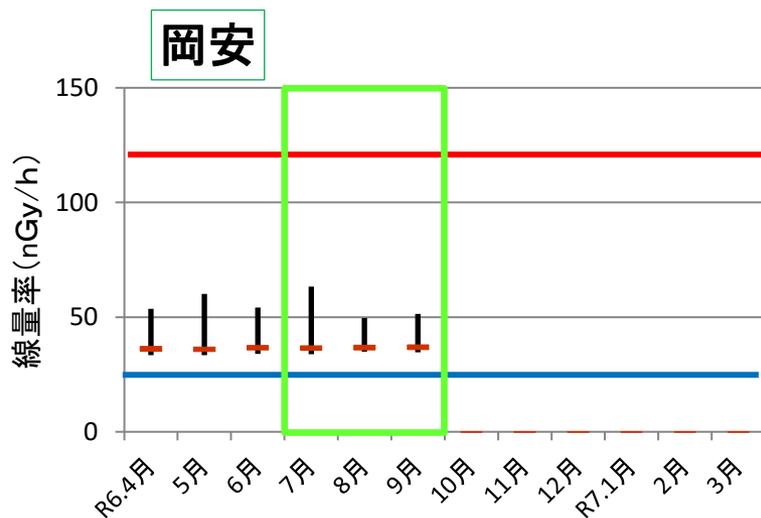
（資料 1 - 2 p.1-11）

# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)



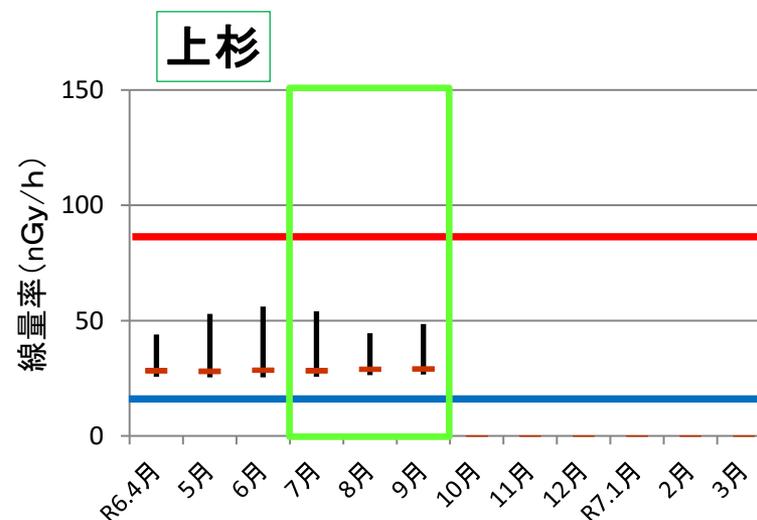
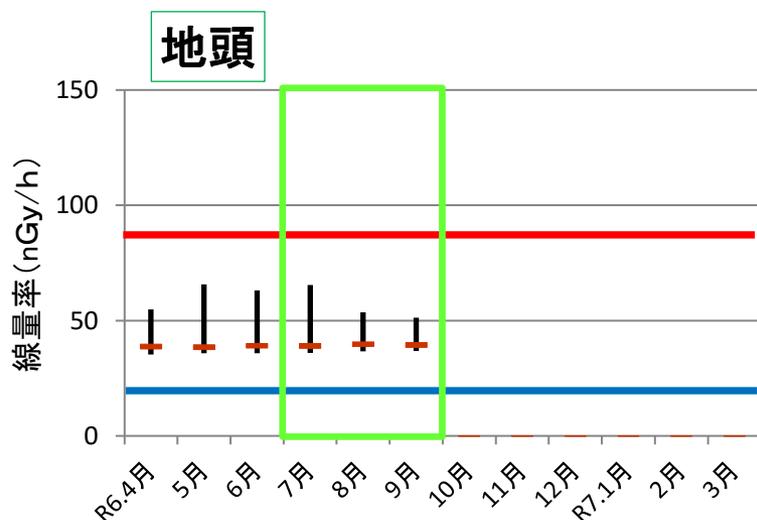
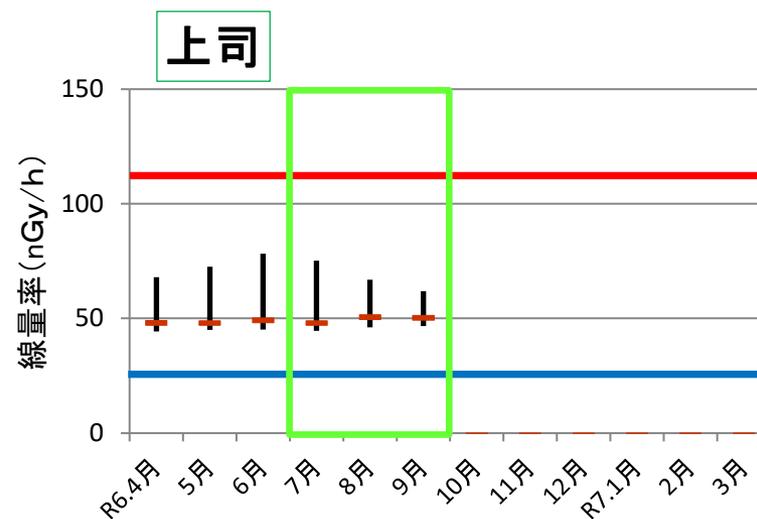
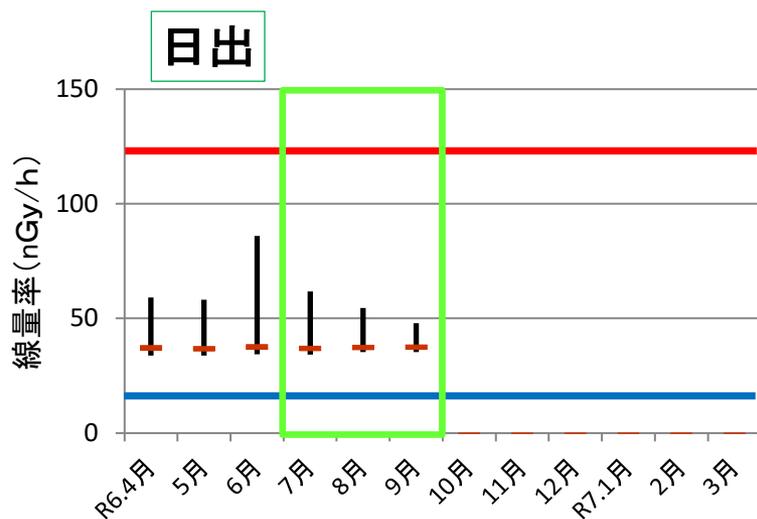
横棒(—): 月平均値。縦棒(|): 各月の最大～最小。赤・青線(—、—): 変動範囲(過去10年間の最大・最小)。  
 桃・緑破線(—、—): 変動範囲(過去2年間の最大・最小)。橙・紫破線(—、—): 変動範囲(過去1年間の最大・最小)。  
 三角(▲、▼)印: 変動範囲を超過。

## 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)



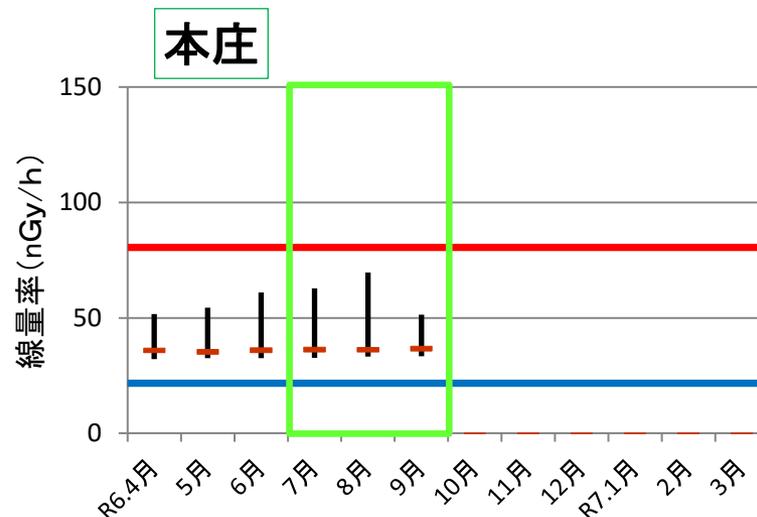
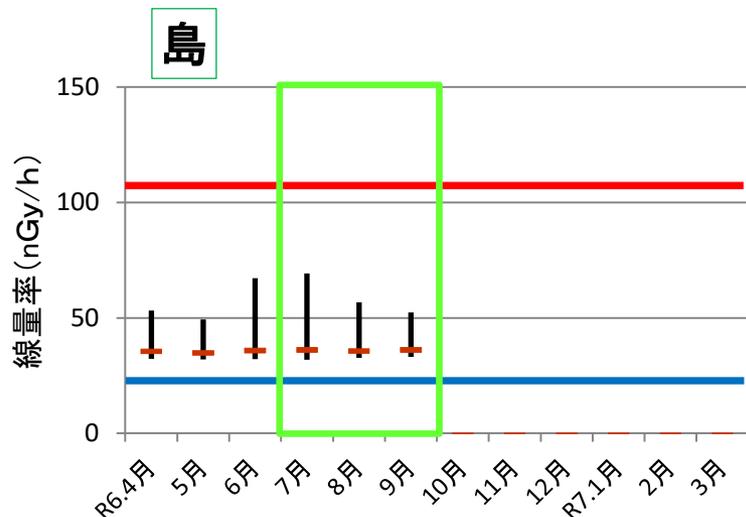
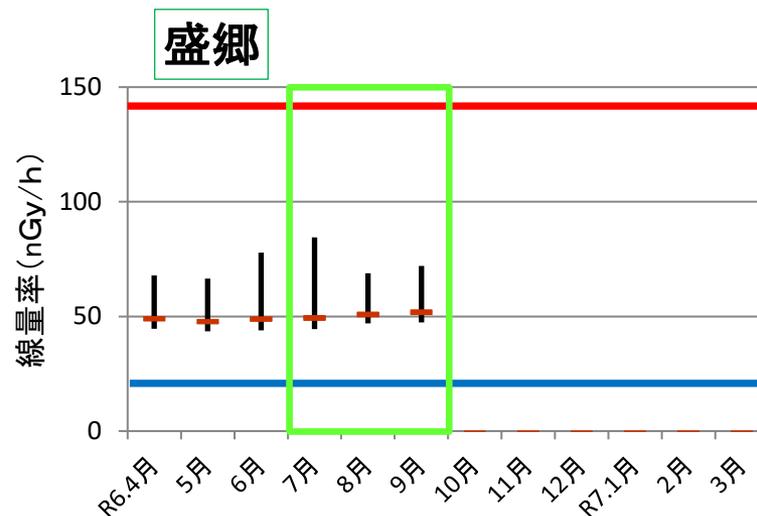
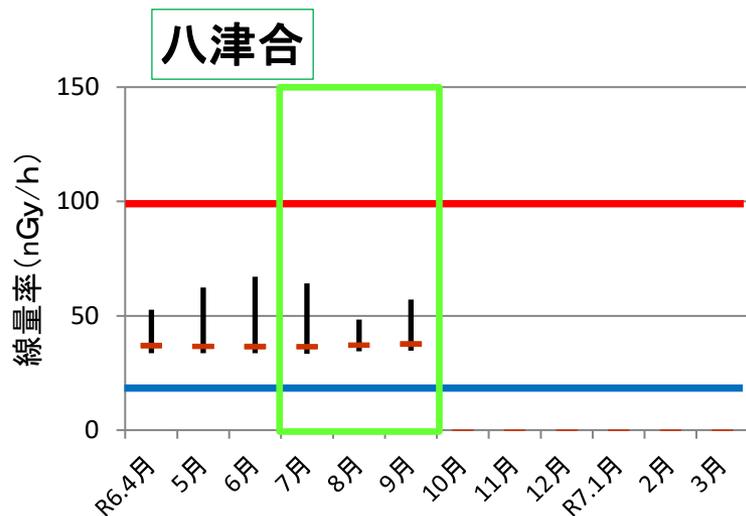
横棒(—): 月平均値。縦棒(|): 各月の最大～最小。赤・青線(—、—): 変動範囲(過去10年間の最大・最小)。  
 三角(▲、▼)印: 変動範囲を超過。

## 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)



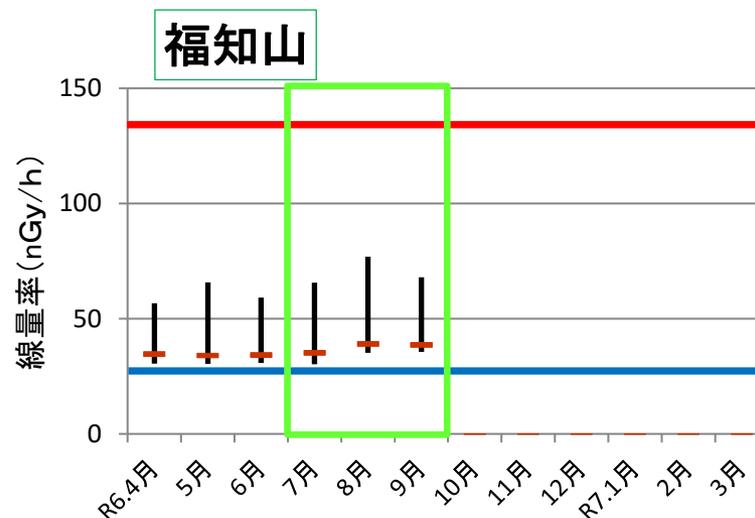
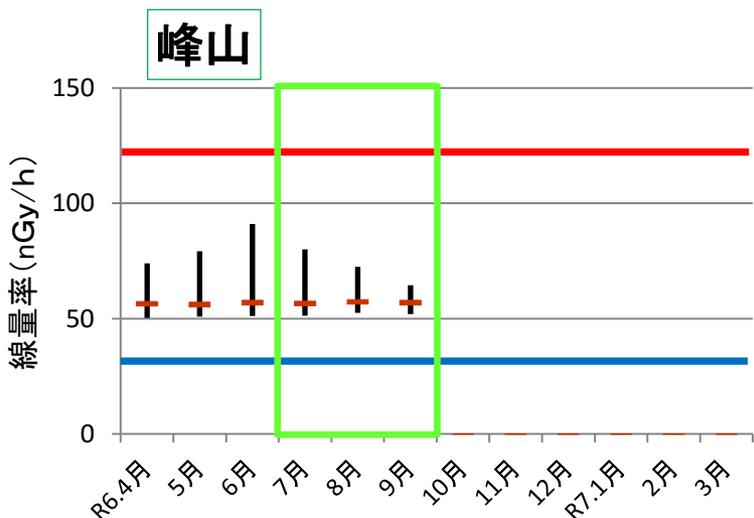
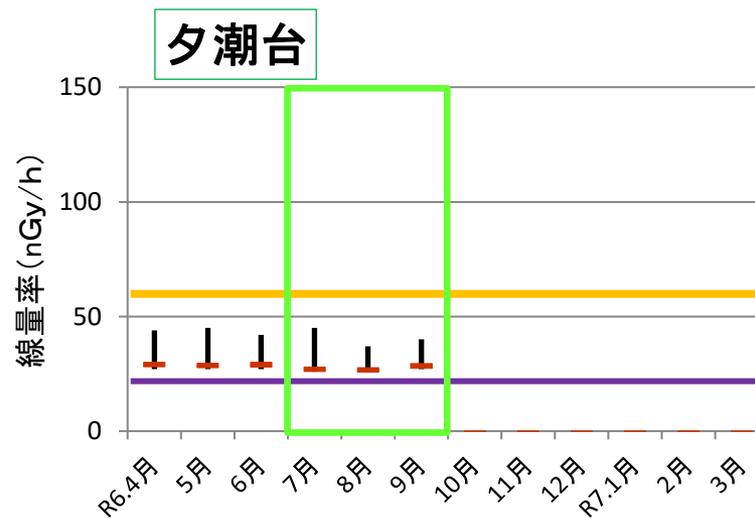
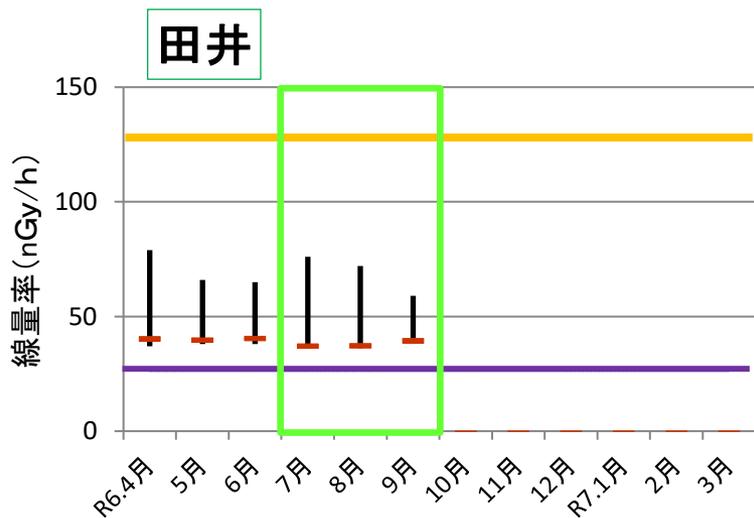
横棒(—): 月平均値。縦棒(|): 各月の最大～最小。赤・青線(—、—): 変動範囲(過去10年間の最大・最小)。  
 三角(▲、▼)印: 変動範囲を超過。

空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)



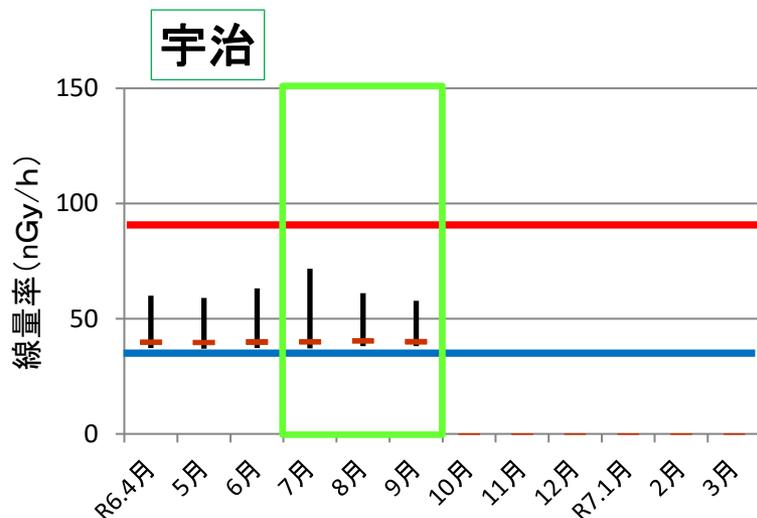
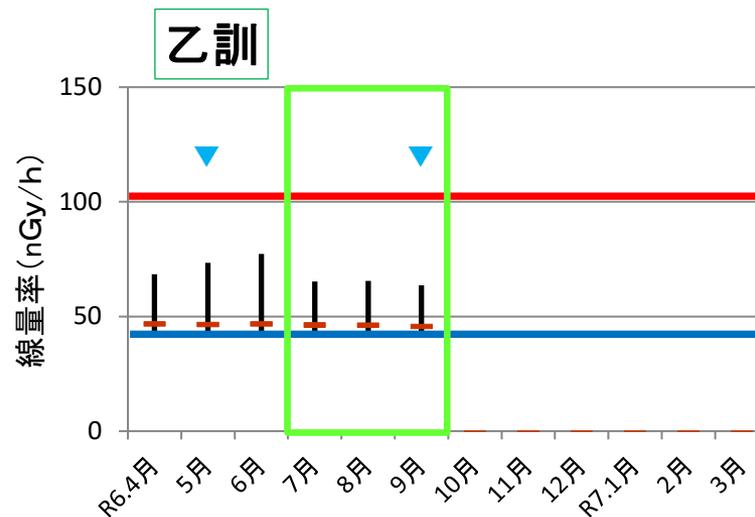
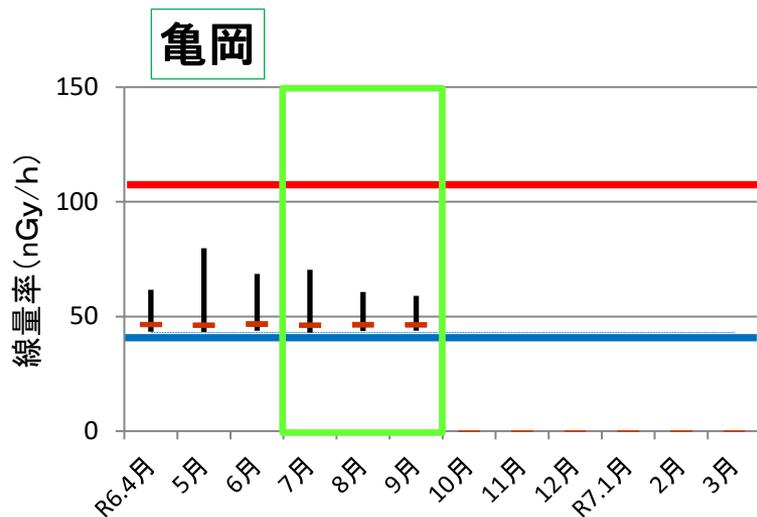
横棒(—): 月平均値。縦棒(|): 各月の最大～最小。赤・青線(—、—): 変動範囲(過去10年間の最大・最小)。  
 三角(▲、▼)印: 変動範囲を超過。

空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度) / 関西電力・府独自



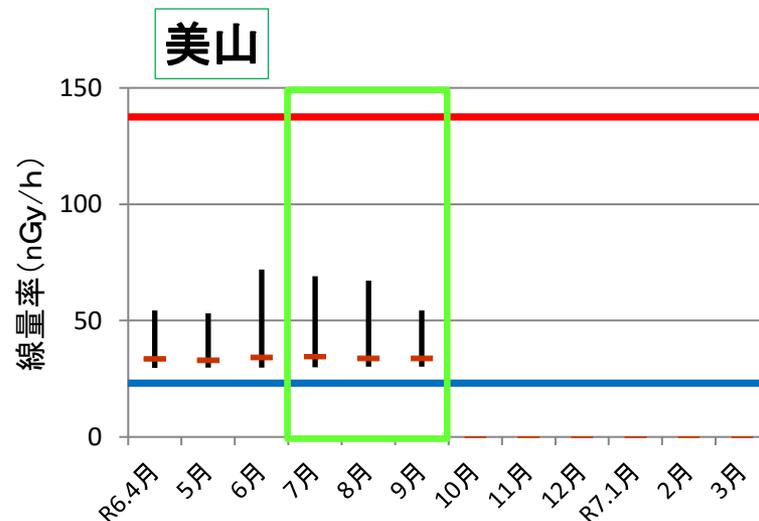
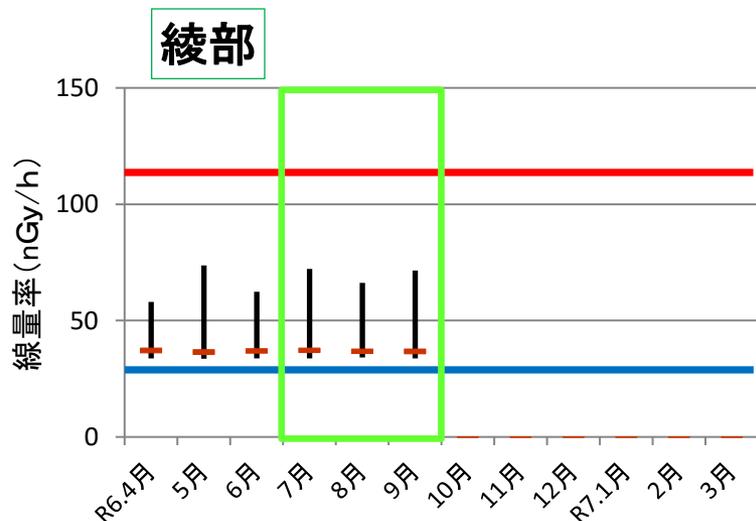
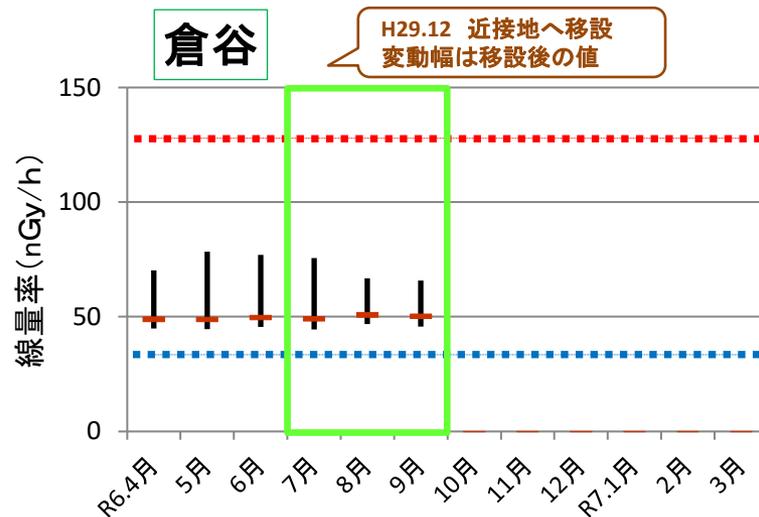
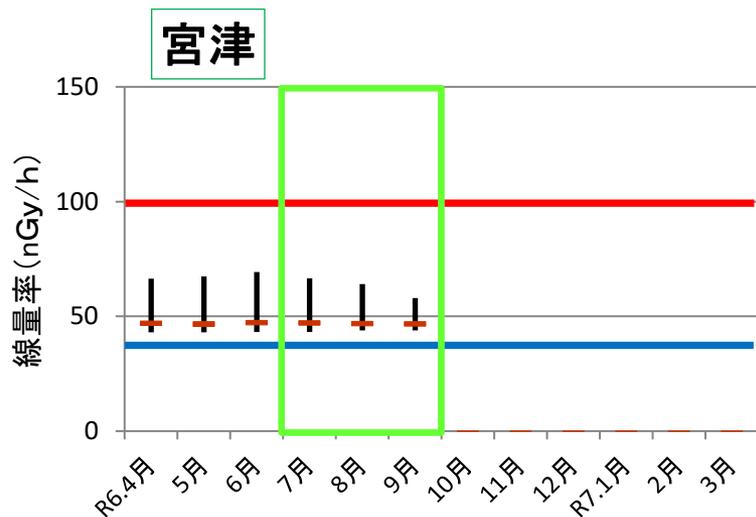
横棒(—): 月平均値。縦棒(|): 各月の最大～最小。橙・紫線(—・—): 変動範囲(過去3年間の最大・最小)。  
 赤・青線(—、—): 変動範囲(過去10年間の最大・最小)。三角(▲、▼)印: 変動範囲を超過。

## 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果（令和6年度）／府独自



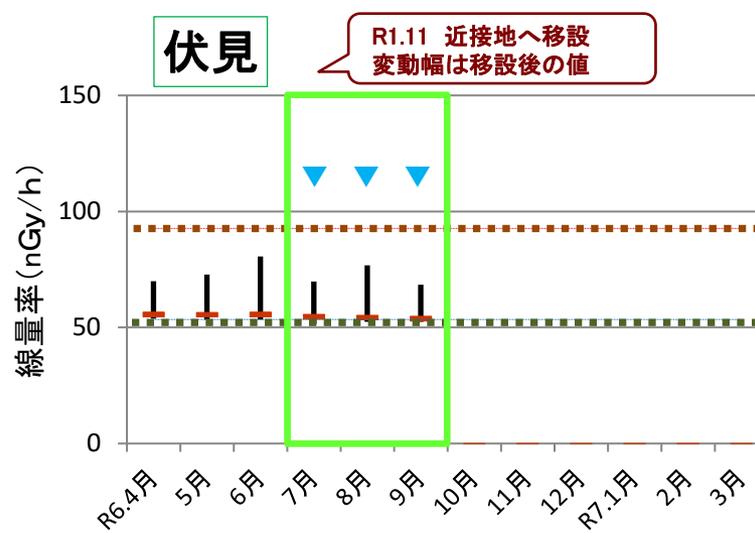
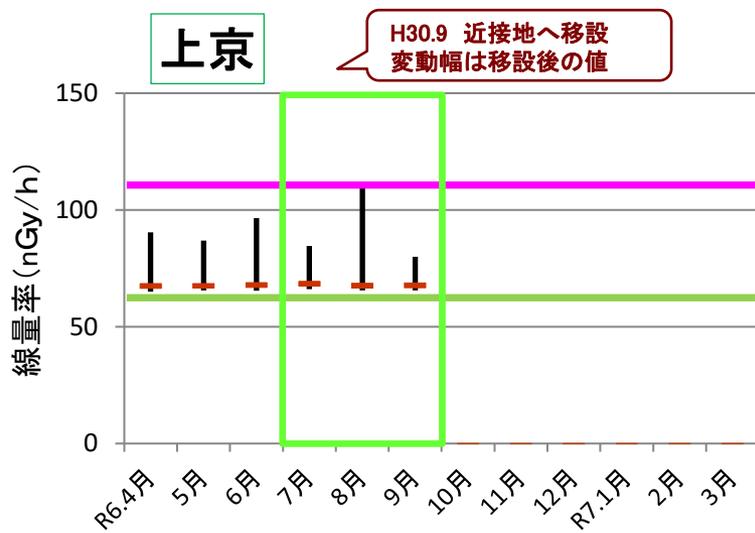
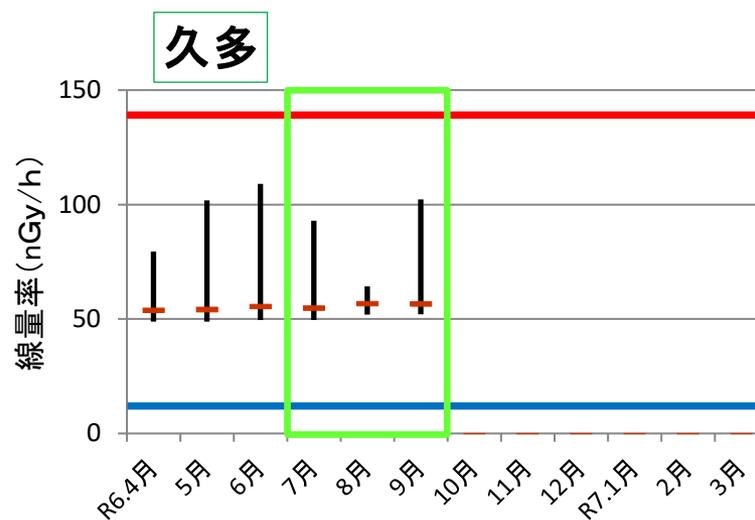
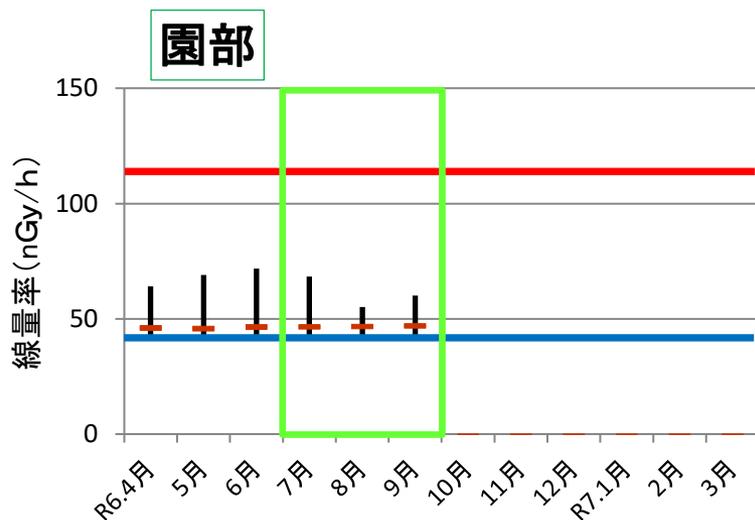
横棒(—): 月平均値。縦棒(|): 各月の最大～最小。赤・青線(—、—): 変動範囲(過去10年間の最大・最小)。  
 三角(▲、▼)印: 変動範囲を超過。

## 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果（令和6年度）／水準



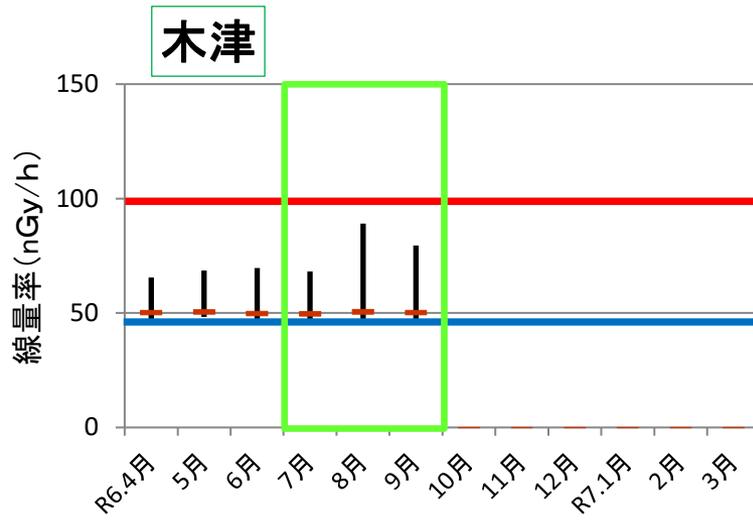
横棒(—): 月平均値。縦棒(|): 各月の最大～最小。赤・青線(—、—): 変動範囲(過去10年間の最大・最小)。  
赤・青破線(- -、- -): 変動範囲(過去6年間の最大・最小)。三角(▲、▼)印: 変動範囲を超過。

## 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果（令和6年度）／水準



横棒(—): 月平均値。縦棒(|): 各月の最大～最小。赤・青線(—、—): 変動範囲(過去10年間の最大・最小)。  
 桃・緑線(—、—): 変動範囲(過去5年間の最大・最小)。茶・緑破線(---、---): 変動範囲(過去4年間の最大・最小)。  
 三角(▲、▼)印: 変動範囲を超過。※: 機器故障。

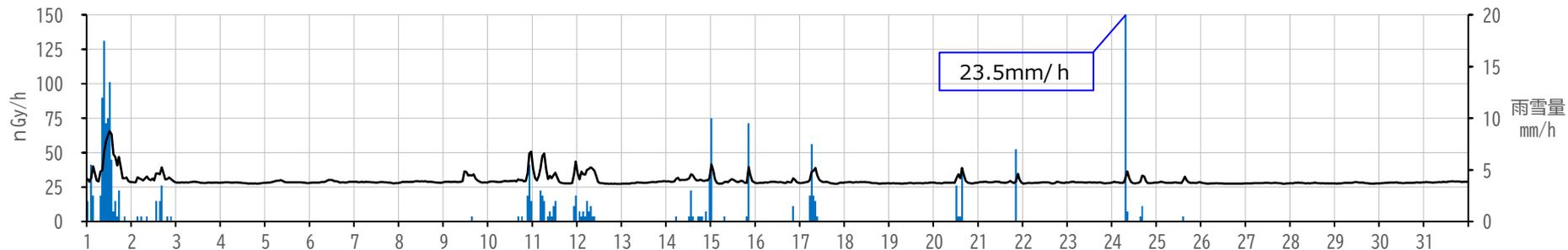
## 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果（令和6年度）／水準



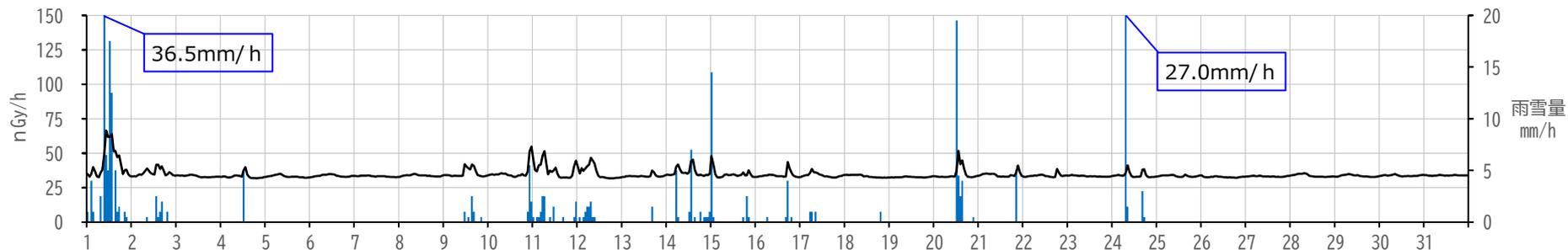
横棒(—):月平均値。縦棒(|):各月の最大～最小。赤・青線(—、—):変動範囲(過去10年間の最大・最小)。  
 三角(▲、▼)印:変動範囲を超過。

## 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

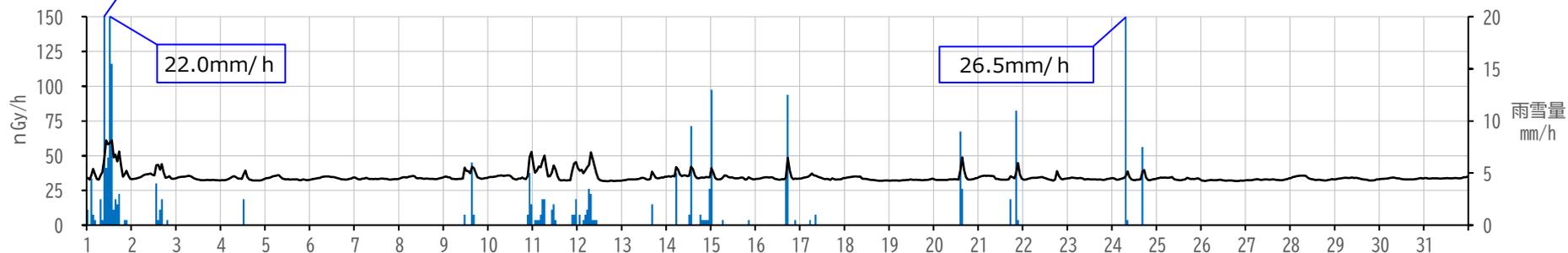
令和6年7月 大山



令和6年7月 吉坂

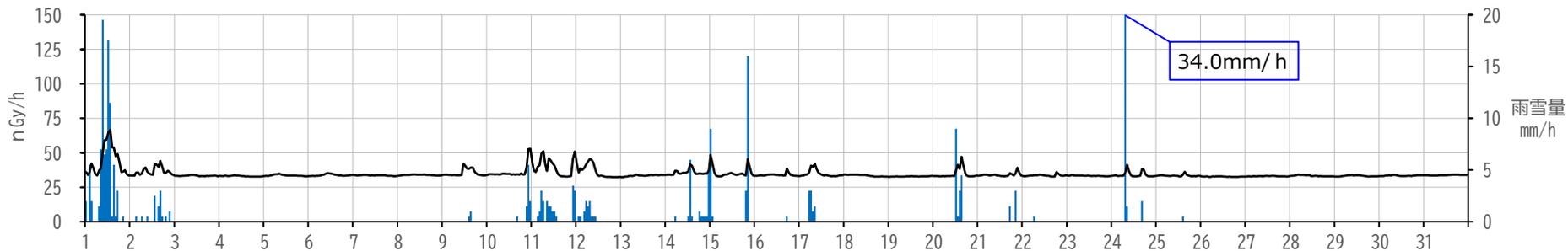


令和6年7月 倉梯

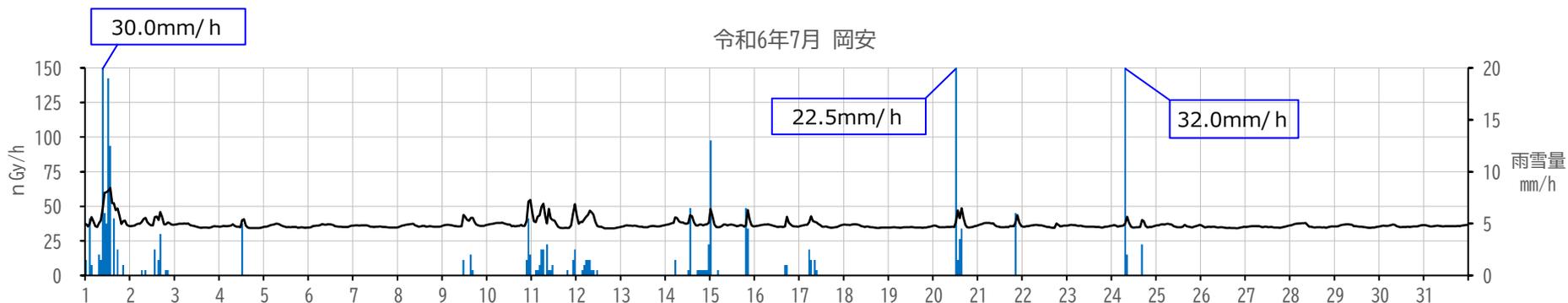


## 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

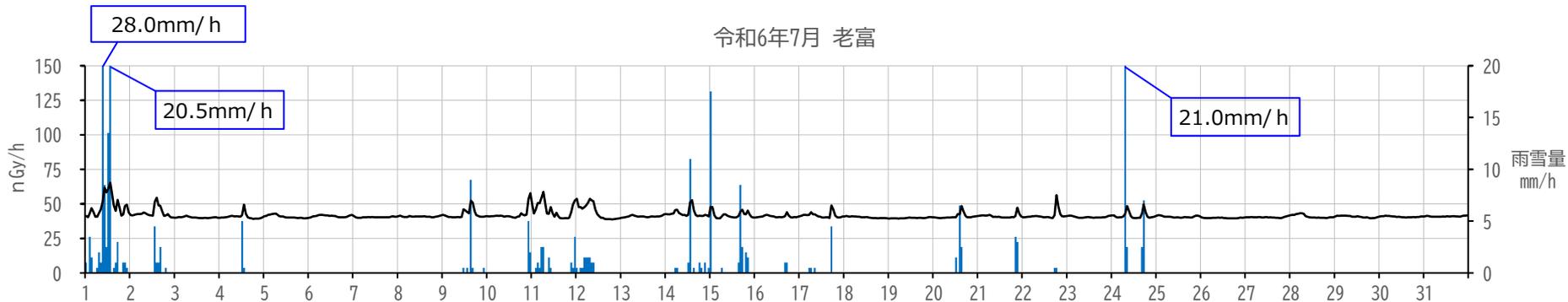
令和6年7月 塩浜



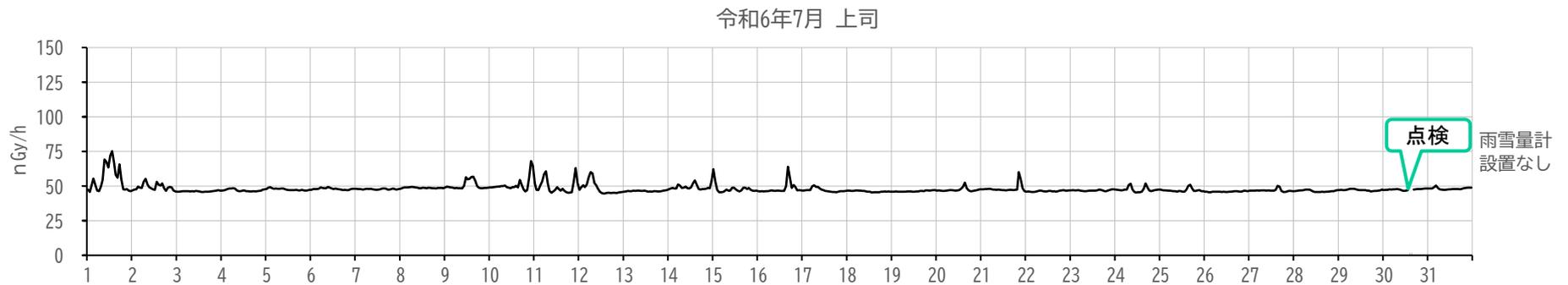
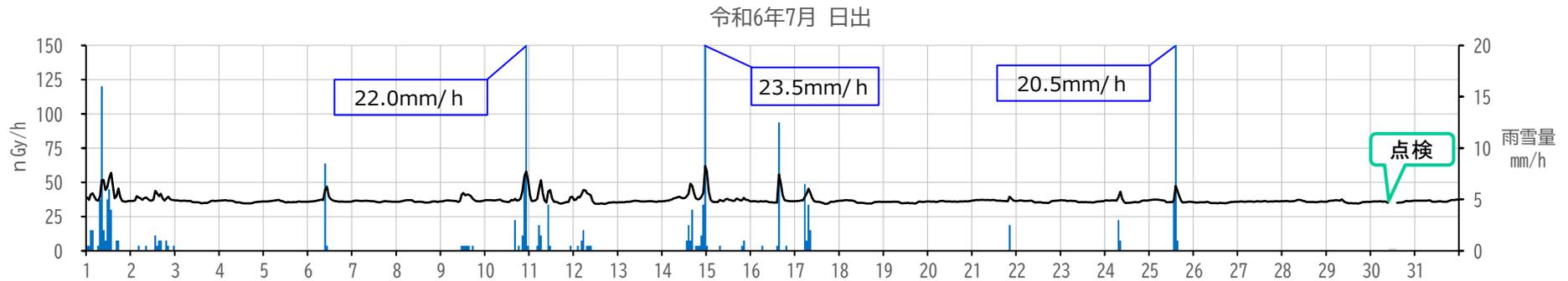
令和6年7月 岡安



令和6年7月 老富

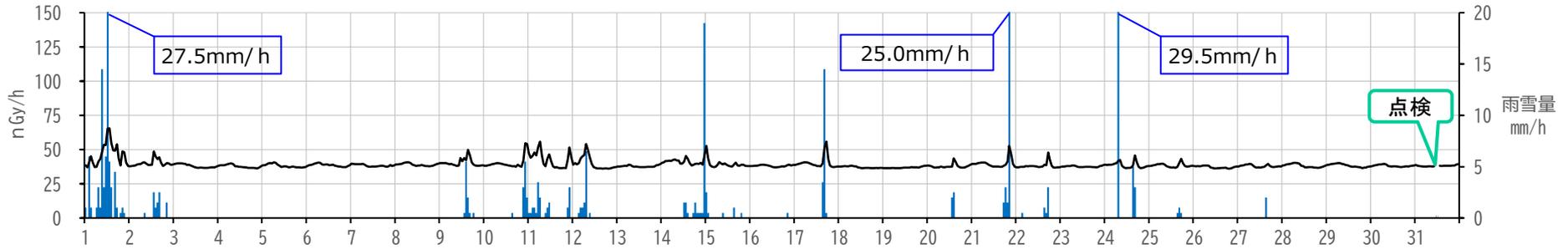


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

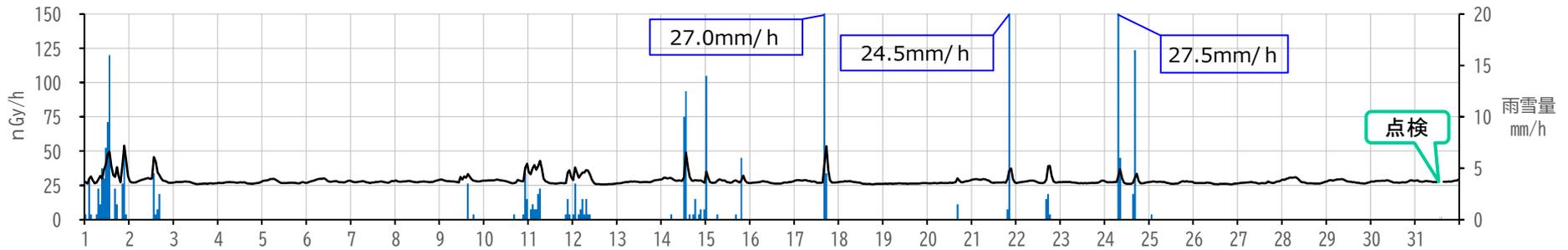


## 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

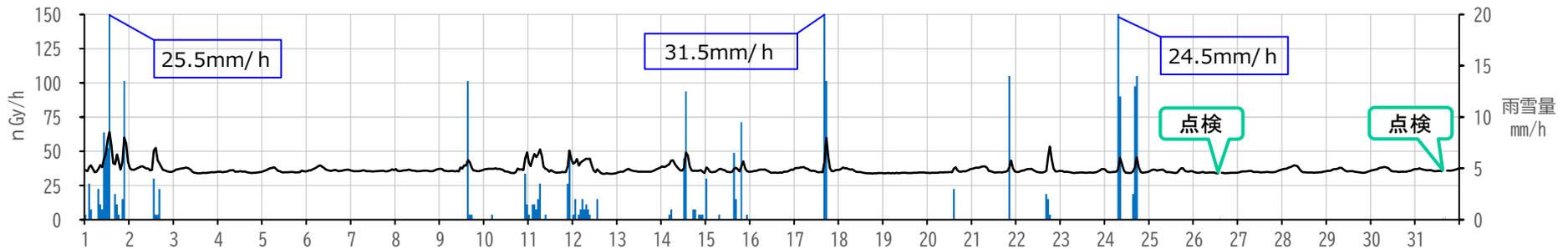
令和6年7月 地頭



令和6年7月 上杉

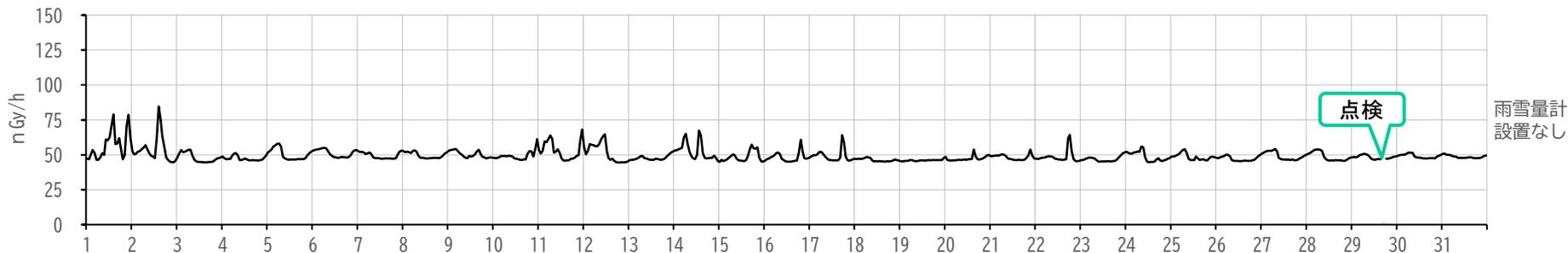


令和6年7月 八津合

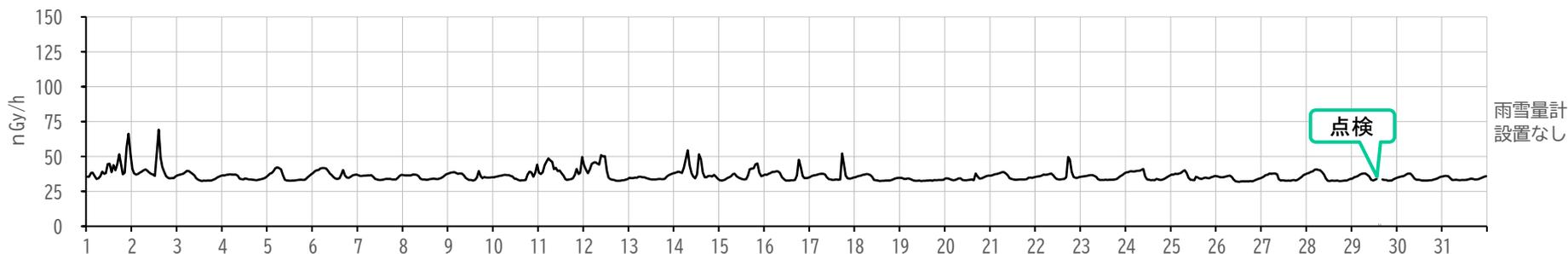


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

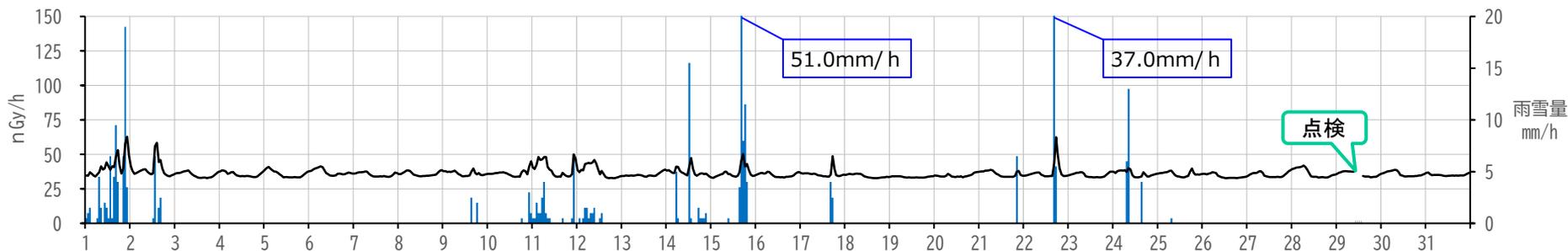
令和6年7月 盛郷



令和6年7月 島



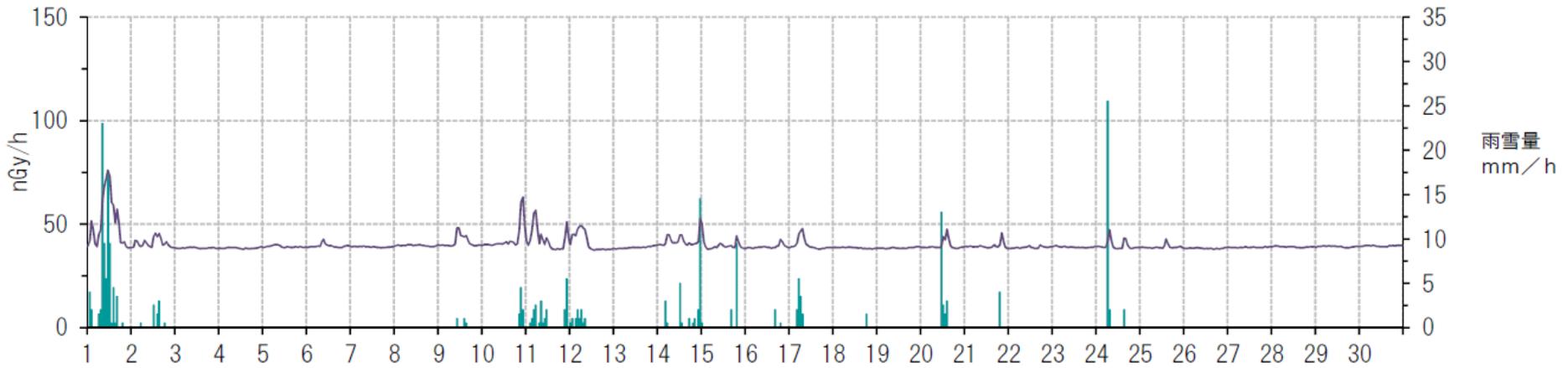
令和6年7月 本庄



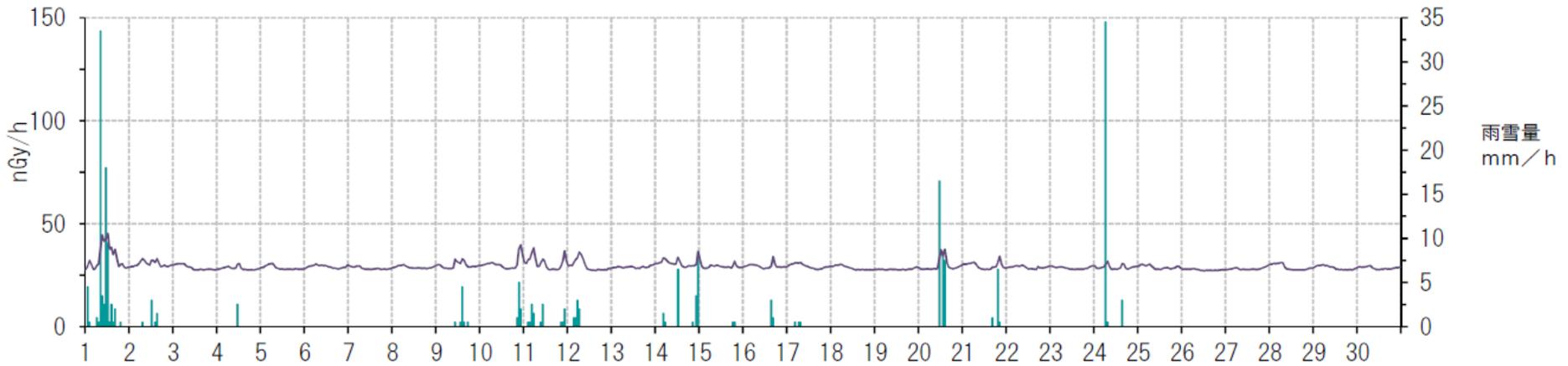
# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

参考(関西電力)

令和6年7月 田井



令和6年7月 夕潮台





モニタリングポスト設置地点

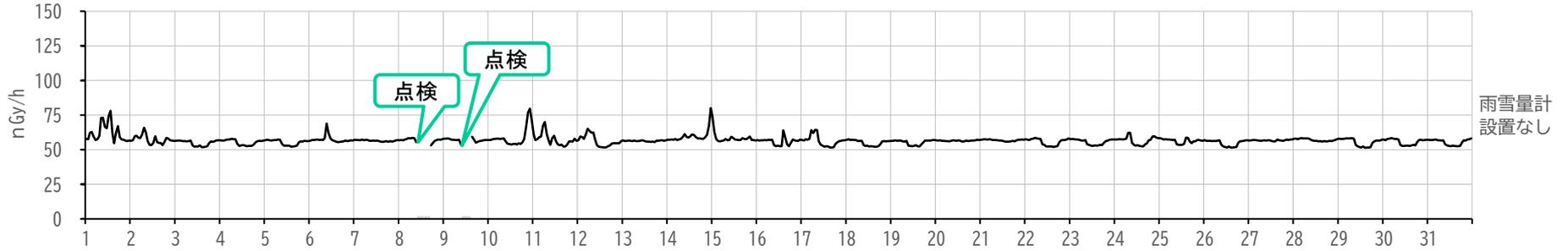


京都地方気象台HP「観測所配置図」

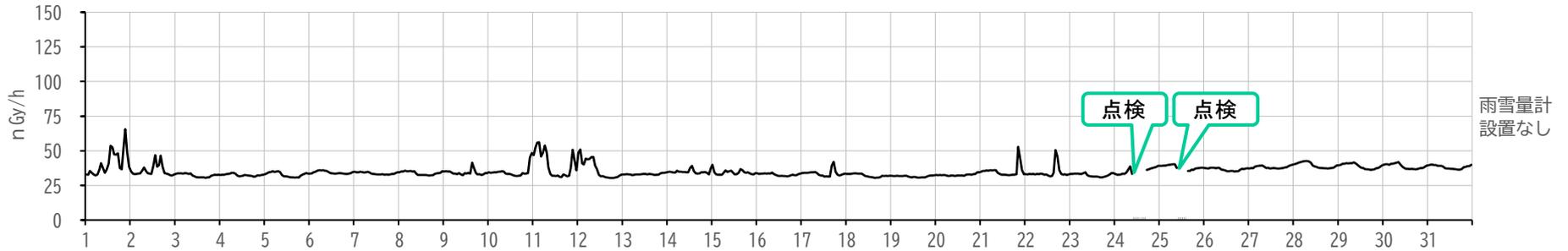
※雨雪量計を設置していないモニタリングポスト  
(環境放射能水準調査地点、府独自設置地点)は  
気象台観測所の降雨を参考にしています

# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果（令和6年度）

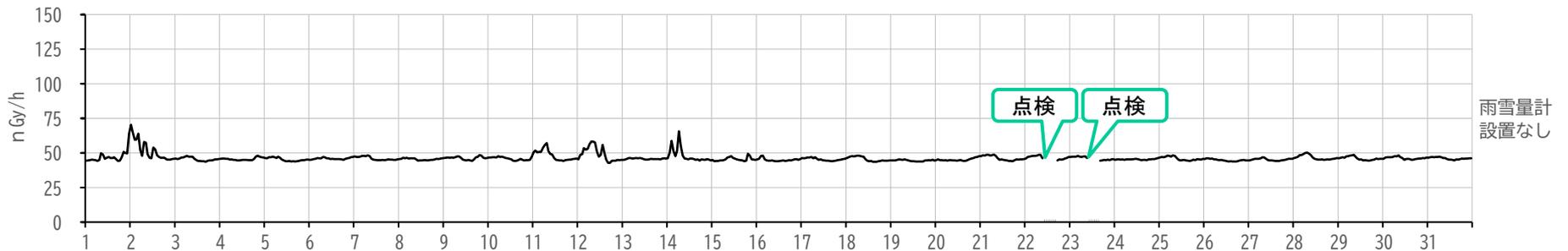
令和6年7月 峰山



令和6年7月 福知山

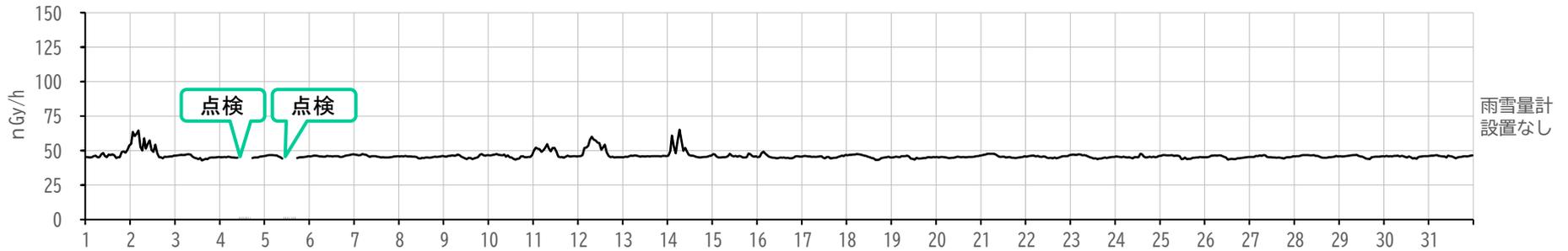


令和6年7月 亀岡



# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果（令和6年度）

令和6年7月 乙訓

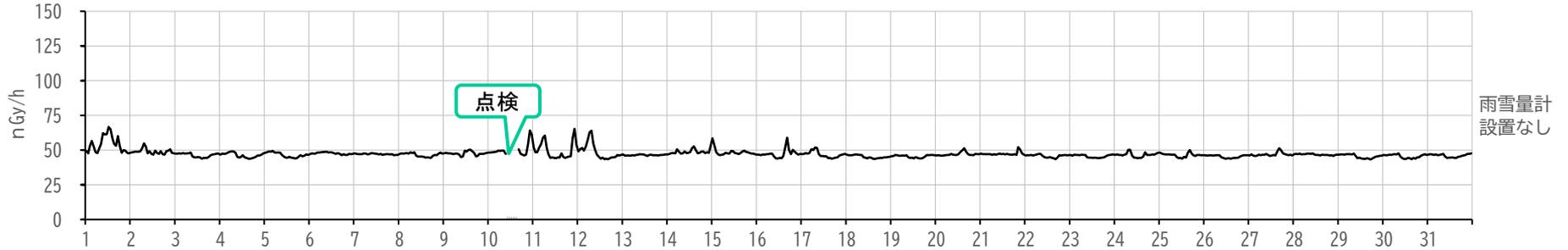


令和6年7月 宇治

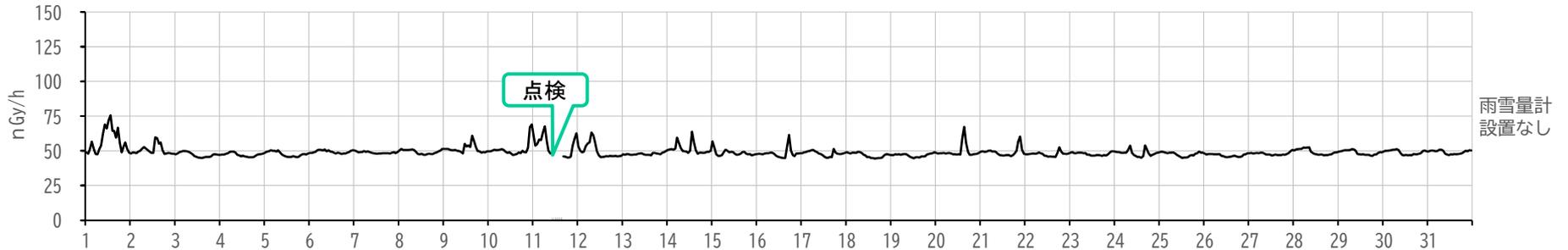


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

令和6年7月 宮津



令和6年7月 倉谷

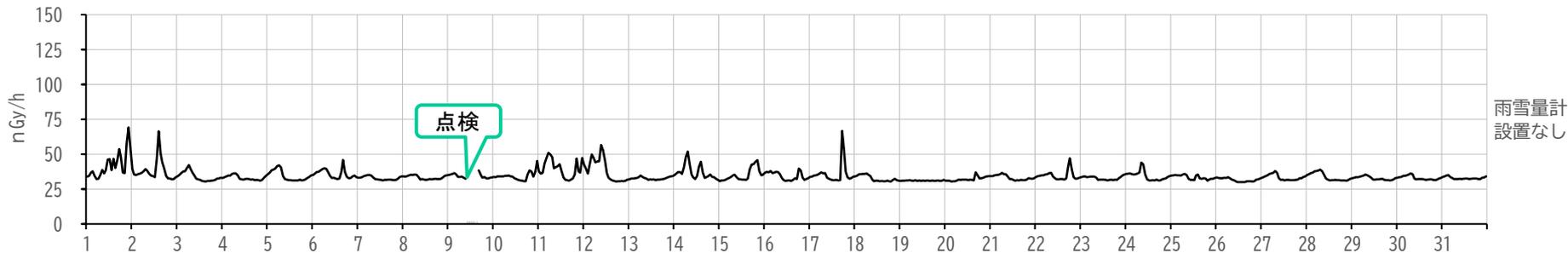


令和6年7月 綾部

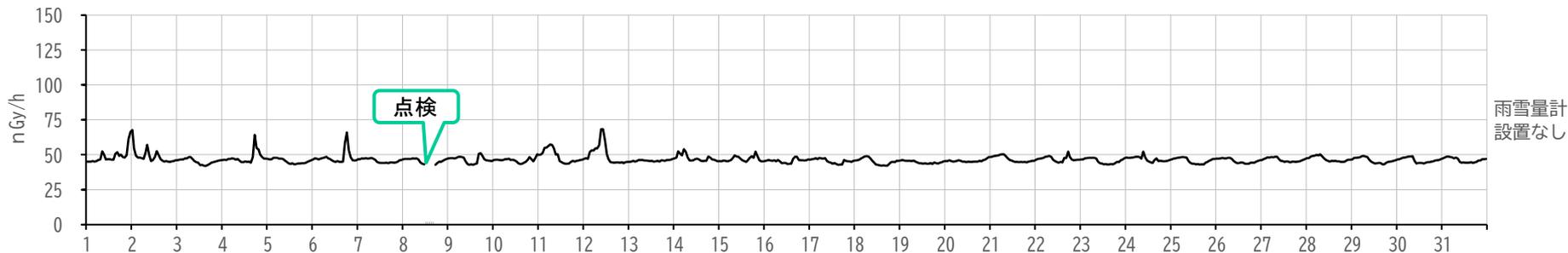


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

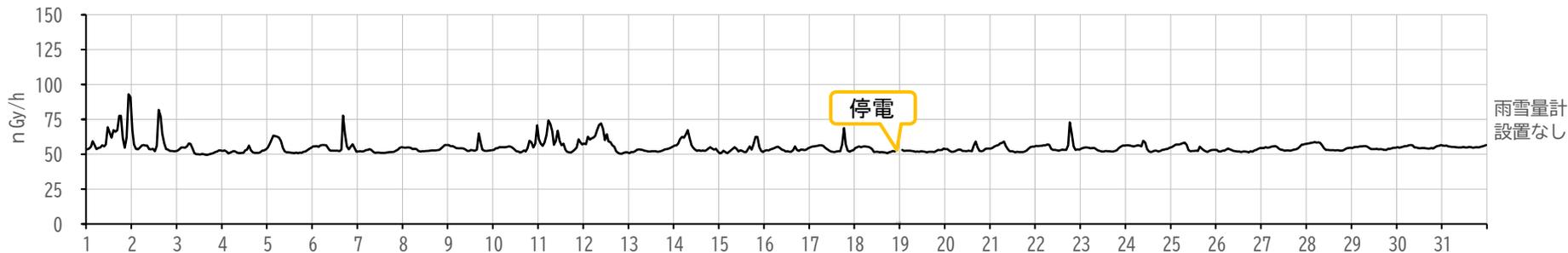
令和6年7月 美山



令和6年7月 園部

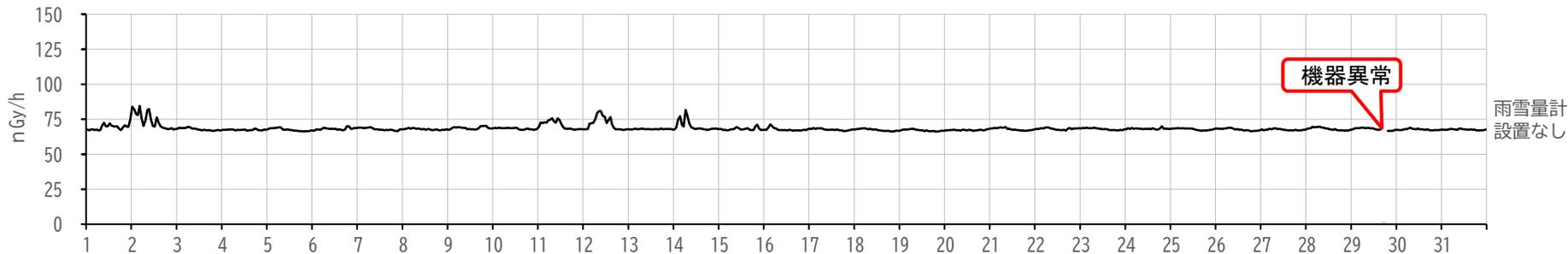


令和6年7月 久多



# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

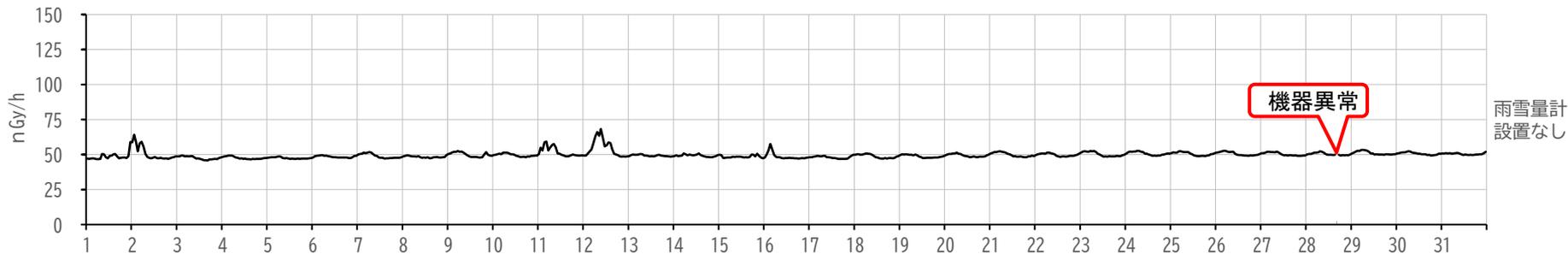
令和6年7月 上京



令和6年7月 伏見

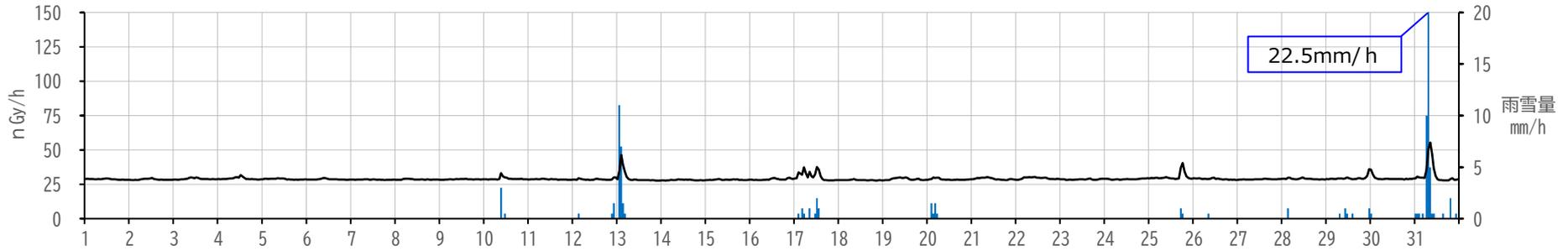


令和6年7月 木津

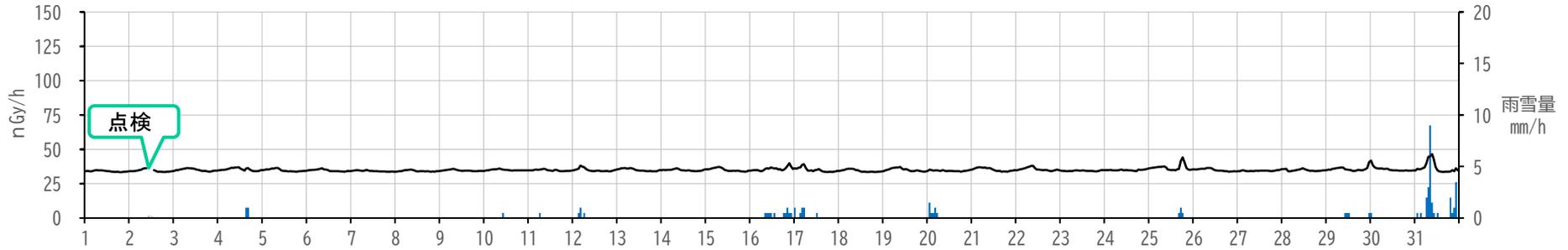


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

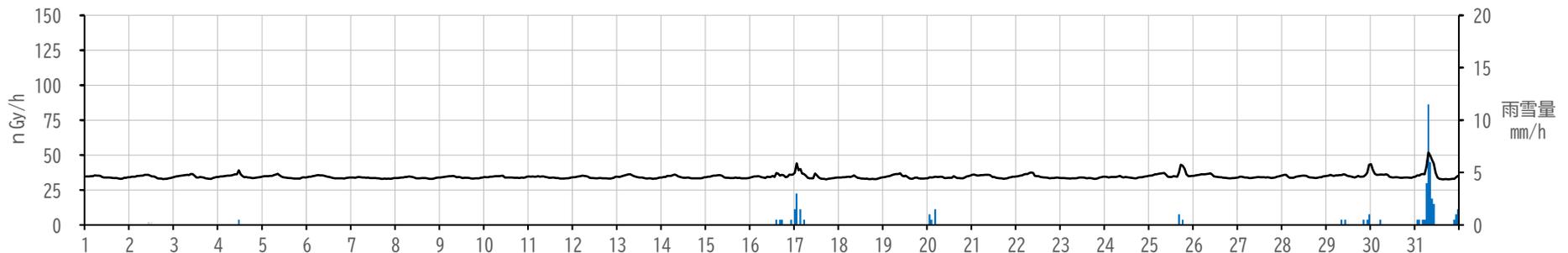
令和6年8月 大山



令和6年8月 吉坂

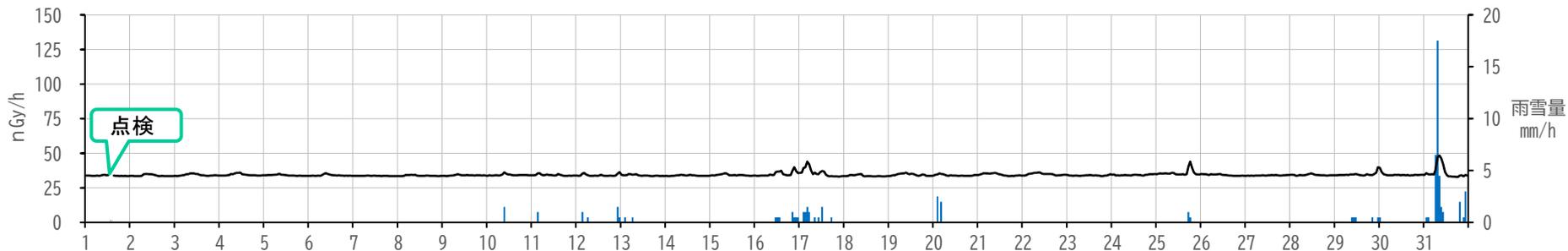


令和6年8月 倉梯

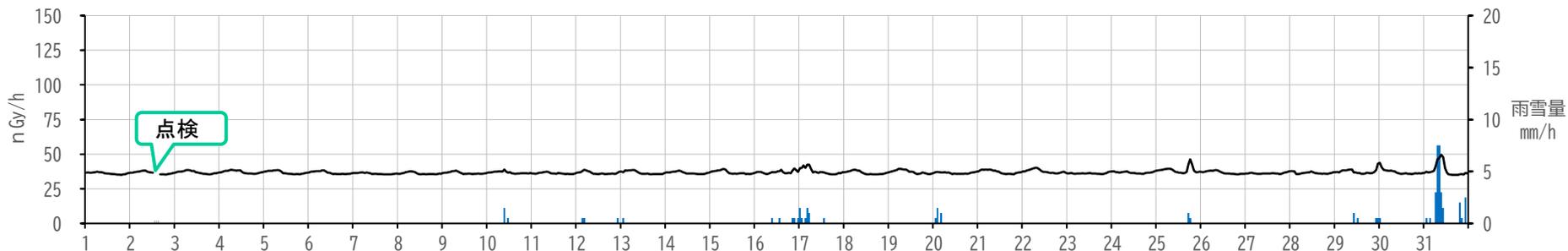


## 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

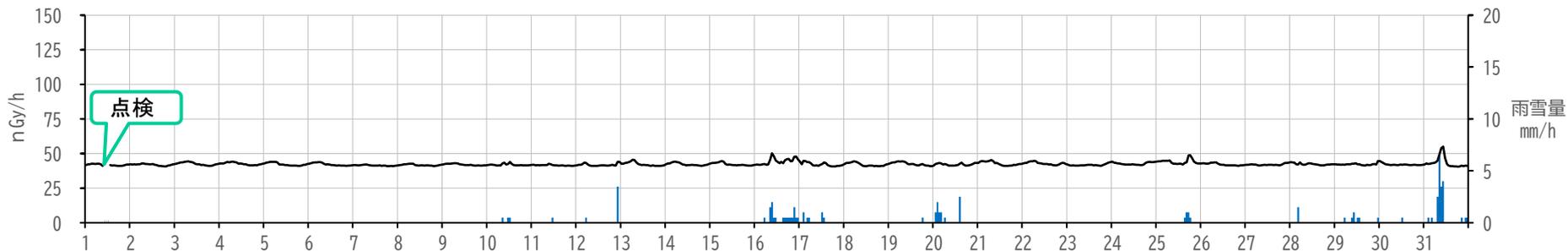
令和6年8月 塩浜



令和6年8月 岡安

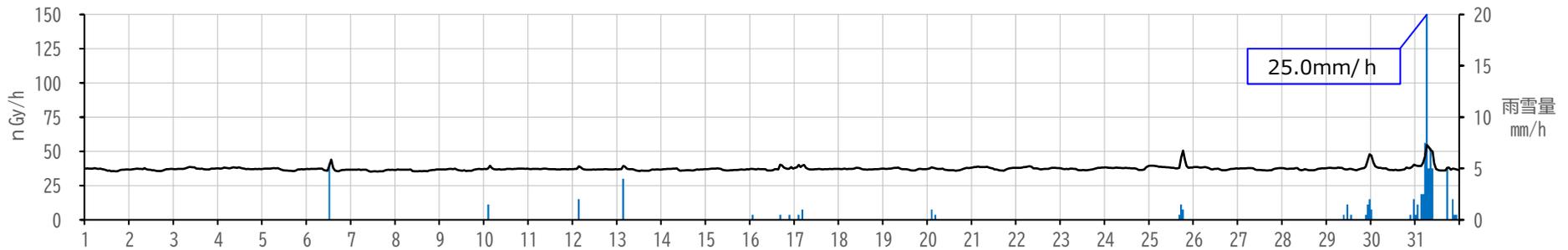


令和6年8月 老富

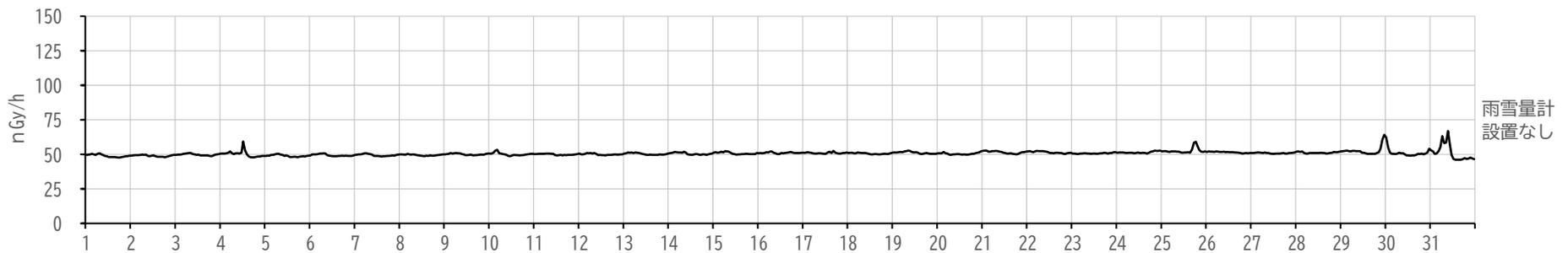


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

令和6年8月 日出

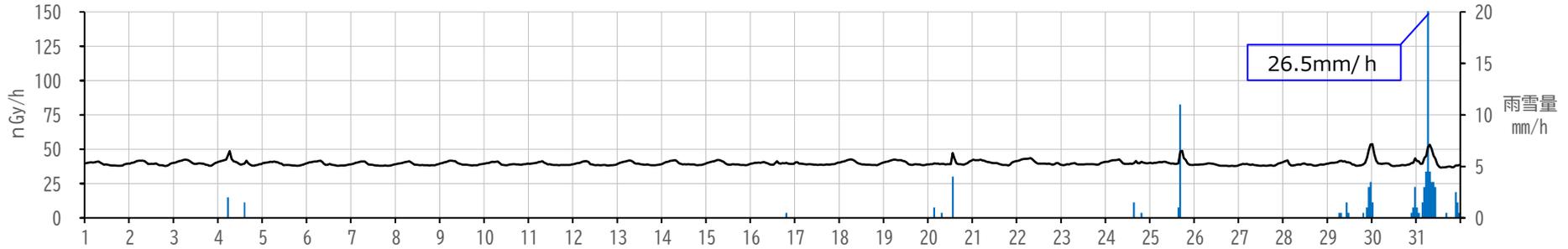


令和6年8月 上司

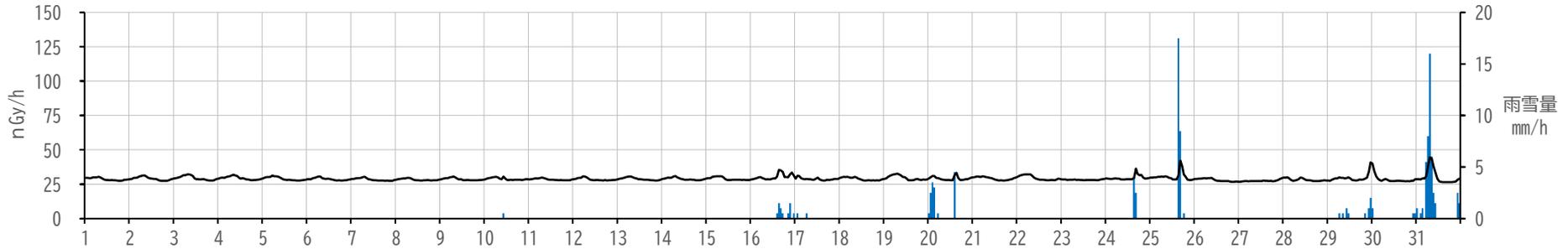


## 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

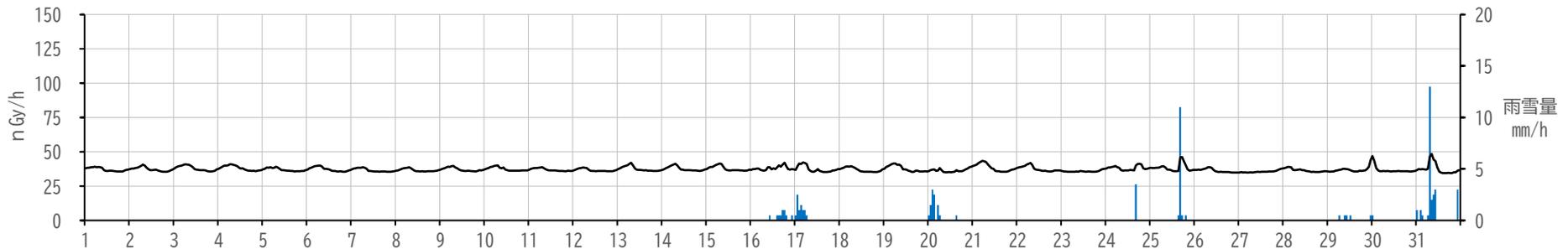
令和6年8月 地頭



令和6年8月 上杉

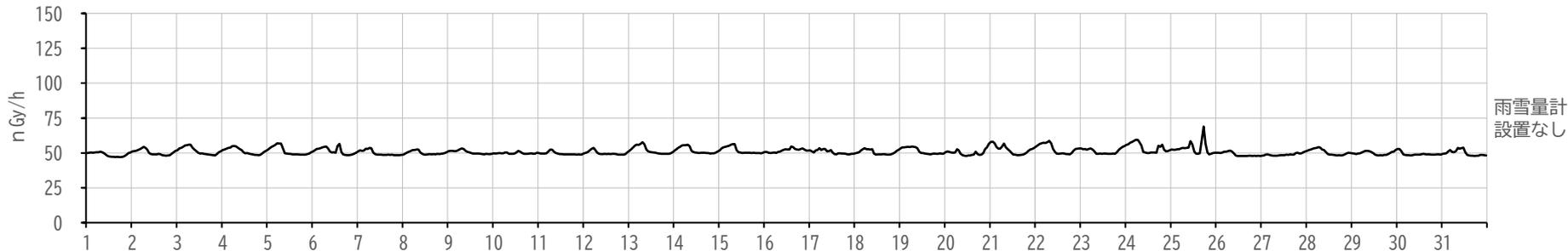


令和6年8月 八津合

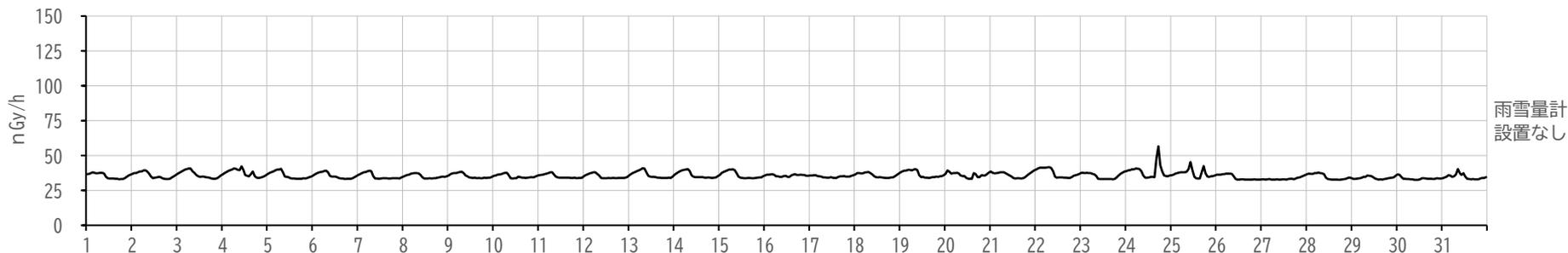


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

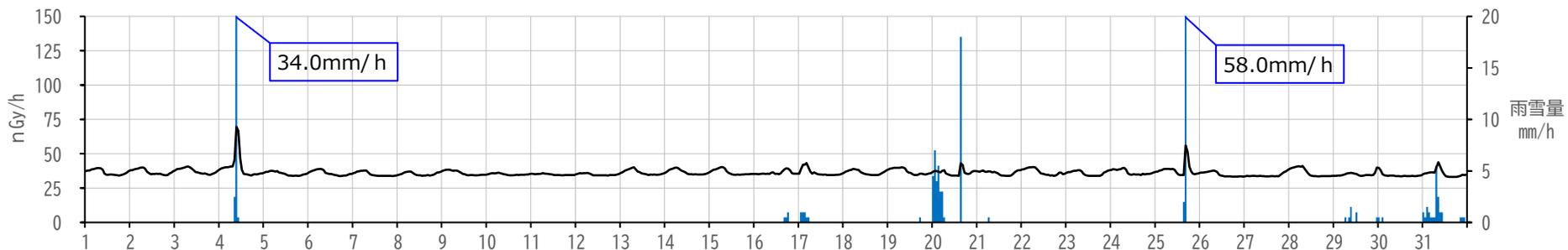
令和6年8月 盛郷



令和6年8月 島

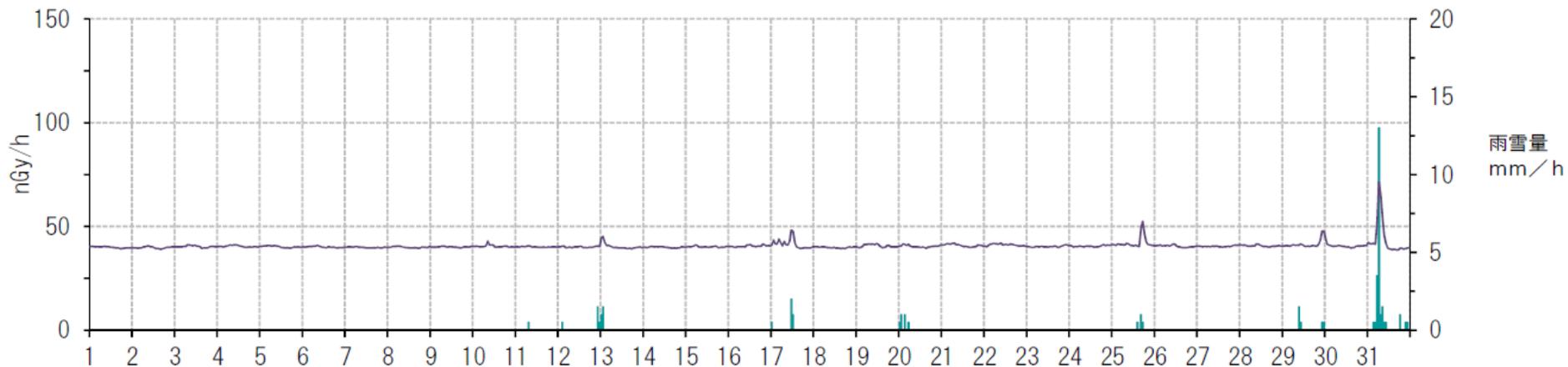


令和6年8月 本庄

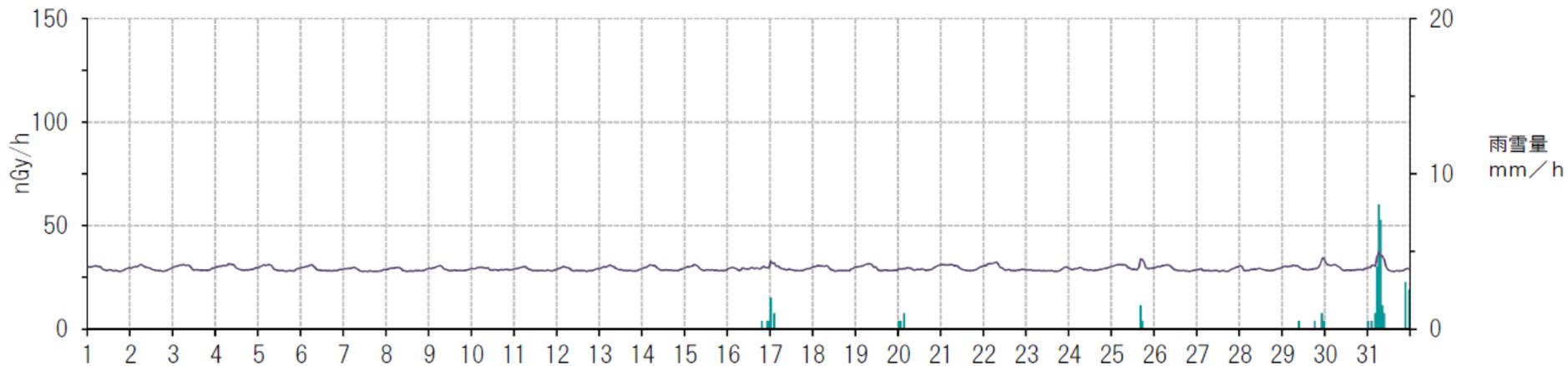


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

令和6年8月 田井

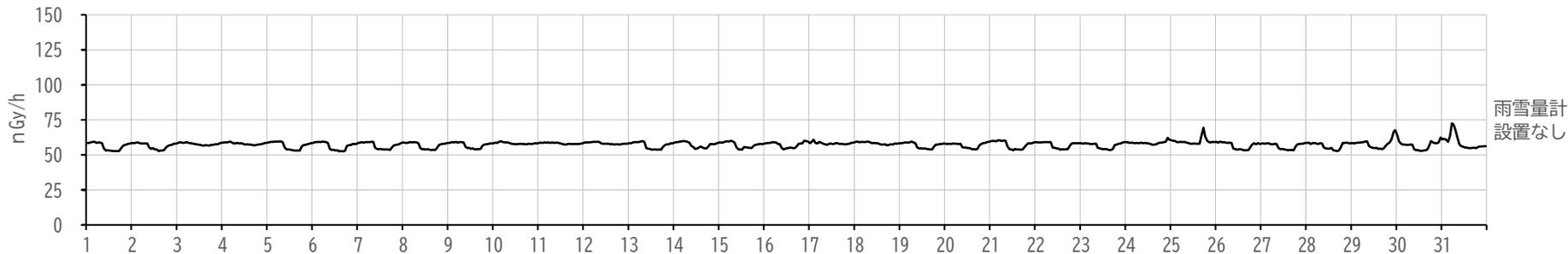


令和6年8月 夕潮台

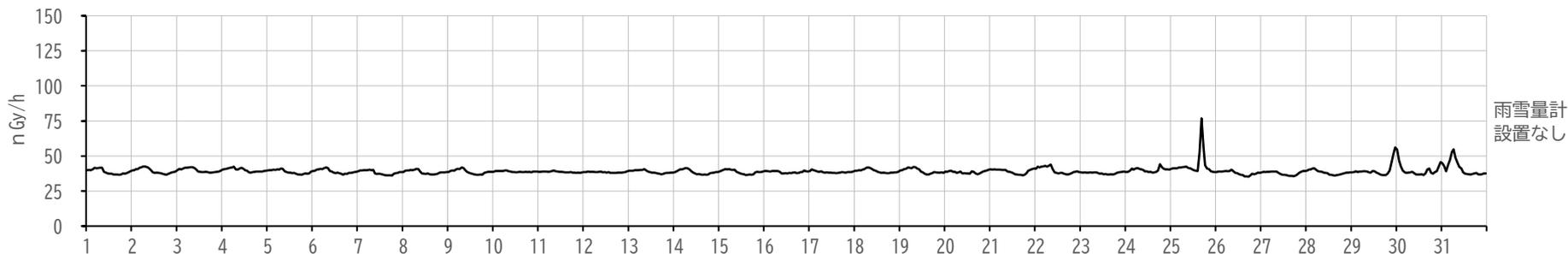


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

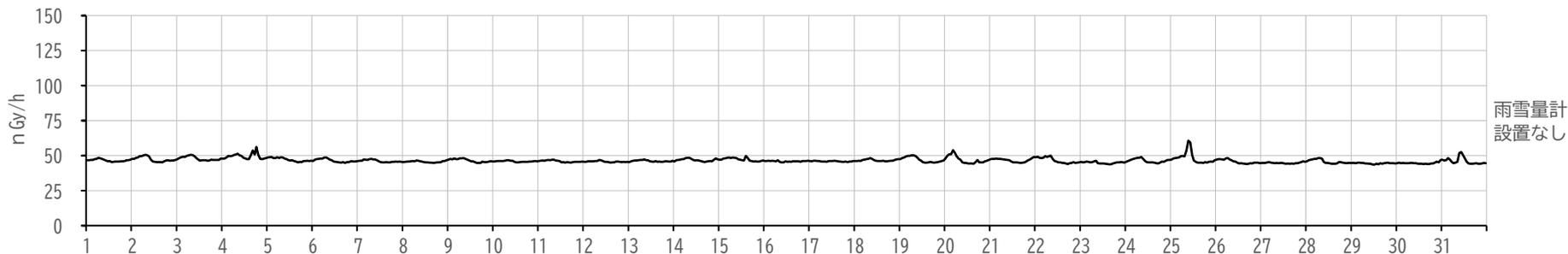
令和6年8月 峰山



令和6年8月 福知山

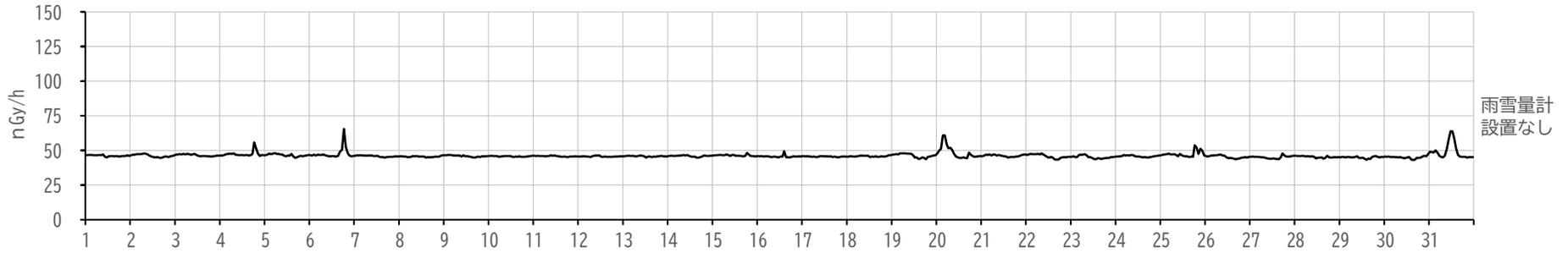


令和6年8月 亀岡

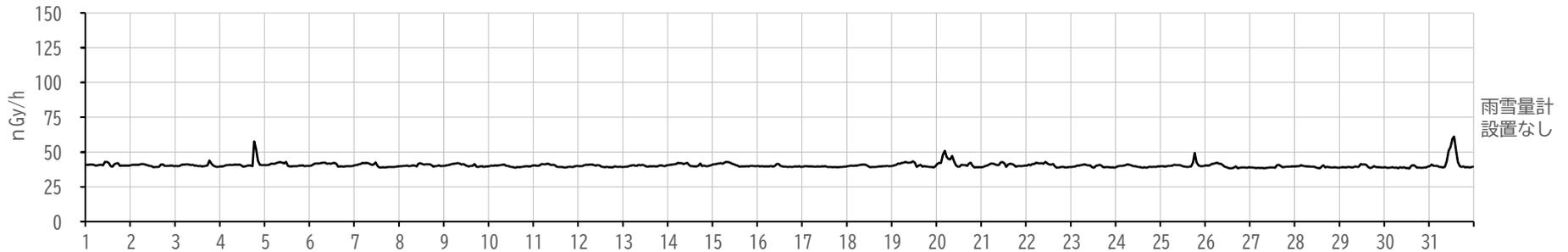


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

令和6年8月 乙訓

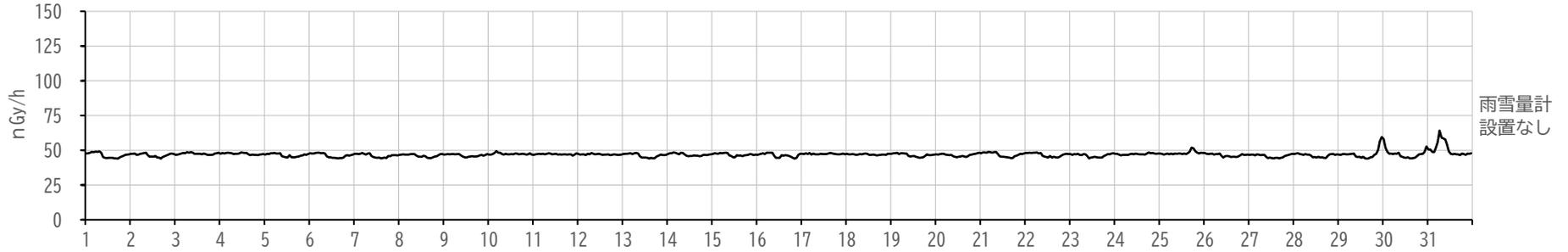


令和6年8月 宇治

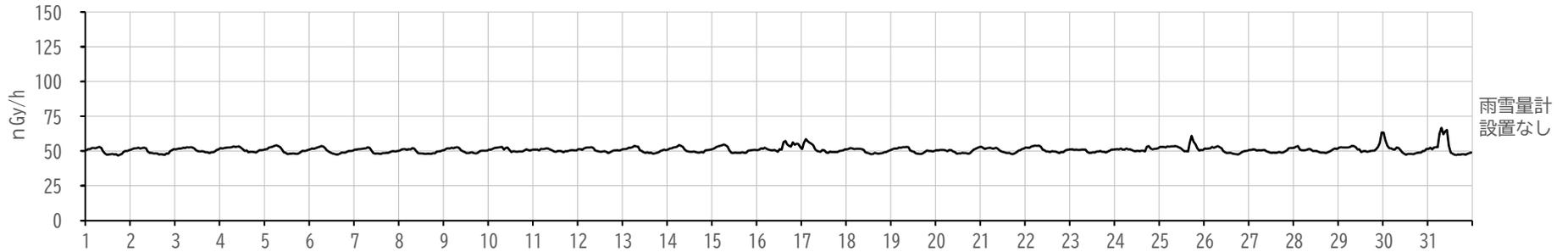


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

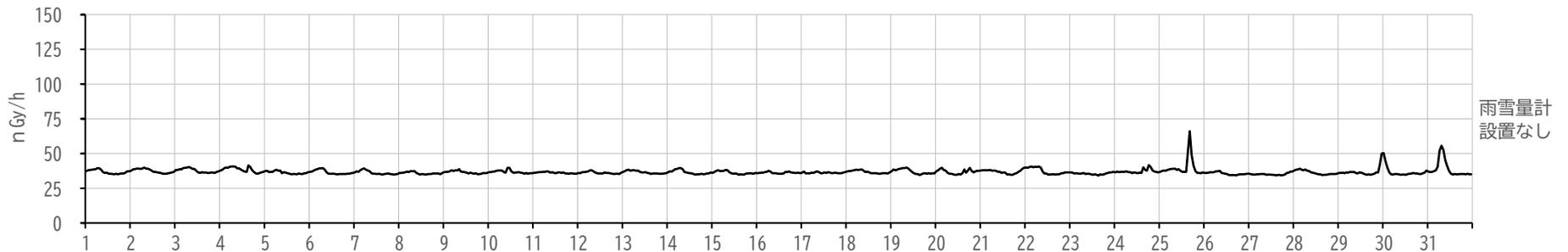
令和6年8月 宮津



令和6年8月 倉谷

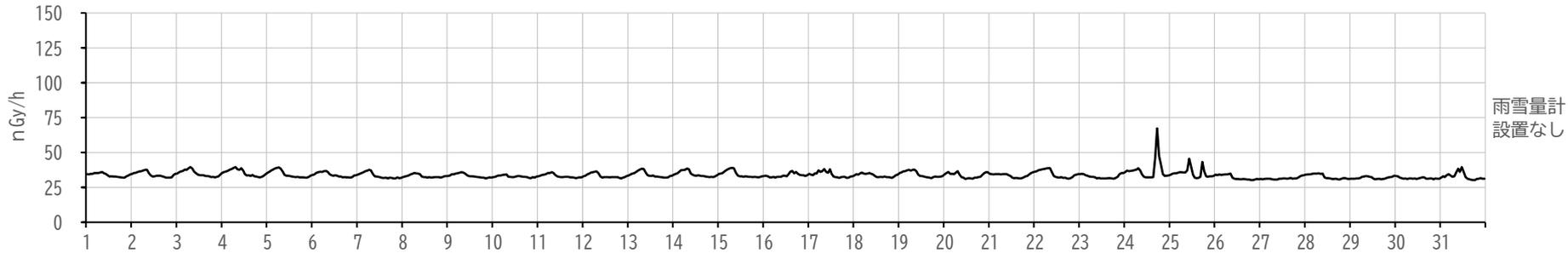


令和6年8月 綾部

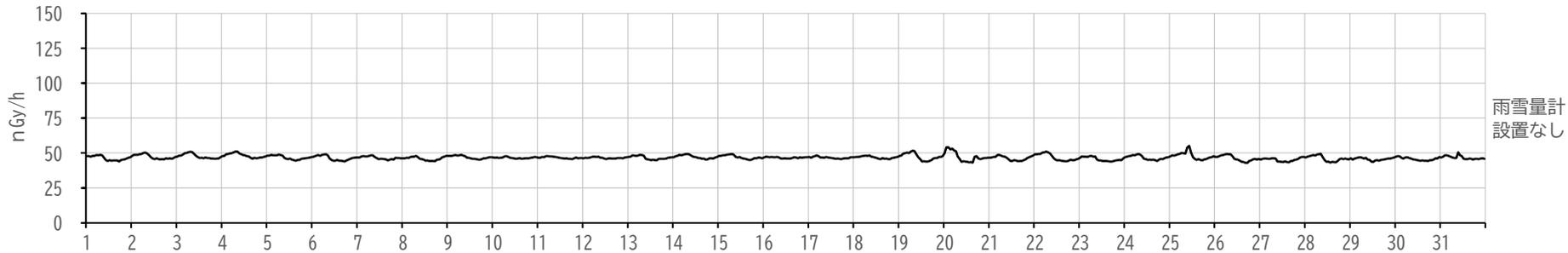


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

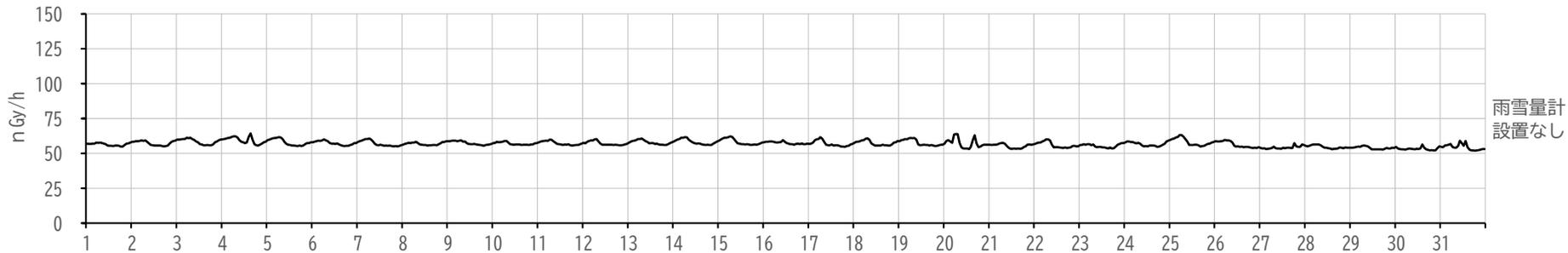
令和6年8月 美山



令和6年8月 園部



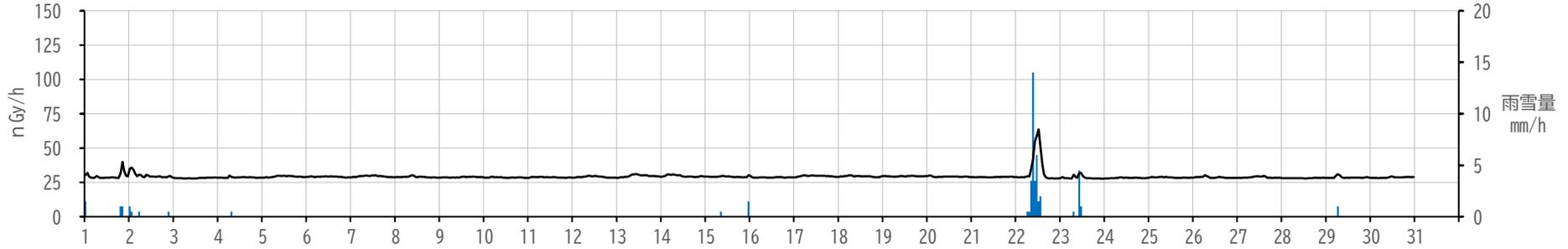
令和6年8月 久多



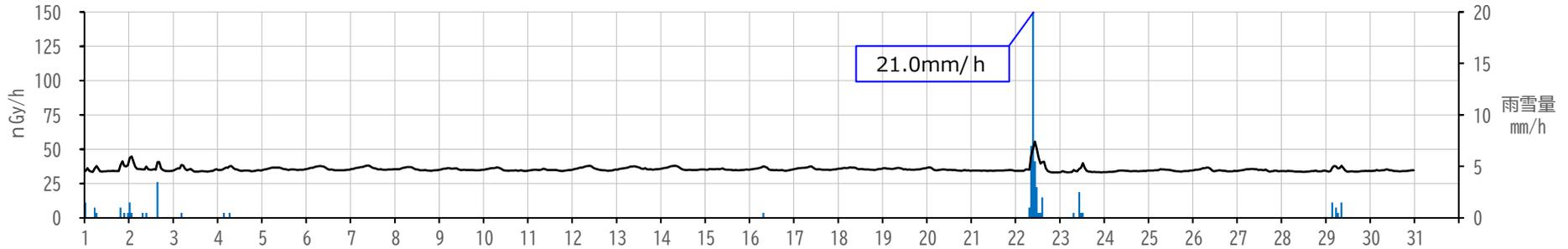


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

令和6年9月 大山



令和6年9月 吉坂

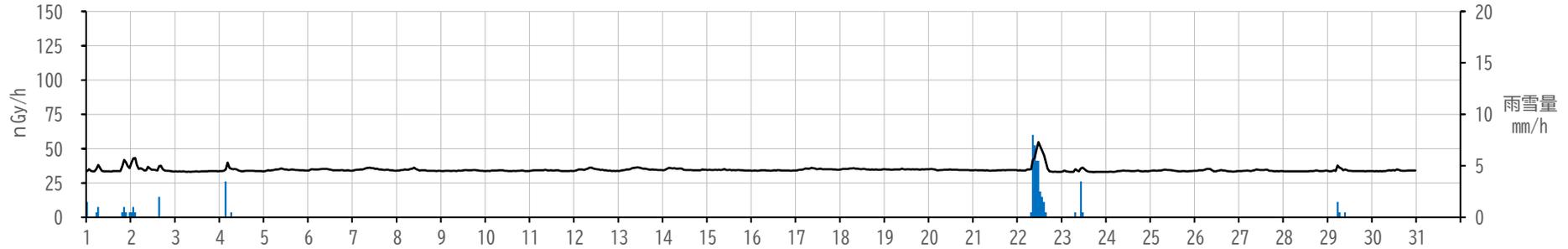


令和6年9月 倉梯

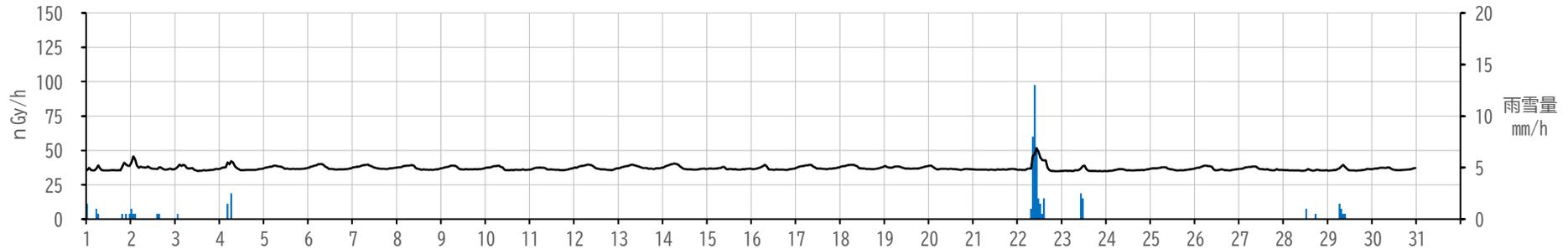


## 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

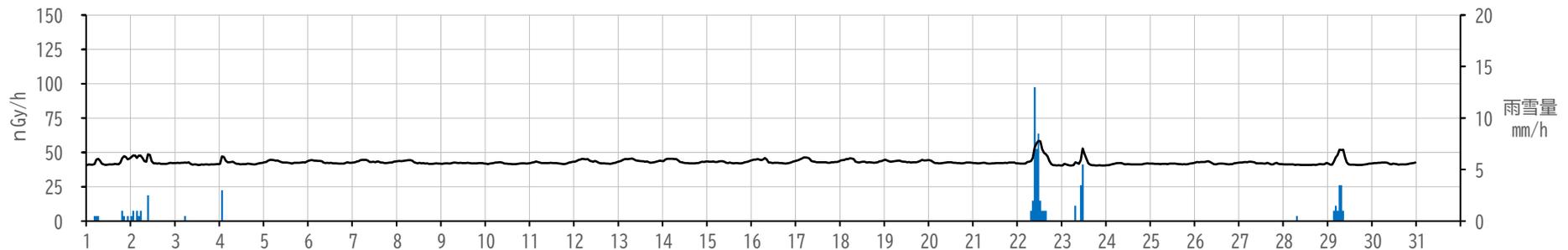
令和6年9月 塩浜



令和6年9月 岡安

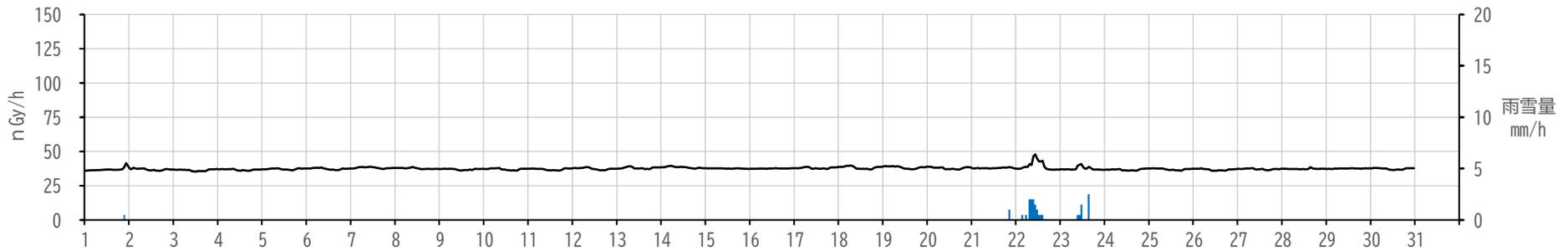


令和6年9月 老富

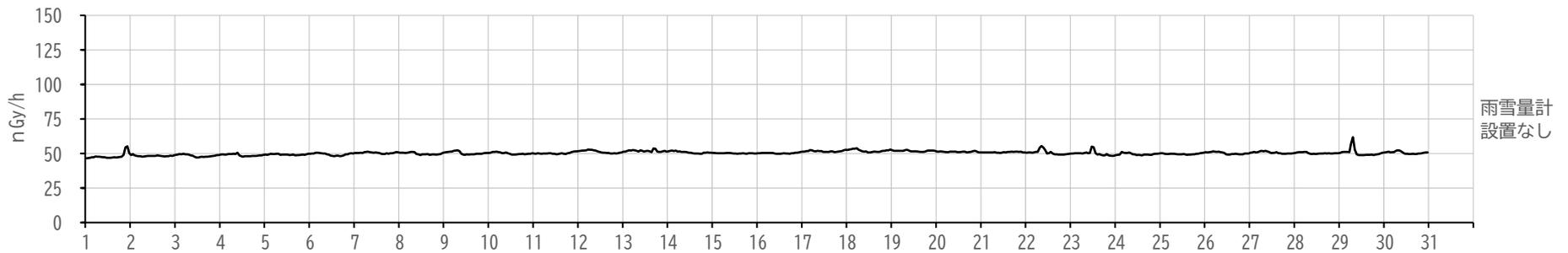


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

令和6年9月 日出

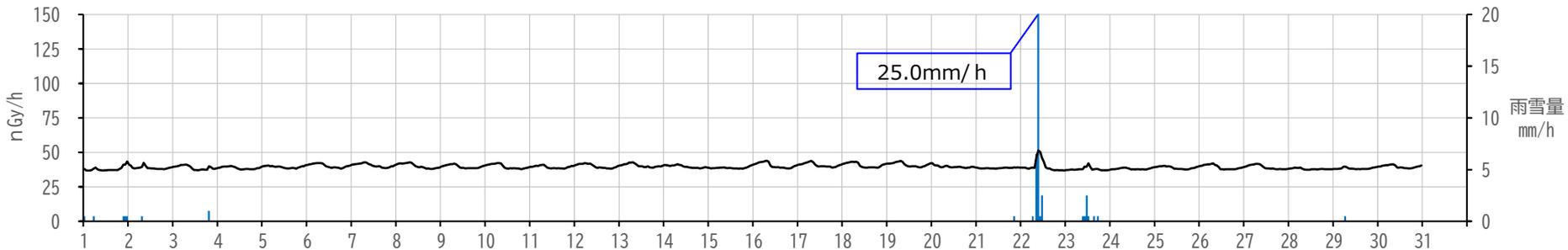


令和6年9月 上司

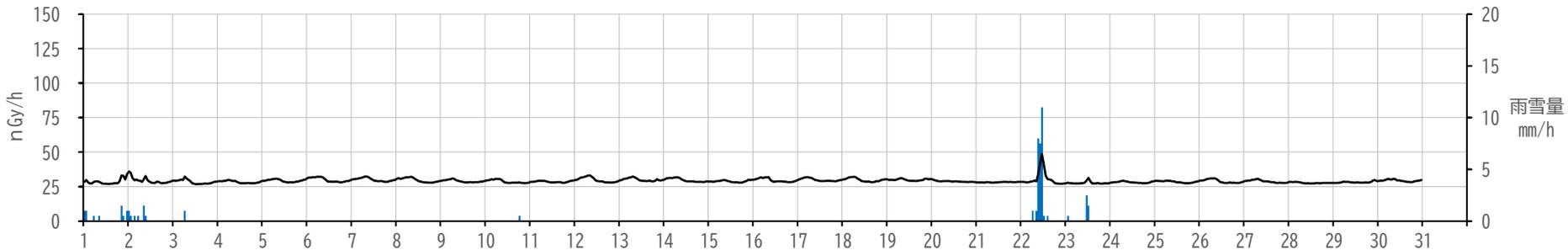


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

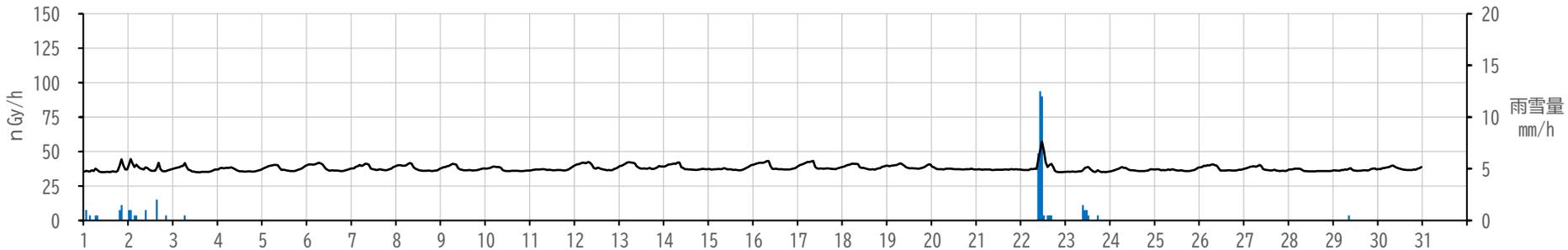
令和6年9月 地頭



令和6年9月 上杉

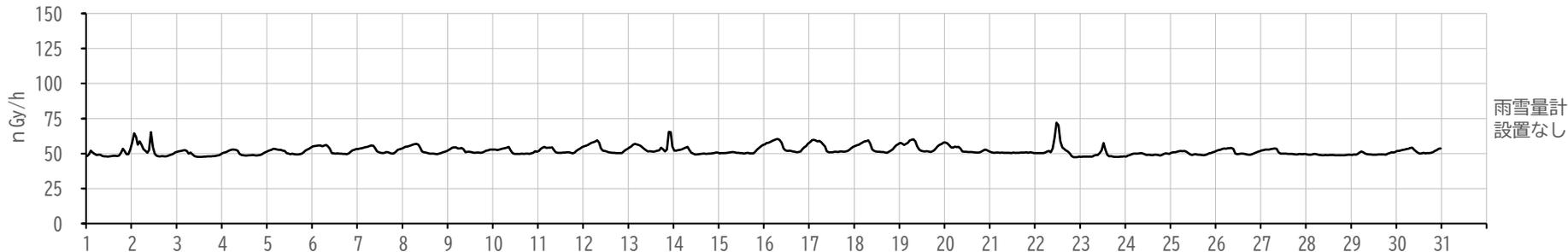


令和6年9月 八津合

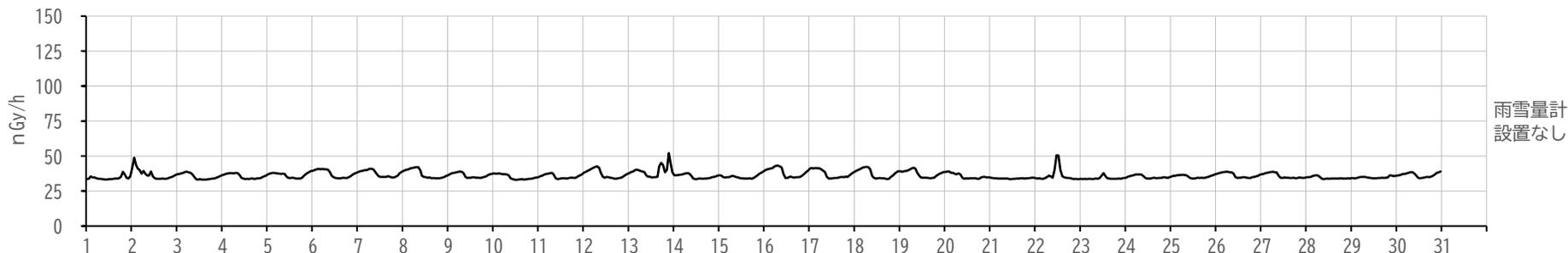


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

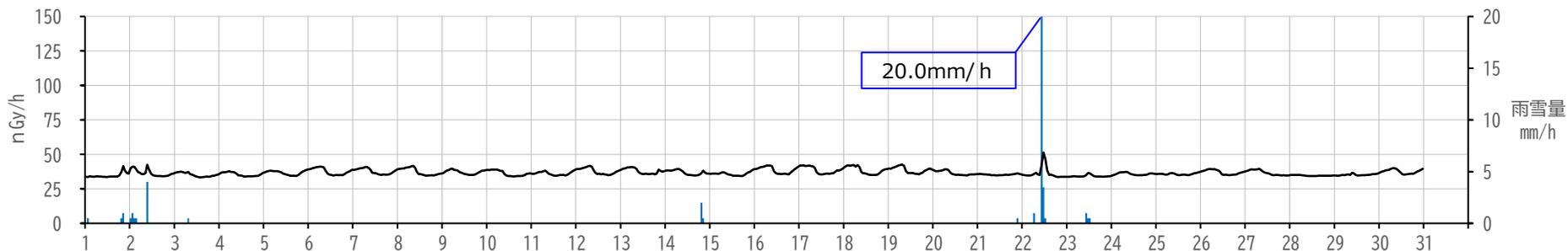
令和6年9月 盛郷



令和6年9月 島



令和6年9月 本庄



# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

令和6年9月 田井

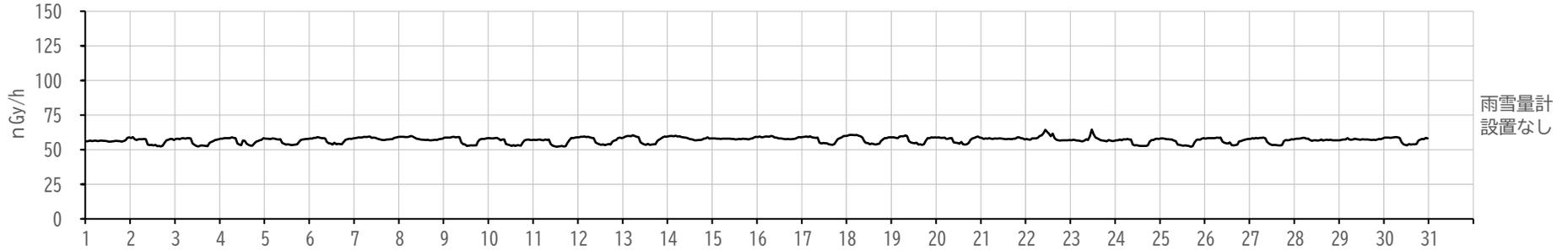


令和6年9月 夕潮台

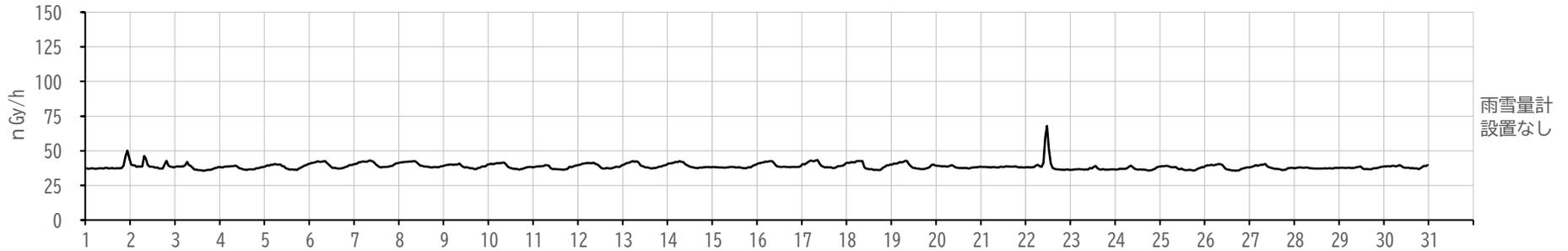


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果（令和6年度）

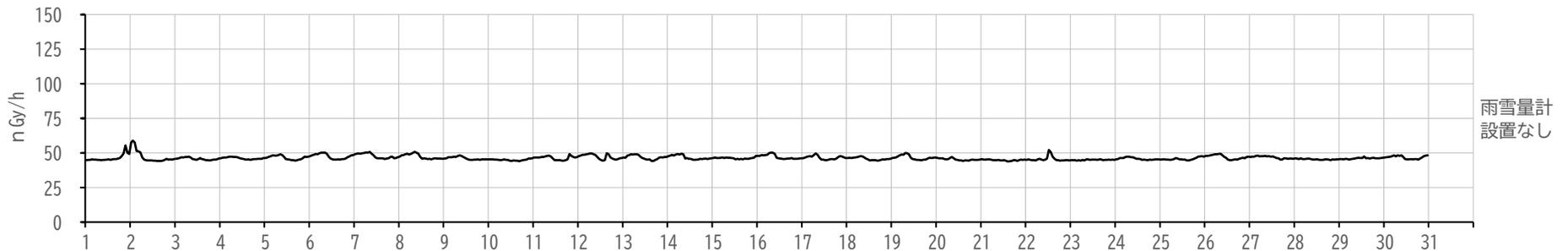
令和6年9月 峰山



令和6年9月 福知山

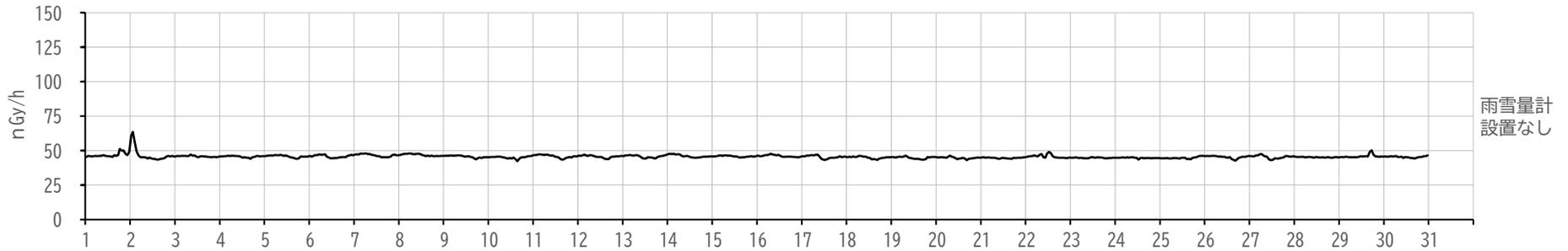


令和6年9月 亀岡

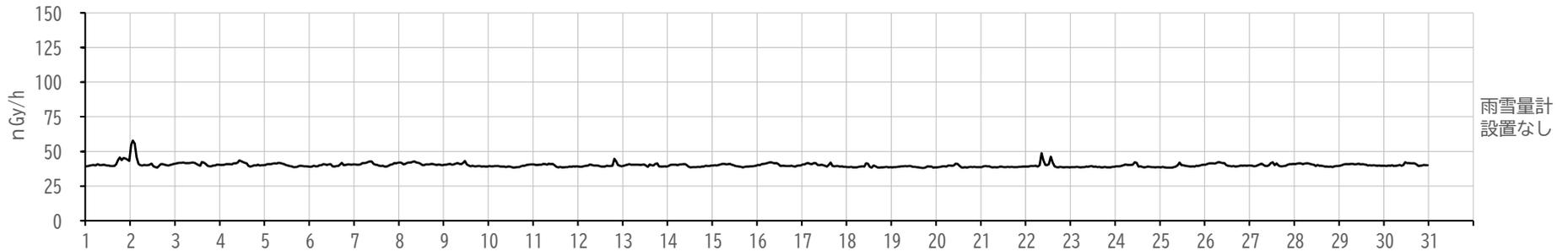


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

令和6年9月 乙訓

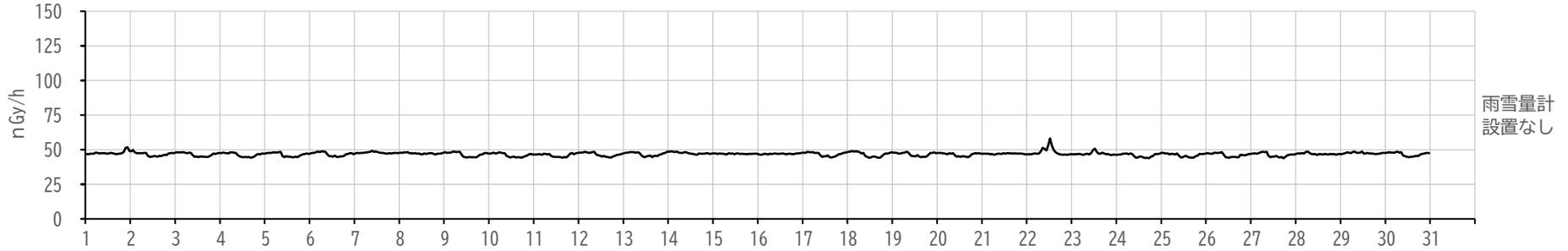


令和6年9月 宇治

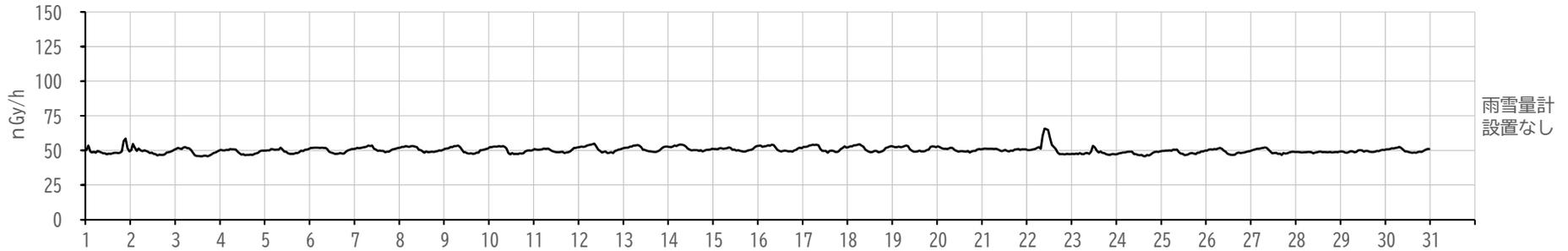


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

令和6年9月 宮津



令和6年9月 倉谷

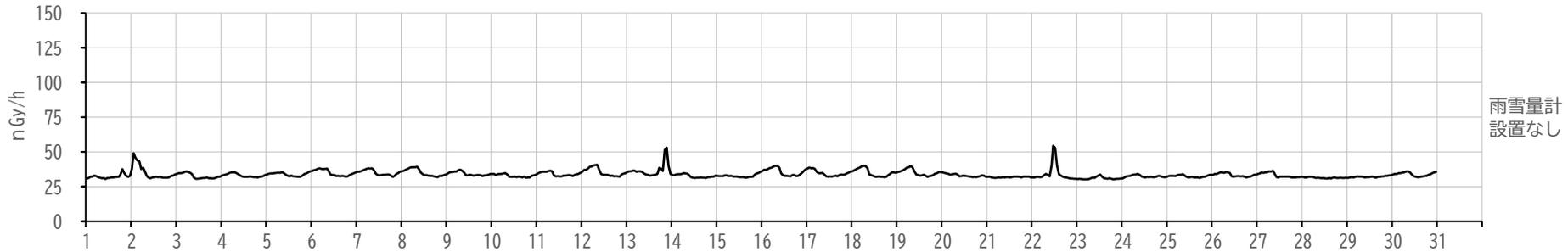


令和6年9月 綾部

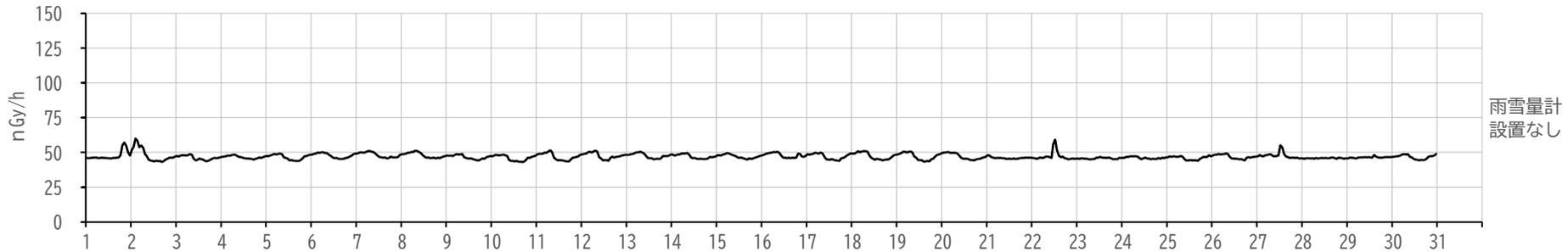


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

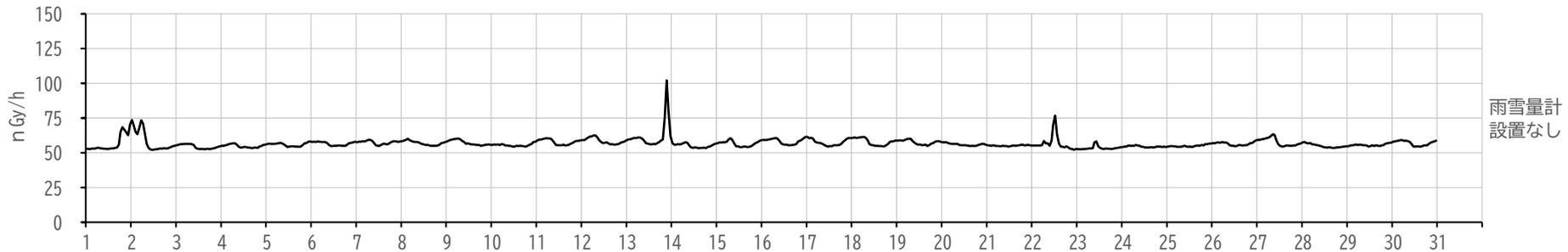
令和6年9月 美山



令和6年9月 園部

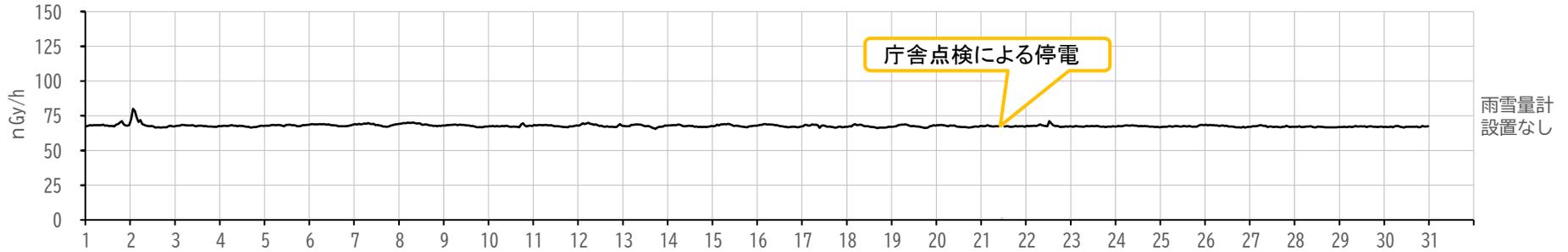


令和6年9月 久多

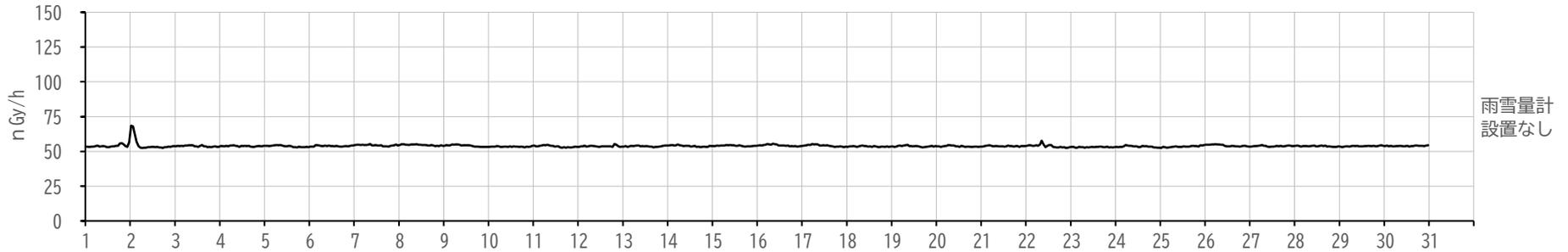


# 空間放射線 空気吸収線量率 測定結果 (令和6年度)

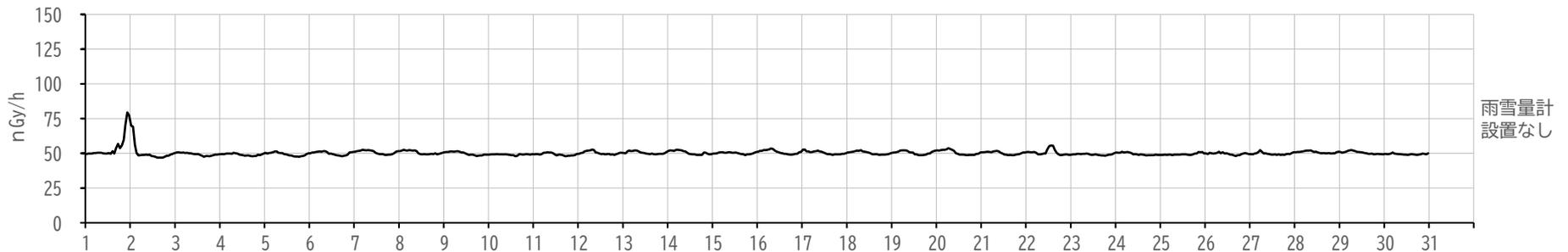
令和6年9月 上京



令和6年9月 伏見



令和6年9月 木津

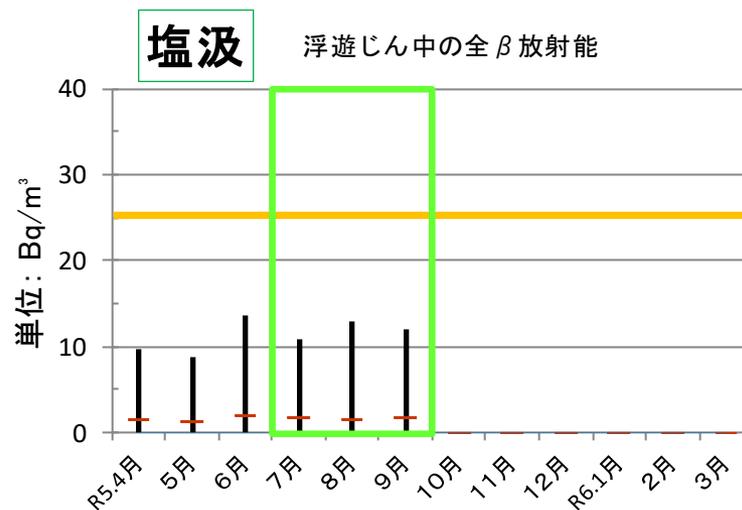
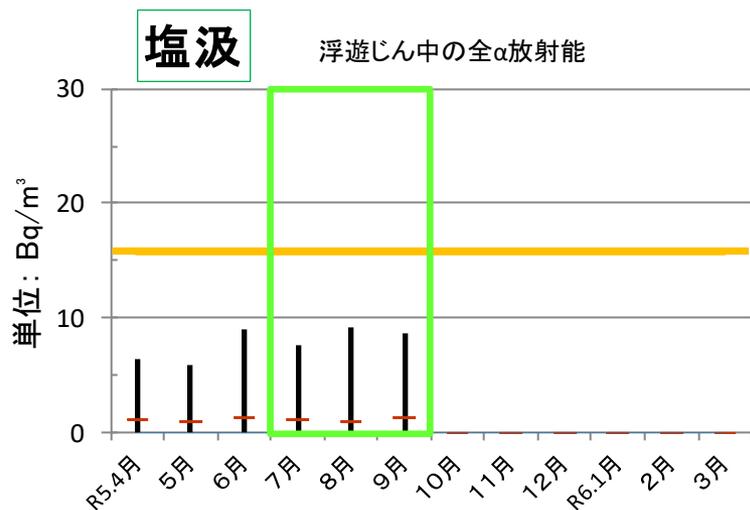
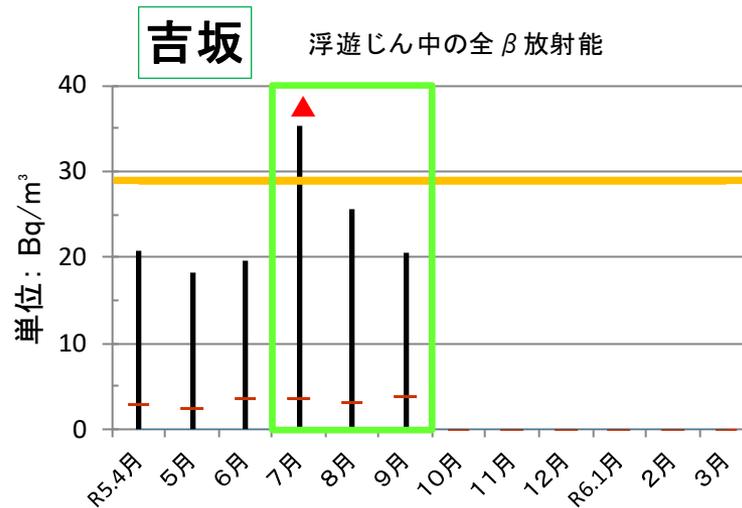
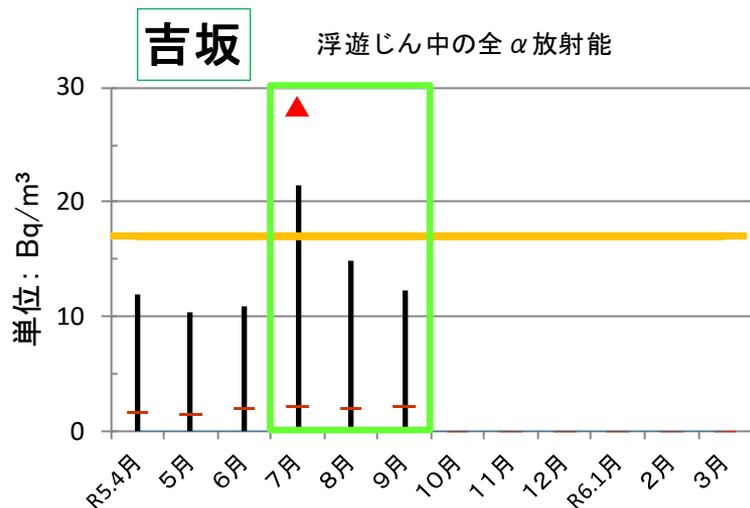


# 浮遊じん中の全 $\alpha$ 、全 $\beta$ 放射能 測定結果

- 測定機器の更新に伴い測定方法等を変更したため、昨年度1年間の変動幅と比較したところ、1か所で全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能が前年度の最高値を超過しましたが、 $\beta/\alpha$ 比は前年度の平均値より小さい値でしたので、天然核種に由来するものと考えられます。
- 最高値超過時について、ガンマ線スペクトル解析の結果でも、人工核種の寄与は認められませんでした。

(資料 1 - 2、p.12)

# 浮遊じん中の放射能測定結果（令和6年度）



横棒(—)：月平均値。 縦棒(|)：各月の最大～最小。 橙線(—)：変動範囲（過去1年間の最大）。  
 三角(▲)印：変動範囲を超過。

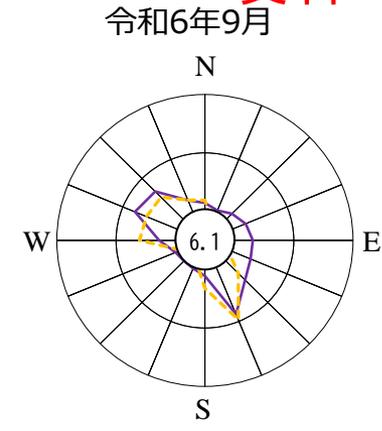
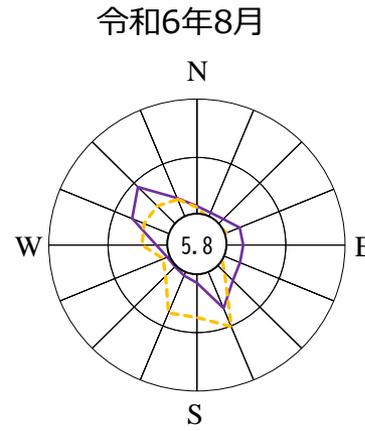
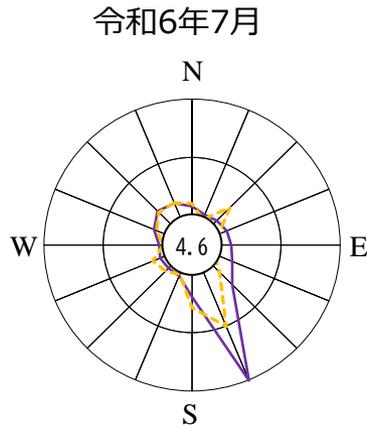
# 風向風速測定結果 (風配図)

- 測定所は過去と同様の傾向。(特に異常なし)

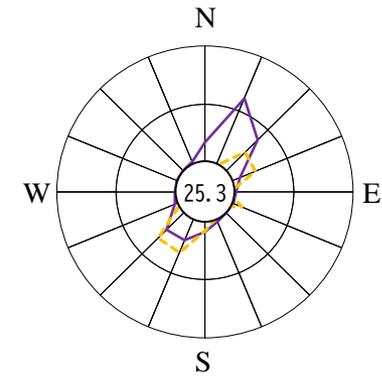
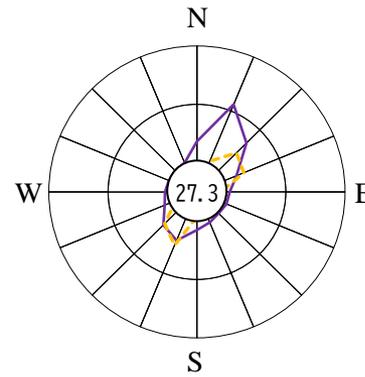
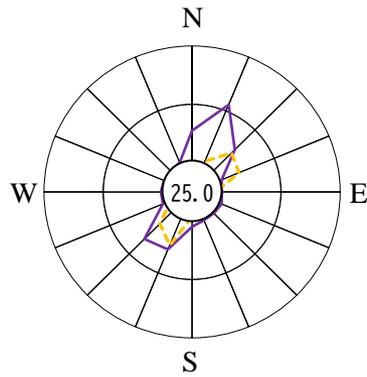
(資料1-2、p.13-16)

# 風配図

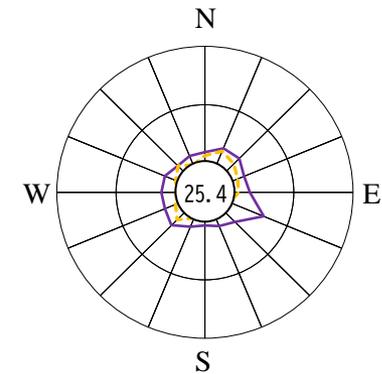
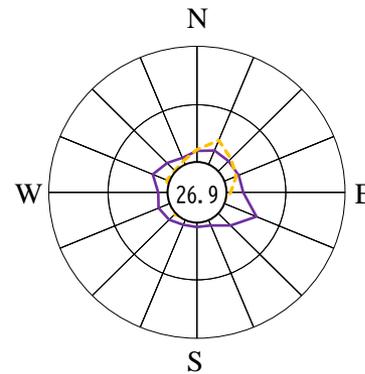
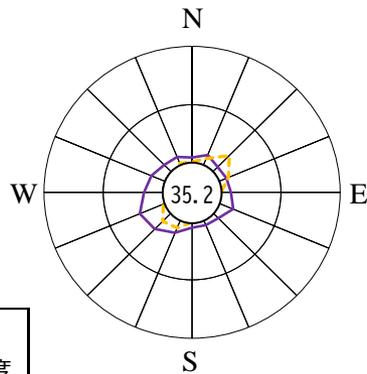
## 大山



## 吉坂



## 倉梯



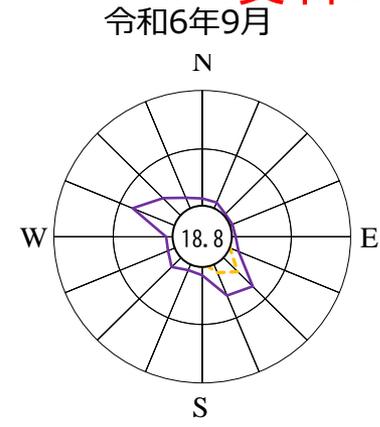
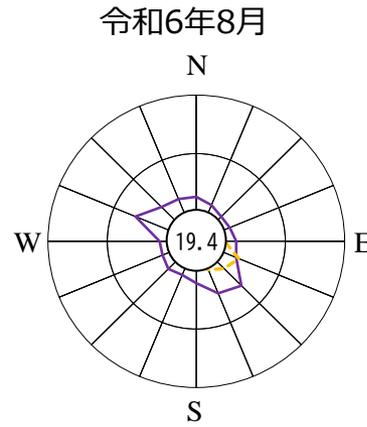
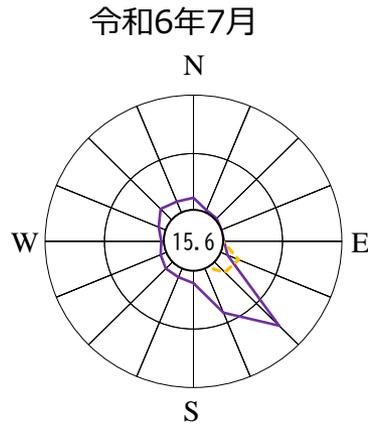
凡例  
 — 風向別出現頻度  
 - - - 風向別平均風速

最大円周上  
 風向別出現頻度  
 40%  
 風向別平均風速  
 5.0m/s

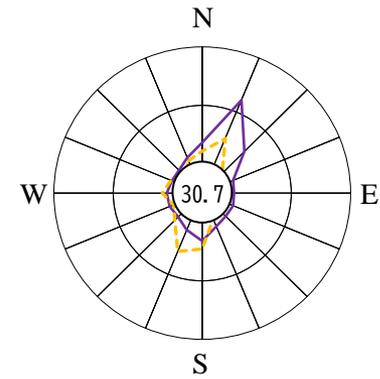
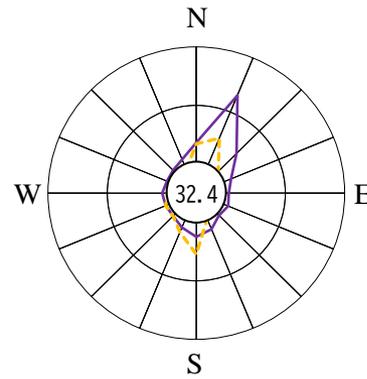
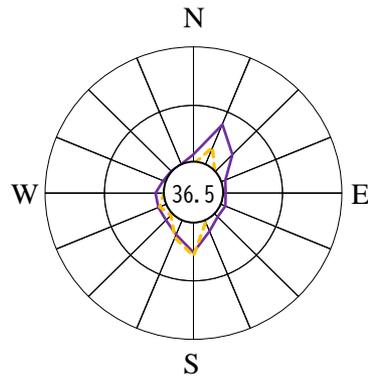
円中央は、静穏時（風速0.3m/s未満）の頻度

# 風配図

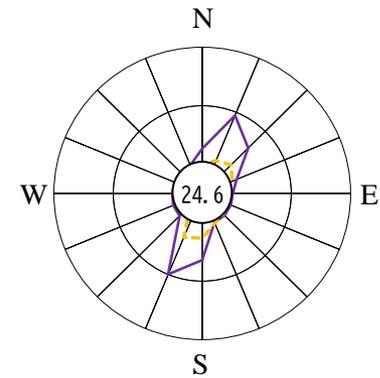
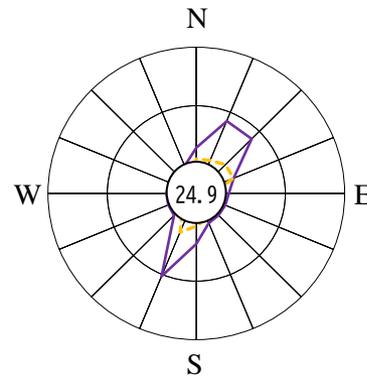
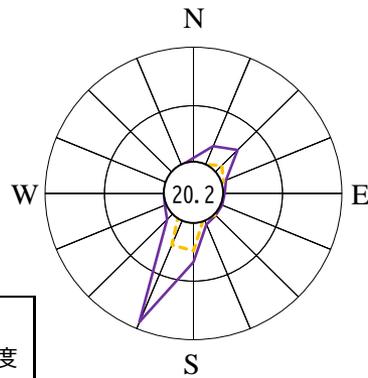
## 塩汲



## 岡安



## 老富



凡例

- 風向別出現頻度
- - - 風向別平均風速

最大円周上  
風向別出現頻度  
40%  
風向別平均風速  
5.0m/s

円中央は、静穏時（風速0.3m/s未満）の頻度

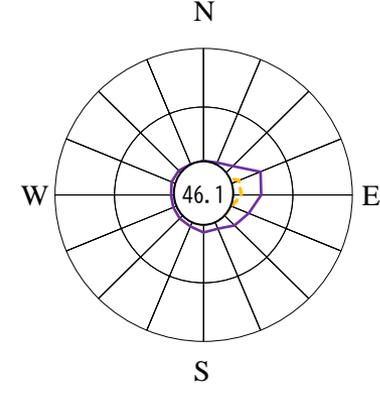
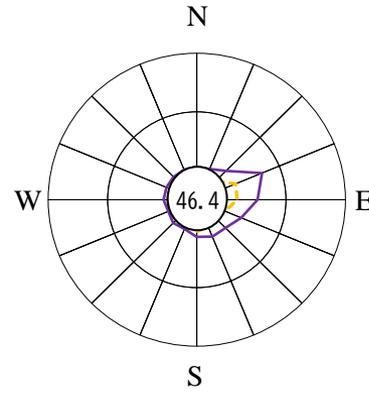
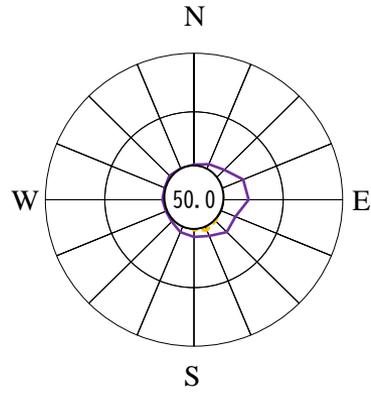
# 風配図

令和6年7月

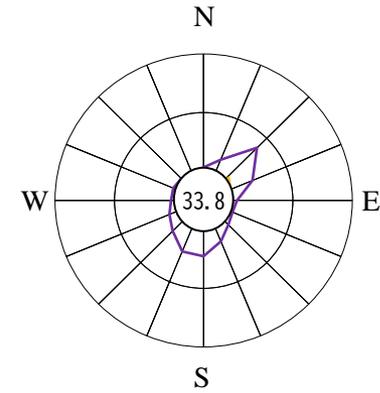
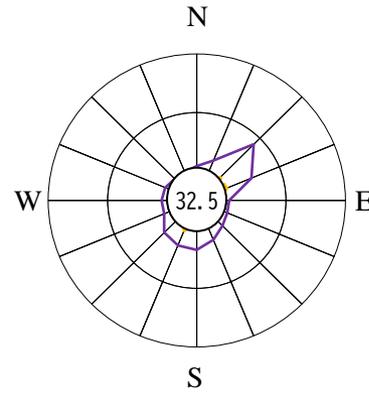
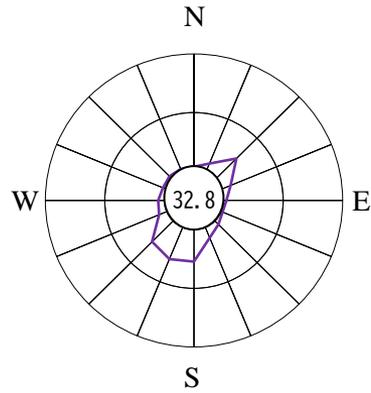
令和6年8月

令和6年9月

日出



地頭



凡例

風向別出現頻度

風向別平均風速

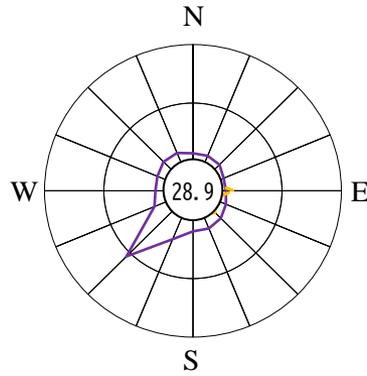
最大円周上  
風向別出現頻度  
40%  
風向別平均風速  
5.0m/s

円中央は、静穏時（風速0.3m/s未満）の頻度

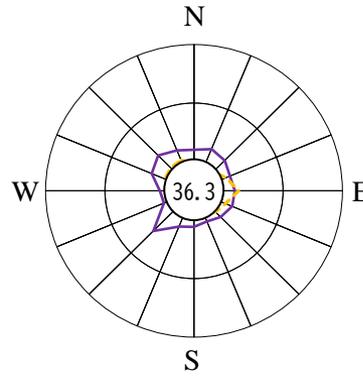
# 風配図

上杉

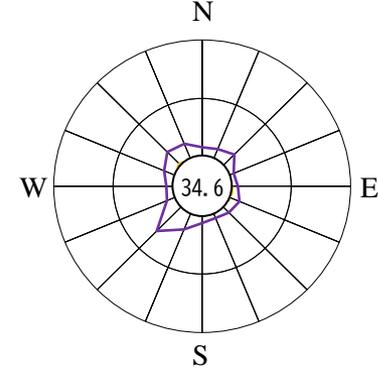
令和6年7月



令和6年8月

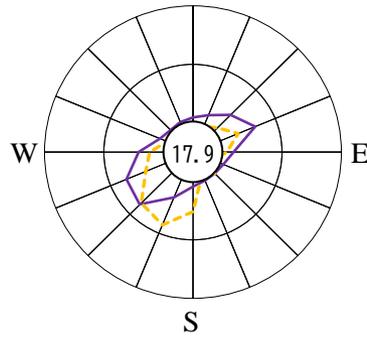


令和6年9月

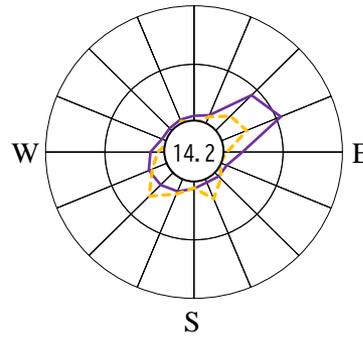


八津合

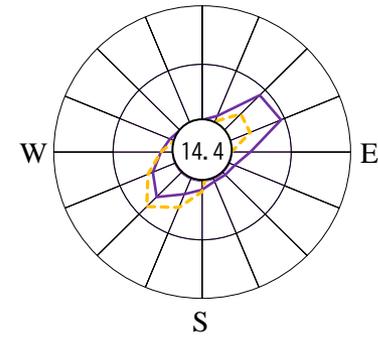
N



N

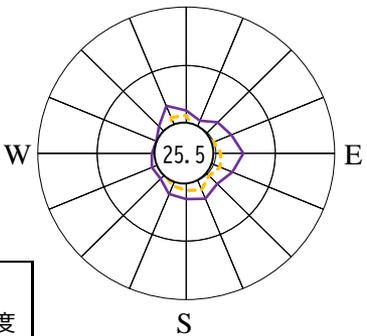


N

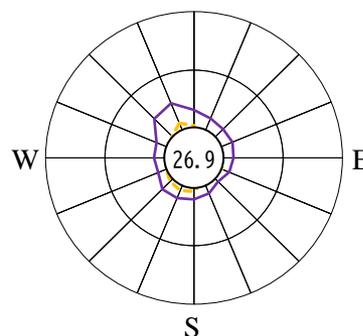


本庄

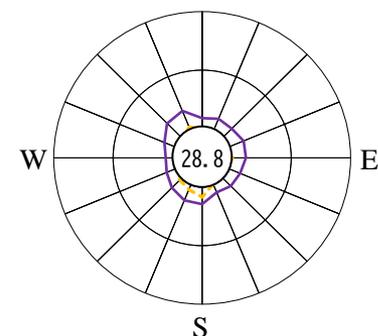
N



N



N



凡例

- 風向別出現頻度
- - - 風向別平均風速

最大円周上  
風向別出現頻度  
40%  
風向別平均風速  
5.0m/s

円中央は、静穏時（風速0.3m/s未満）の頻度

# 令和6年度第2四半期 (令和6年7月～9月)

## 環境放射線測定結果

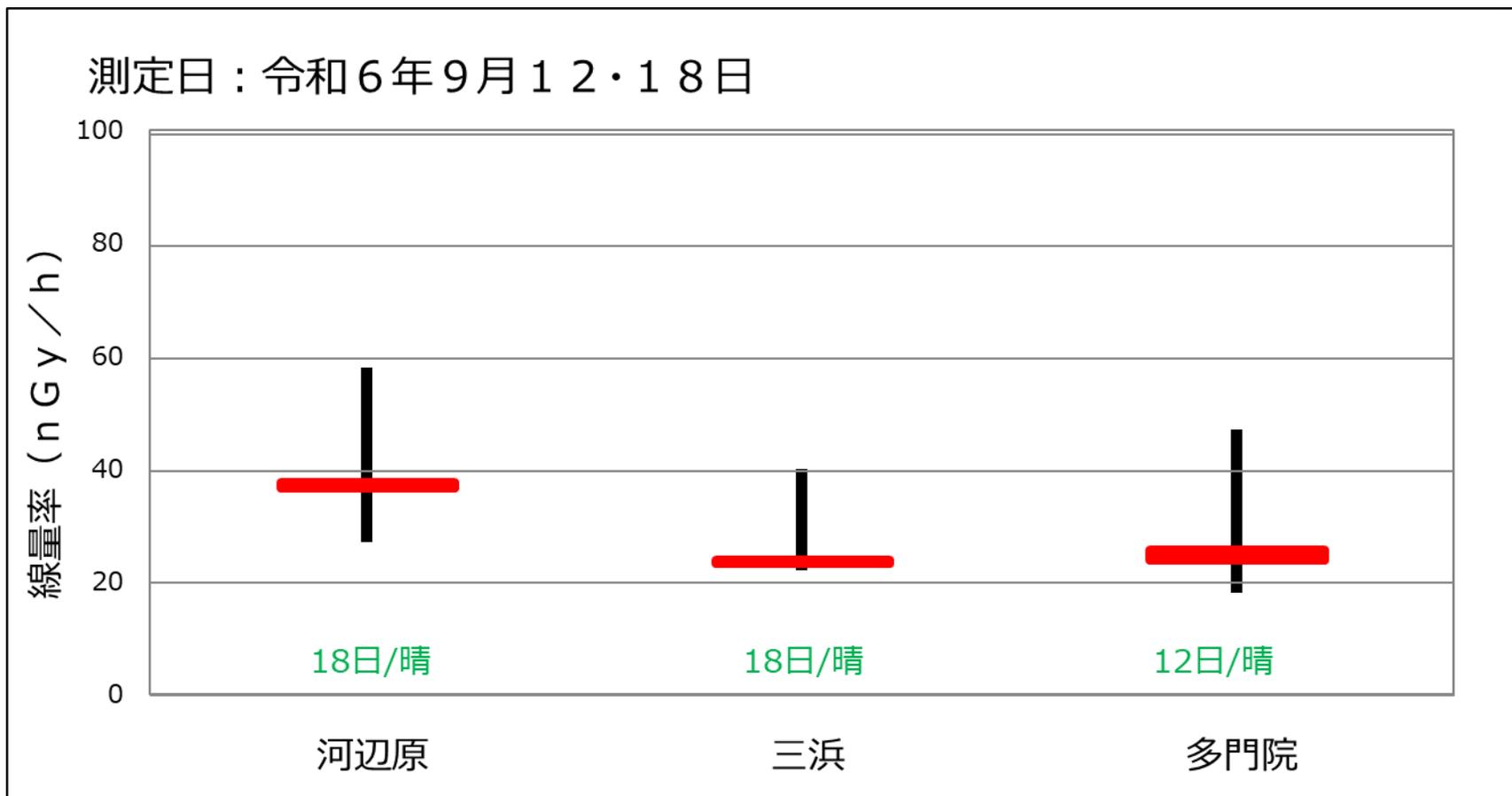
- ① 測定所での監視
  - 1. 空間放射線空気吸収線量率
  - 2. 浮遊じん中の全 $\alpha$ ・ $\beta$ 放射能
  - 3. 風配図
  
- ② 環境放射能測定車、環境放射線調査車による監視
  - 1. 環境放射能測定車による測定
  - 2. 環境放射線調査車による測定
  
- ③ ガンマ線放出核種分析、トリチウム分析結果

# 環境放射能測定車による測定結果

- 空間放射線空気吸収線量率  
→ 可搬型モニタリングポストで測定。各地点の測定値は、過去10年の変動の範囲内。
- 空間  $\gamma$  線スペクトル  
→ 人工核種は、1地点でCs-137を検出。他は全て計数誤差の3倍以下。

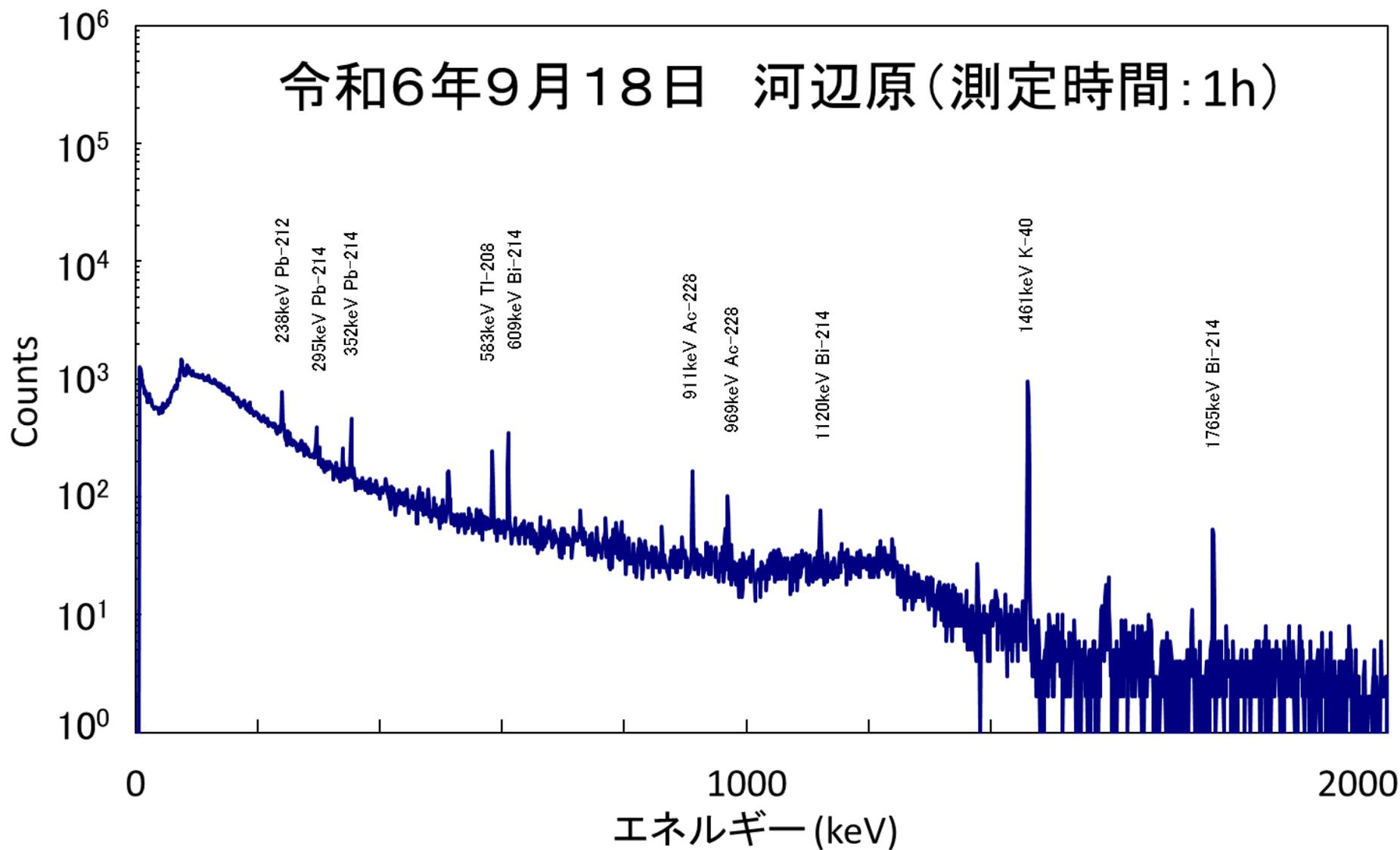
(資料 1 - 2 p.17)

# 環境放射能測定車 線量率測定結果

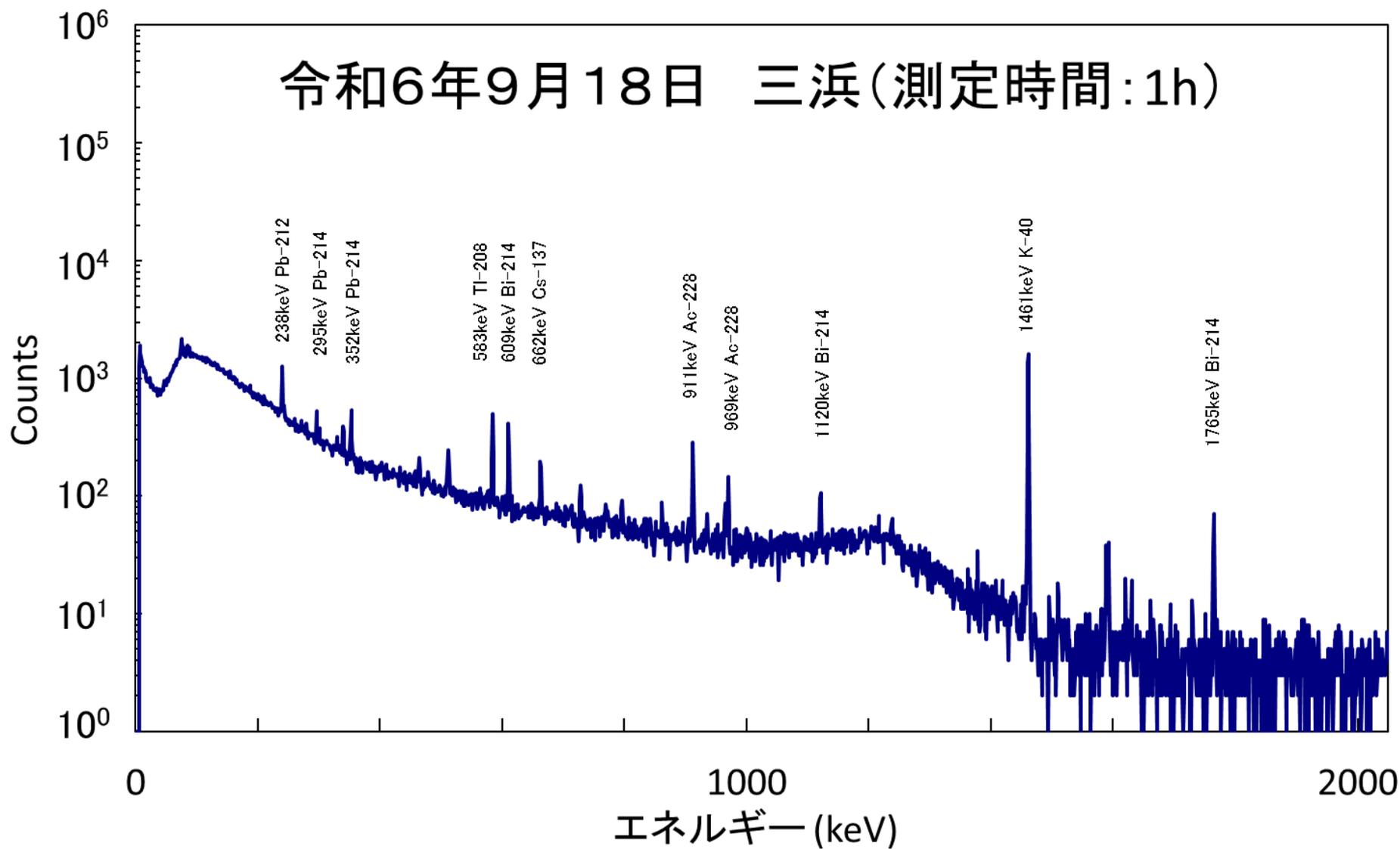


凡例	今回の測定値:		← 最大値	10分値6回分を算出。 平成26年度～令和5年度の測定値。
			← 最小値	
	過去10年間の変動範囲:		← 最大値	
			← 最小値	
	変動範囲の最大値超過:			
	変動範囲の最小値超過:			

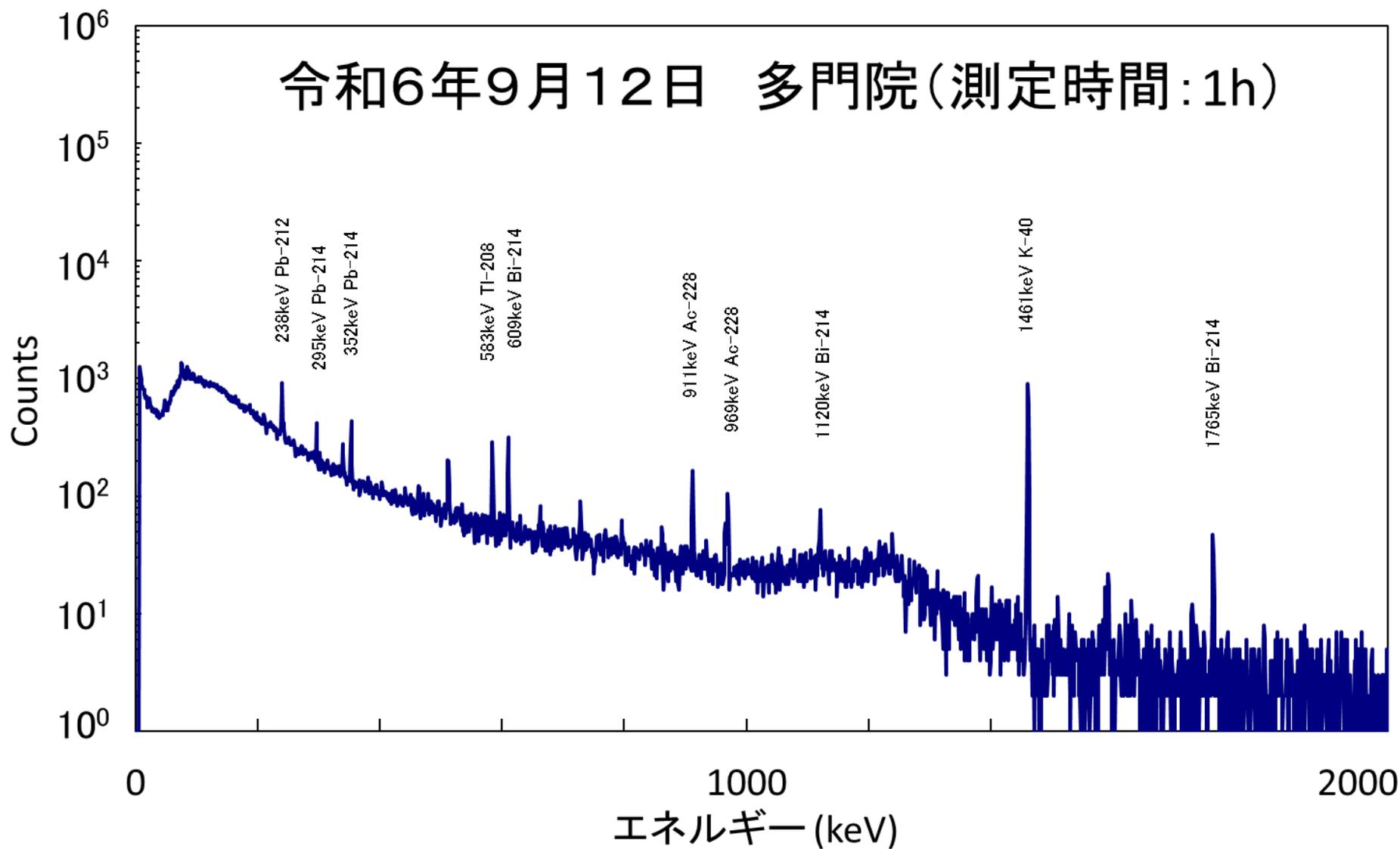
令和6年9月18日 河辺原(測定時間:1h)



令和6年9月18日 三浜(測定時間:1h)



令和6年9月12日 多門院(測定時間:1h)



# 環境放射線調査車による測定結果

- 今年度より全ルートで使用機材変更  
(過去の変動範囲は参考値として扱う)
- 定点での測定  
→ 15地点で過去の変動範囲 (参考値)  
を超過 (ルート3、4、6)
- ルート走行中の線量率の変化  
→ 従来と同様の傾向

※調査車は空間放射線空気吸収線量率のみ測定  
(資料1 - 2 p.19-27)

# 環境放射線調査車の使用機材新旧比較

	以前の機器(ルート10・11除く)	導入した機器
検出器	車上固定式2“φ×2”エネルギー補償型NaI(Tl)シンチレーション測定装置	可搬CsI(Tl)シンチレーター測定装置 (RAMISES(モニタリング情報共有システム)端末と組み合わせて使用)
測定高	地上2.2m(固定時) 機器は車の屋上に設置	地上1m前後 乗用車内で後部座席右側に検出部を右向きに置いて測定
測定結果の保存	車内で記録媒体に保存 走行サーベイ:1秒値 定点サーベイ:1分値	15秒値をGPS位置情報とともに携帯電話回線でRAMISESへ送信 (走行サーベイ、定点サーベイとも15秒値)
価格	1台約2300万円 (車両+測定装置)	1台約84万円/年(リース)+保守費用等(測定装置単体)

# 環境放射線調査車の使用機材新旧比較



環境放射線調査車（ルート1～9）  
2インチNaI

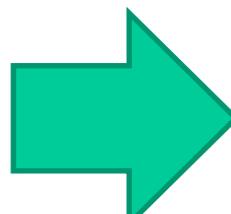


調査車内に搭載された機器



PC

（ルート10～11）  
1インチNaI



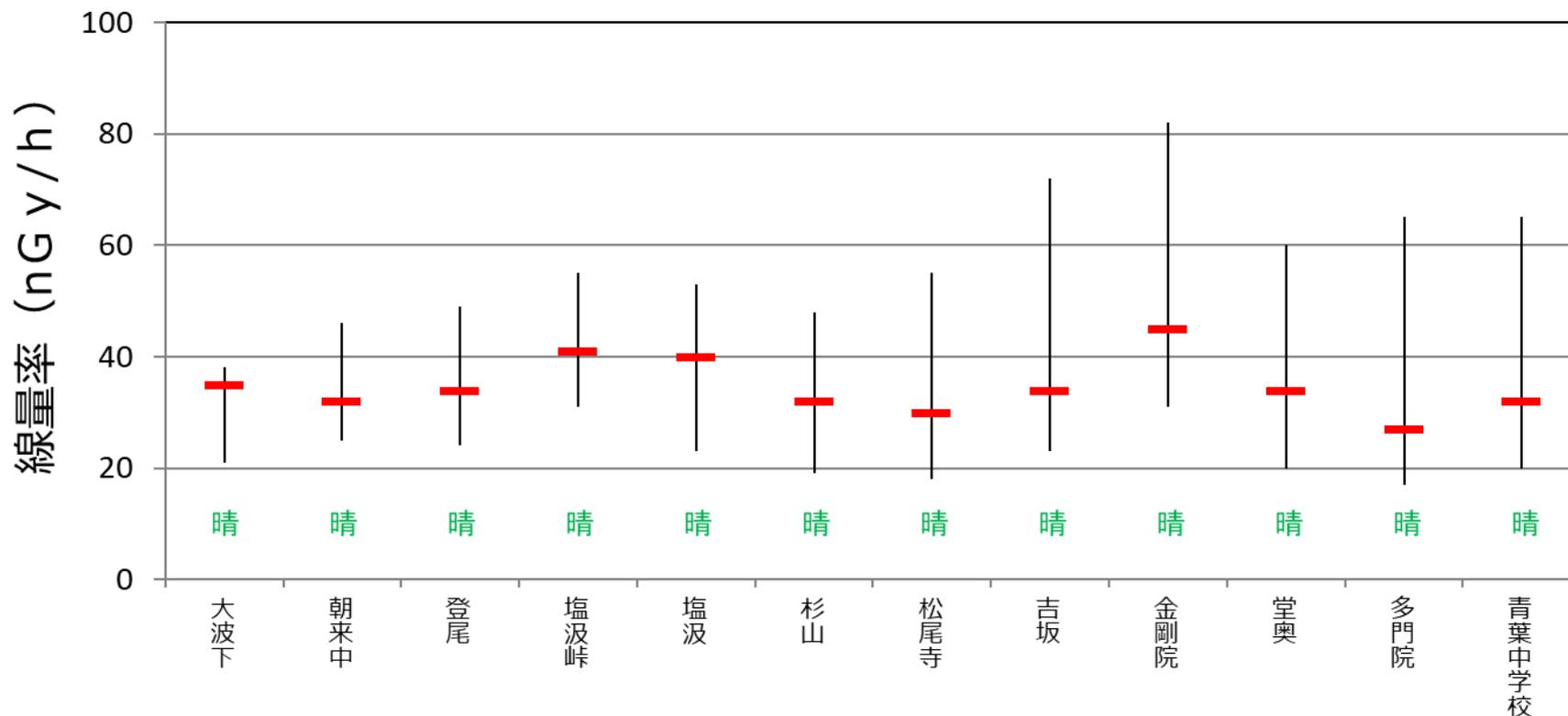
1インチCsI



# 環境放射線調査車 線量率測定結果

資料1-2 p.19,22

## ルート1 (東舞鶴地域) 令和6年9月17日



凡例

今回の測定値:



過去10年間の変動範囲:



← 最大値

← 最小値

変動範囲の最大値超過:



変動範囲の最小値超過:

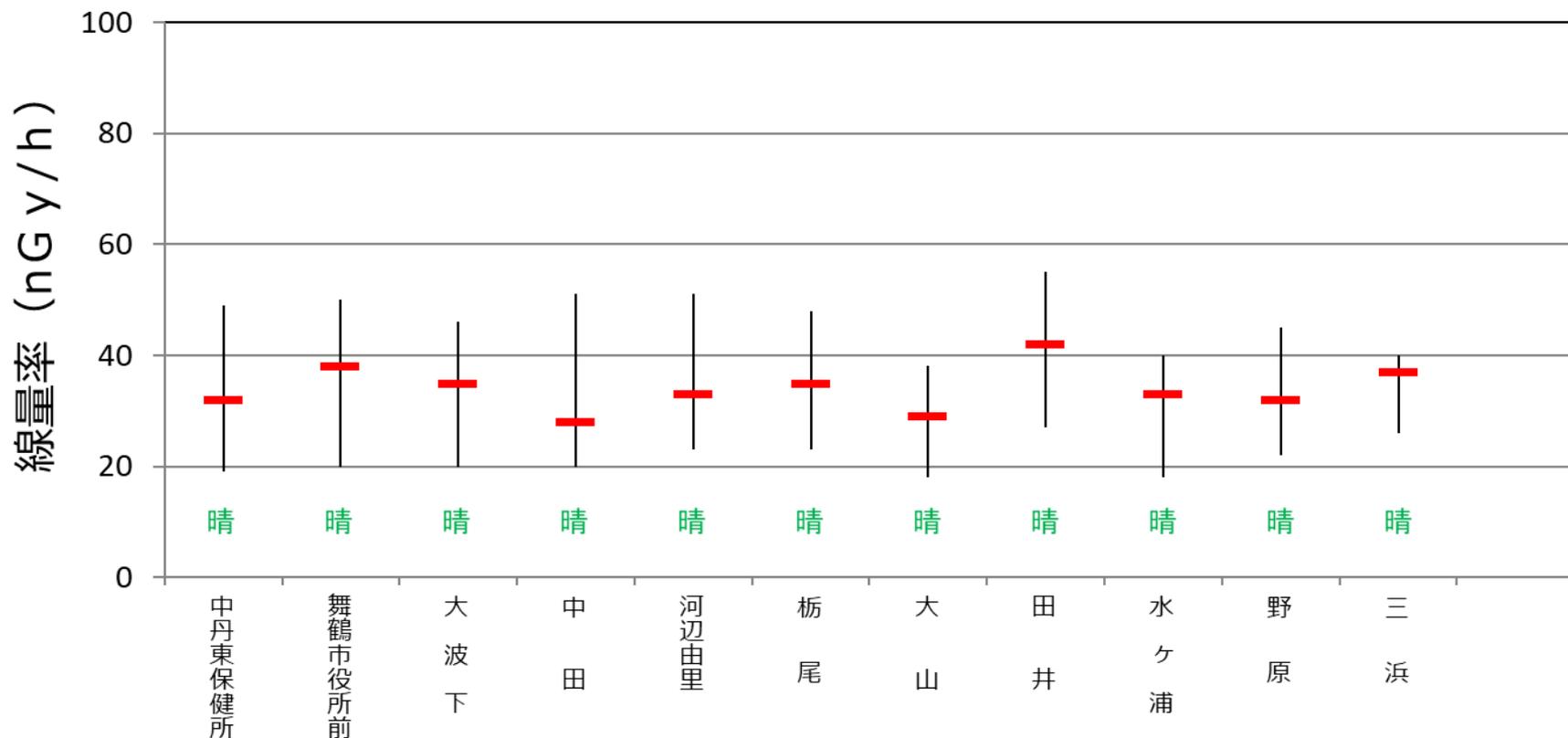


3分間測定(15秒値12回分を平均した値)

平成26~令和5年度の測定値[参考値]。

# 環境放射線調査車 線量率測定結果

## ルート2（東舞鶴地域） 令和6年9月25日



凡例

今回の測定値:



過去10年間の変動範囲:



← 最大値

← 最小値

変動範囲の最大値超過:



変動範囲の最小値超過:

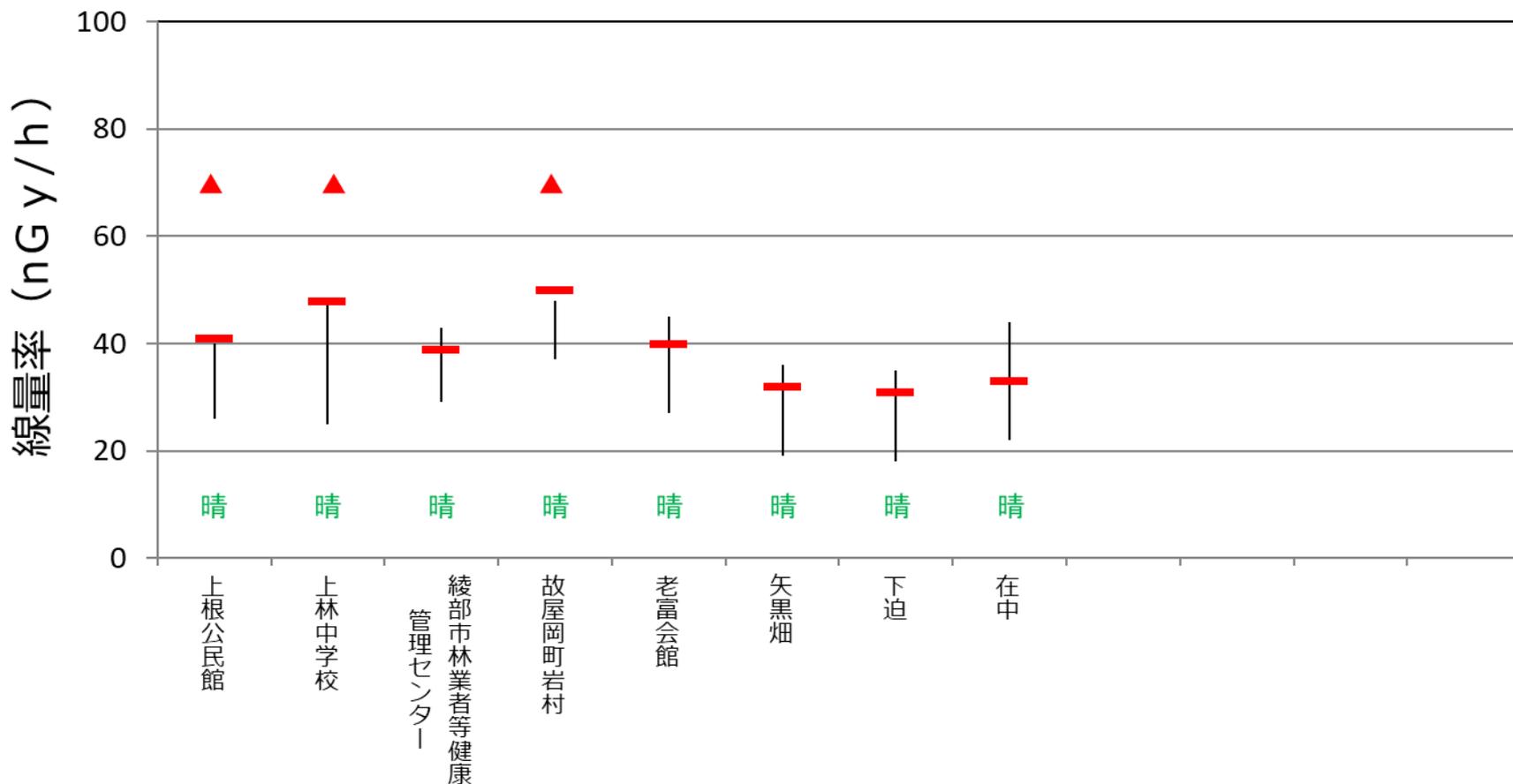


3分間測定(15秒値12回分を平均した値)

平成26~令和5年度の測定値[参考値]。

# 環境放射線調査車 線量率測定結果

## ルート3（綾部老富地区） 令和6年9月20日



凡例

今回の測定値:



過去10年間の変動範囲:



← 最大値

← 最小値

変動範囲の最大値超過:



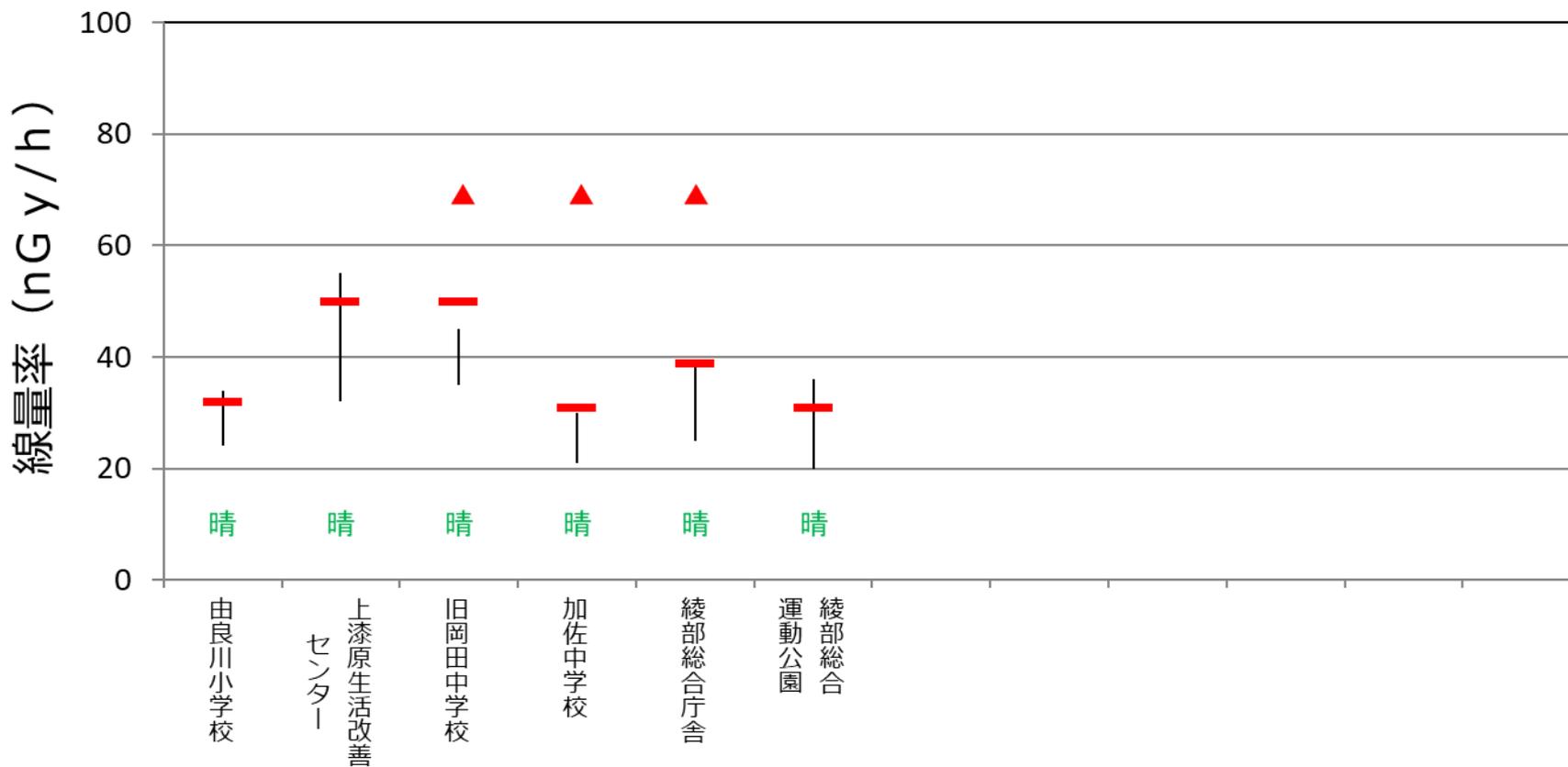
変動範囲の最小値超過:



3分間測定(15秒値12回分を平均した値)

平成26~令和5年度の測定値[参考値]。

## ルート4（綾部・西舞鶴地域） 令和6年9月19日

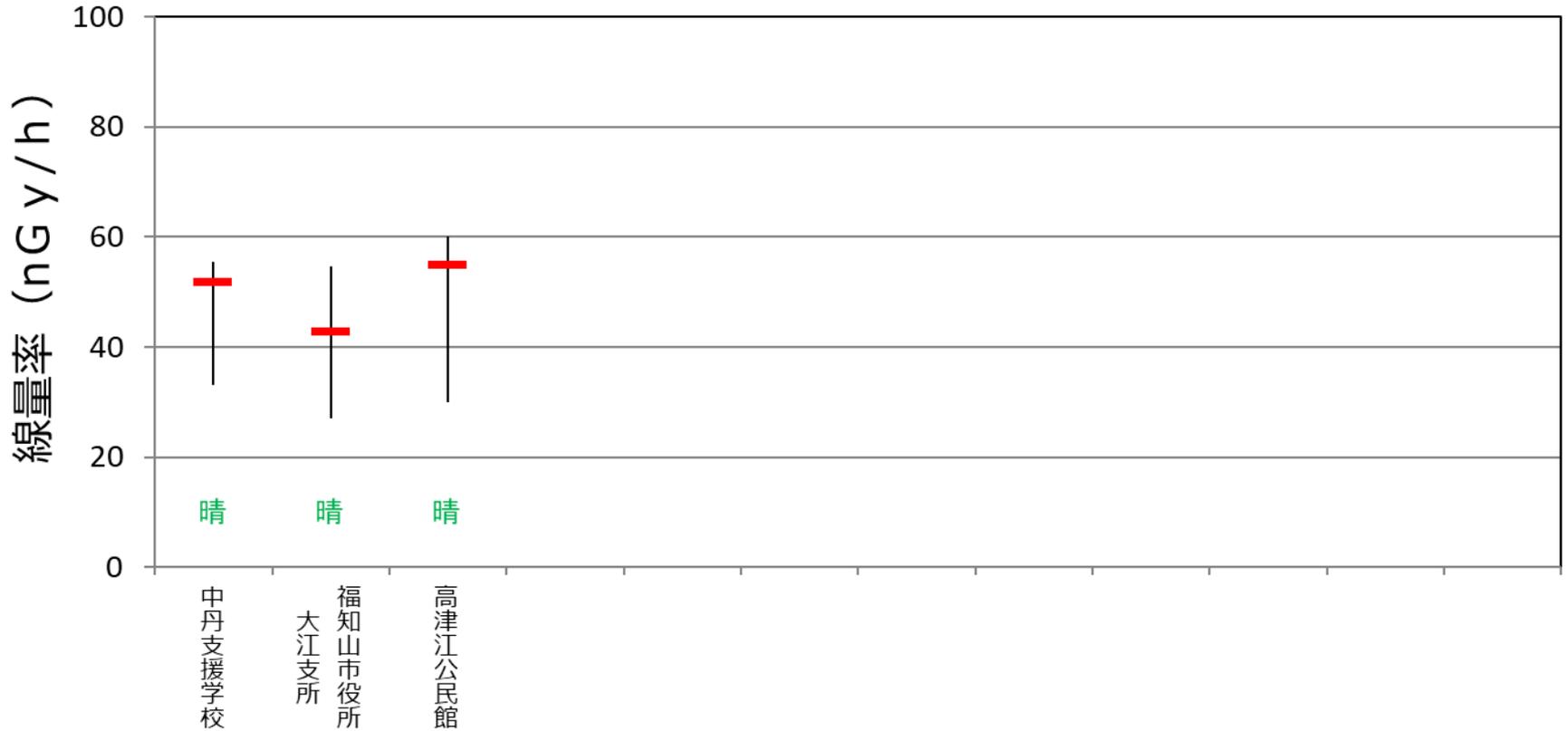


凡例

- 今回の測定値: —
- 過去10年間の変動範囲: | ← 最大値  
← 最小値
- 変動範囲の最大値超過: ▲
- 変動範囲の最小値超過: ▼

3分間測定(15秒値12回分を平均した値)  
平成26~令和5年度の測定値[参考値]。

## ルート5（福知山市区） 令和6年9月13日



凡例

今回の測定値:



過去10年間の変動範囲:



← 最大値

← 最小値

変動範囲の最大値超過:



変動範囲の最小値超過:

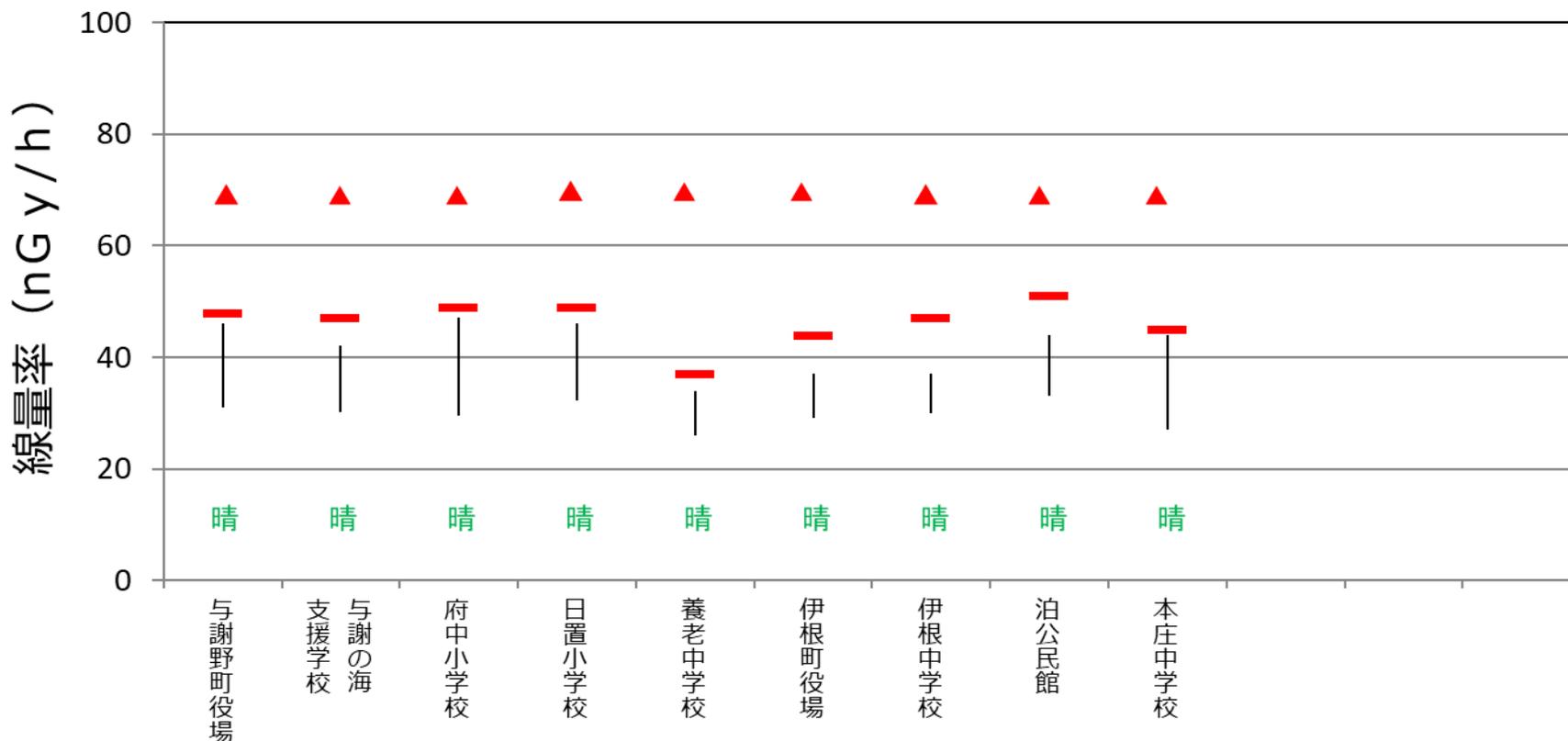


3分間測定(15秒値12回分を平均した値)

平成26~令和5年度の測定値[参考値]。

# 環境放射線調査車 線量率測定結果

## ルート6（伊根・橋北地区） 令和6年9月17日



凡例

今回の測定値: —

過去10年間の変動範囲: |

変動範囲の最大値超過: ▲

変動範囲の最小値超過: ▼

← 最大値

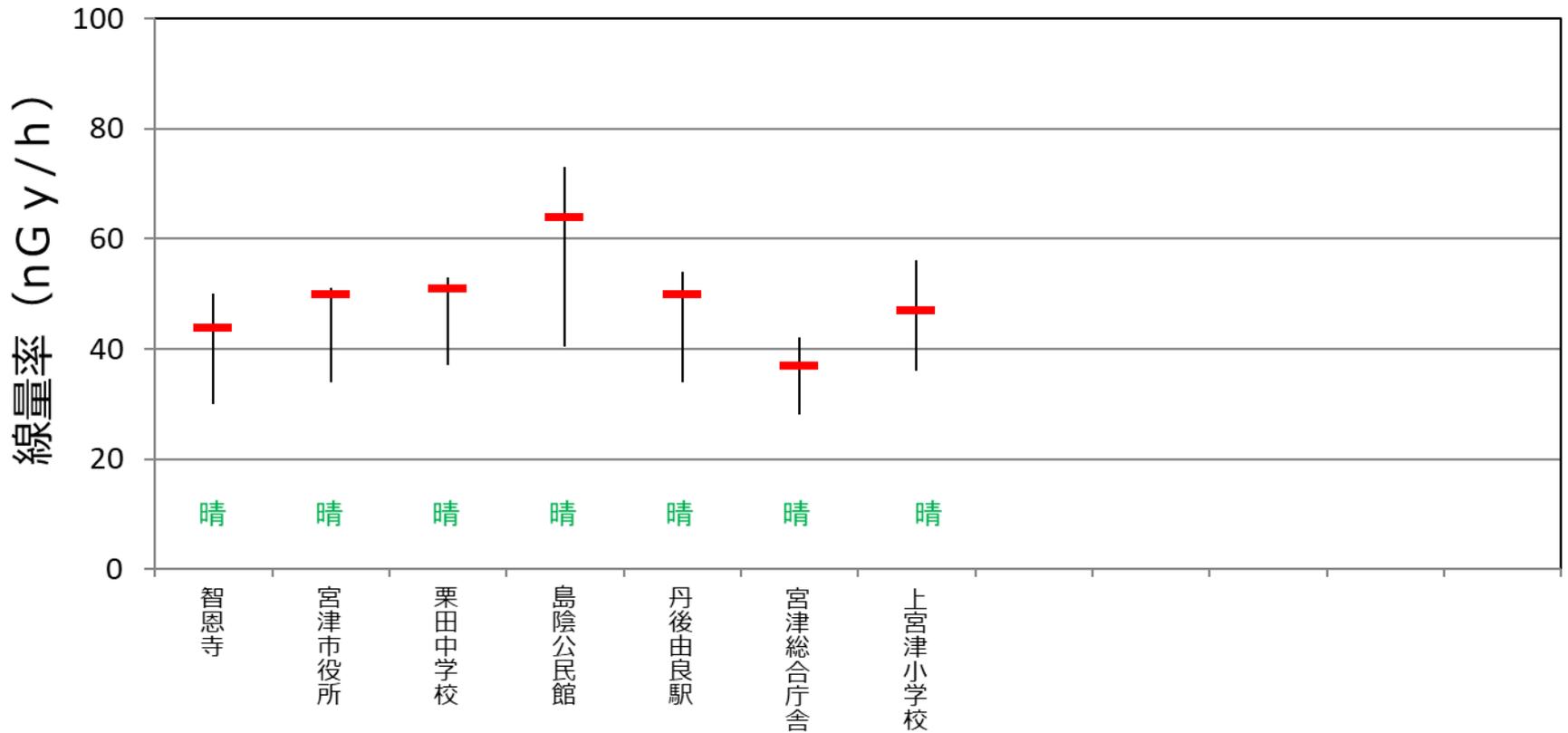
← 最小値

3分間測定(15秒値12回分を平均した値)

平成26～令和5年度の測定値[参考値]。

# 環境放射線調査車 線量率測定結果

## ルート7（宮津・栗田・由良地区） 令和6年9月19日



凡例

今回の測定値:



過去10年間の変動範囲:



← 最大値

← 最小値

変動範囲の最大値超過:



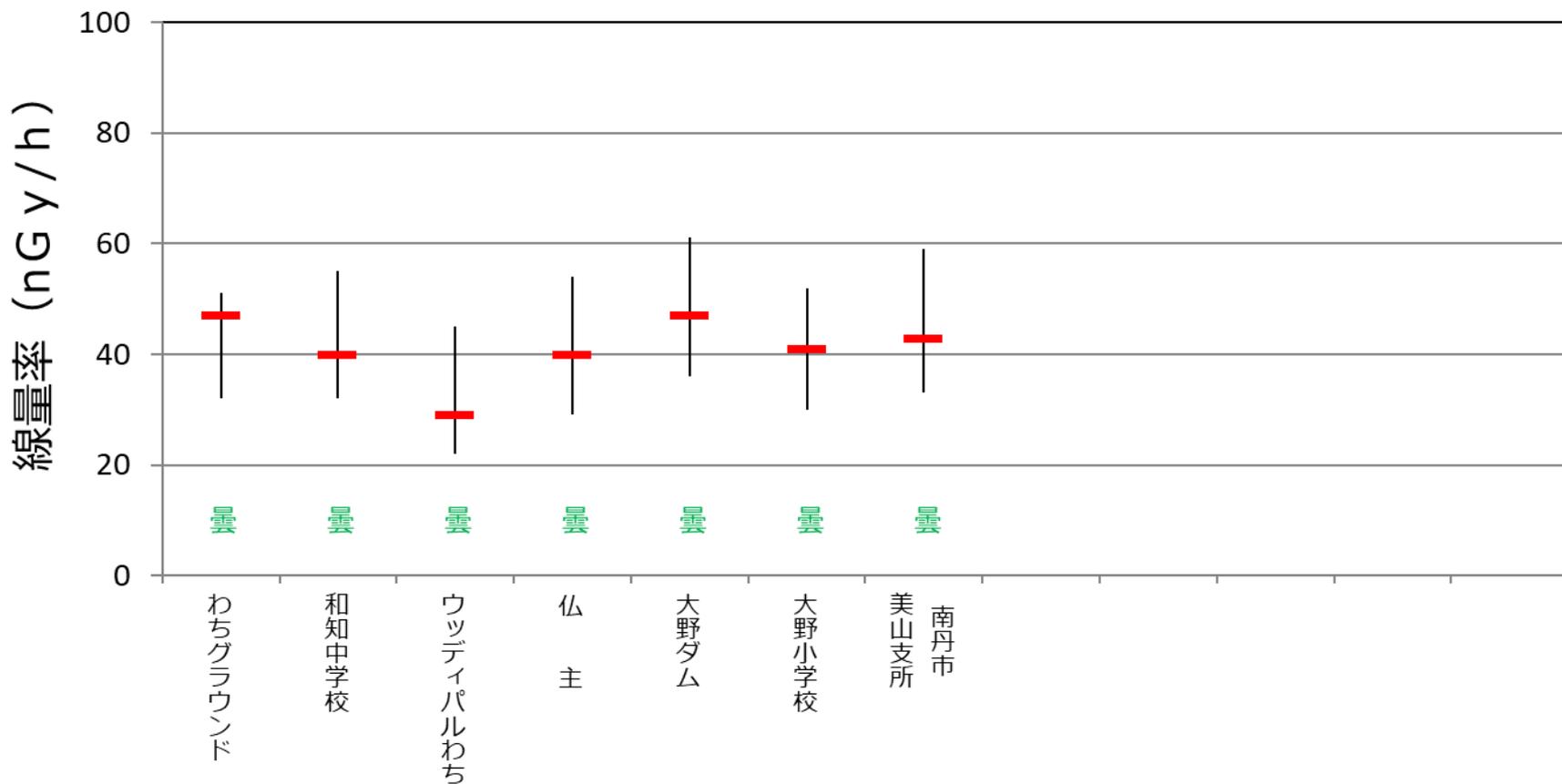
変動範囲の最小値超過:



3分間測定(15秒値12回分を平均した値)

平成26～令和5年度の測定値[参考値]。

## ルート8（京丹波町地域） 令和6年9月3日



凡例

今回の測定値:



過去10年間の変動範囲:



← 最大値

← 最小値

変動範囲の最大値超過:



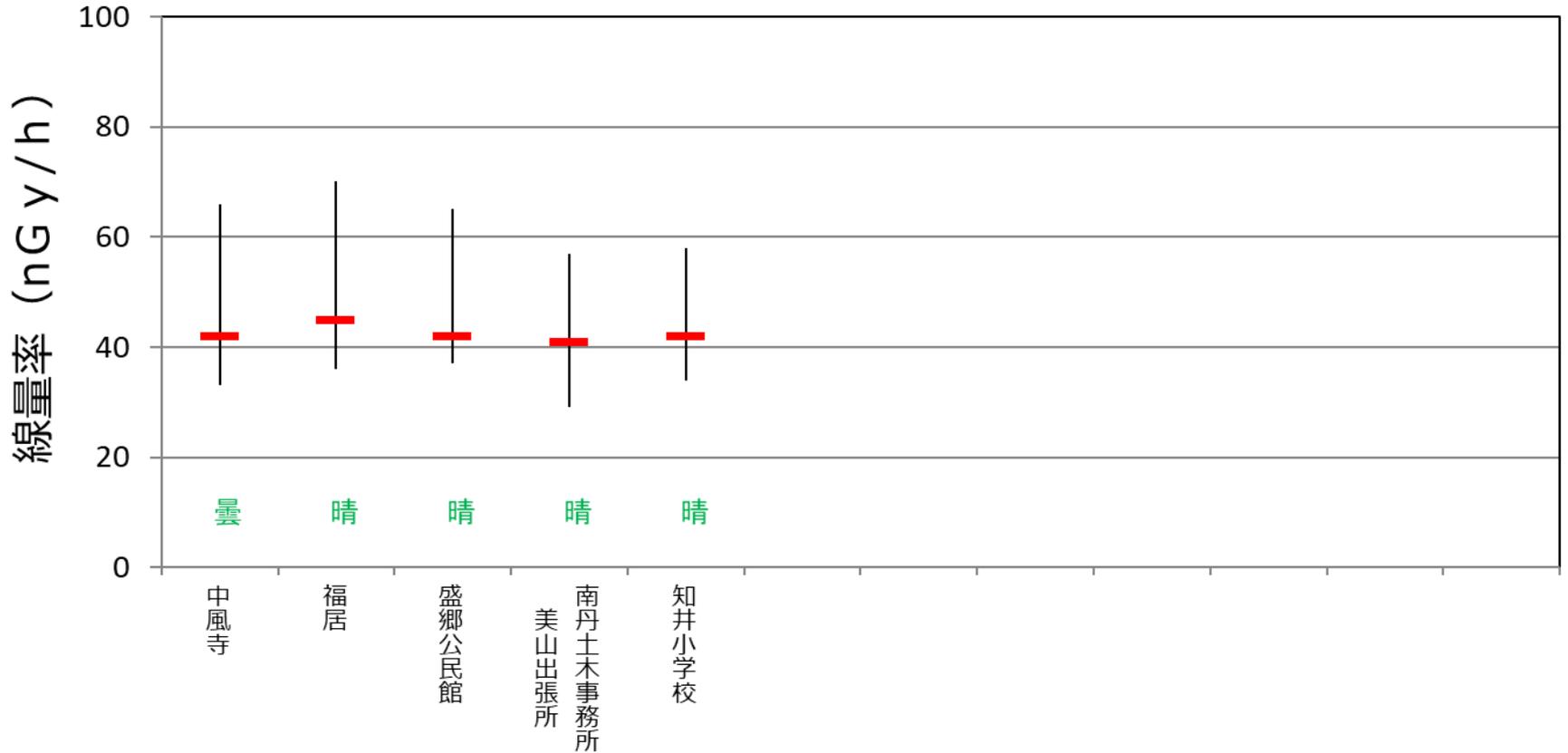
変動範囲の最小値超過:



3分間測定(15秒値12回分を平均した値)

平成26~令和5年度の測定値[参考値]。

## ルート9 (南丹市美山町地域) 令和6年9月3日



凡例

今回の測定値:



過去10年間の変動範囲:



← 最大値

← 最小値

変動範囲の最大値超過:



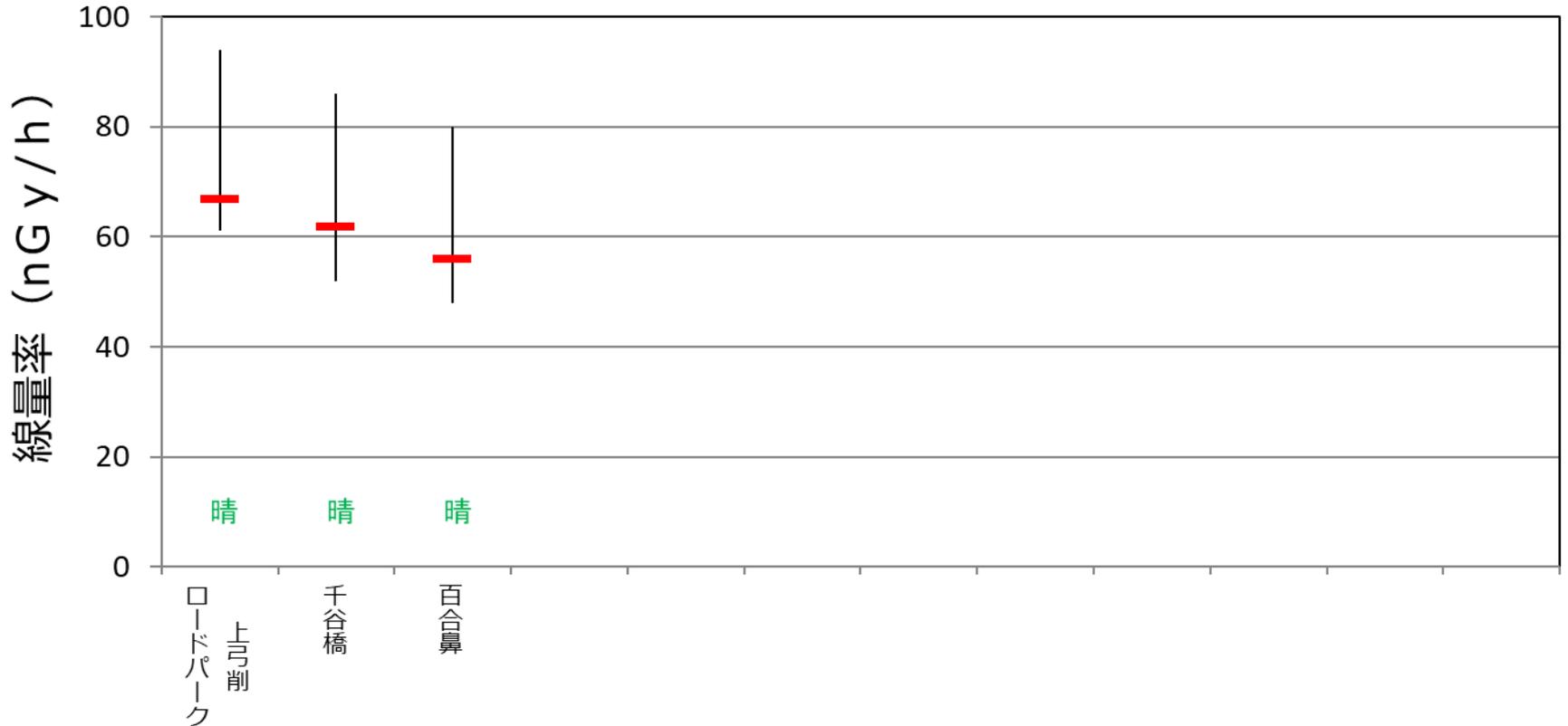
変動範囲の最小値超過:



3分間測定(15秒値12回分を平均した値)

平成26~令和5年度の測定値[参考値]。

## ルート10 (京都市上弓削町地域) 令和6年9月9日

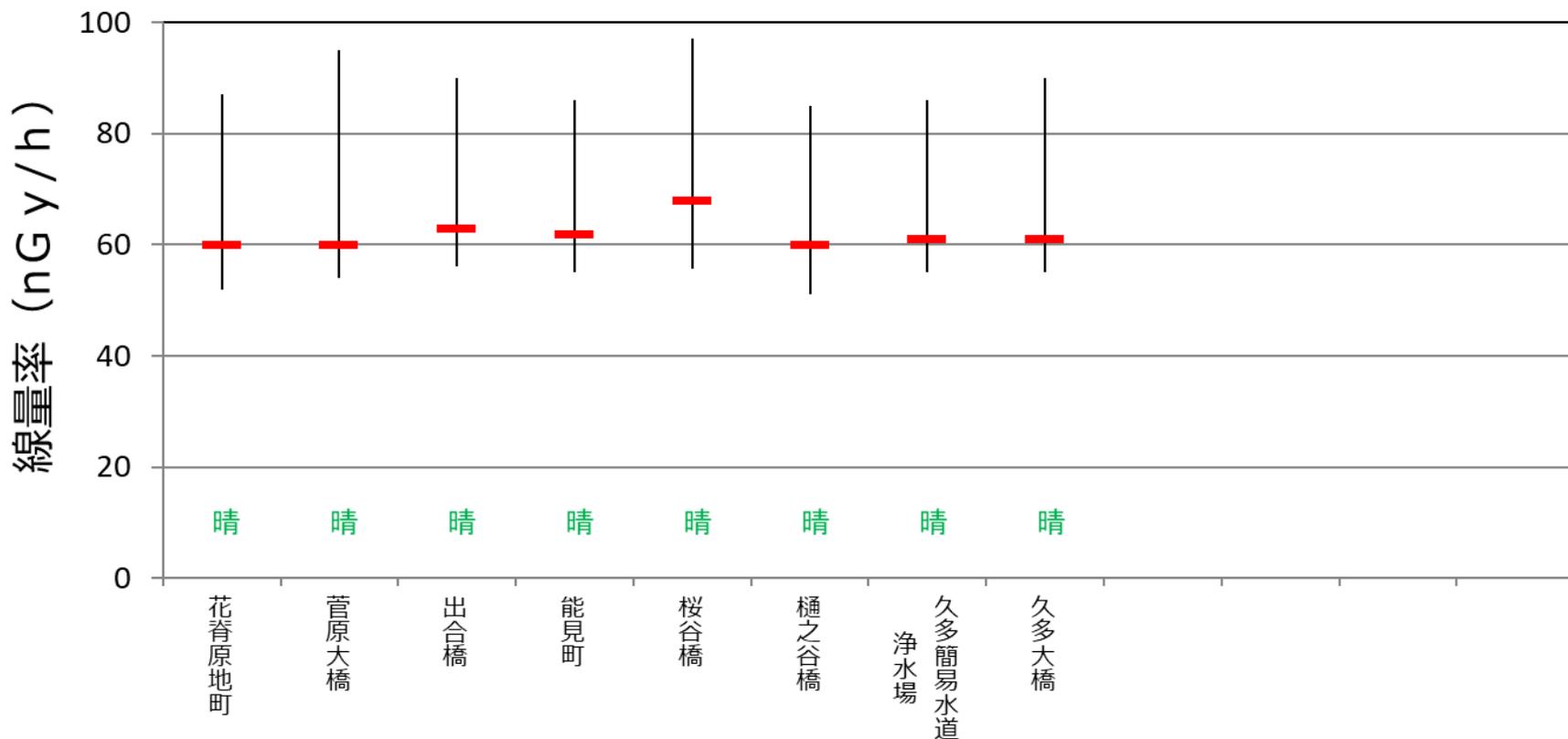


凡例

今回の測定値\*1: —  
 過去3年間の変動範囲:  ← 最大値  
 ← 最小値  
 変動範囲の最大値超過: ▲  
 変動範囲の最小値超過: ▼

\*1 3分間測定(15秒値12回分を平均した値)  
 令和3~5年度の測定値[参考値]。

## ルート1 1 (広河原・久多地域) 令和6年9月9日



凡例

今回の測定値\*1: —  
 過去3年間の変動範囲:  ← 最大値  
 ← 最小値  
 変動範囲の最大値超過: ▲  
 変動範囲の最小値超過: ▼

\*1 3分間測定(15秒値12回分を平均した値)  
 令和3~5年度の測定値[参考値]。

# 令和6年度第2四半期 (令和6年7月～9月)

## 環境放射線測定結果

### ① 測定所での監視

1. 空間放射線空気吸収線量率
2. 浮遊じん中の全 $\alpha$ ・ $\beta$ 放射能
3. 風配図

### ② 環境放射能測定車、環境放射線調査車での監視

1. 環境放射能測定車による測定
2. 環境放射線調査車による測定

### ③ ガンマ線放出核種分析、トリチウム分析結果

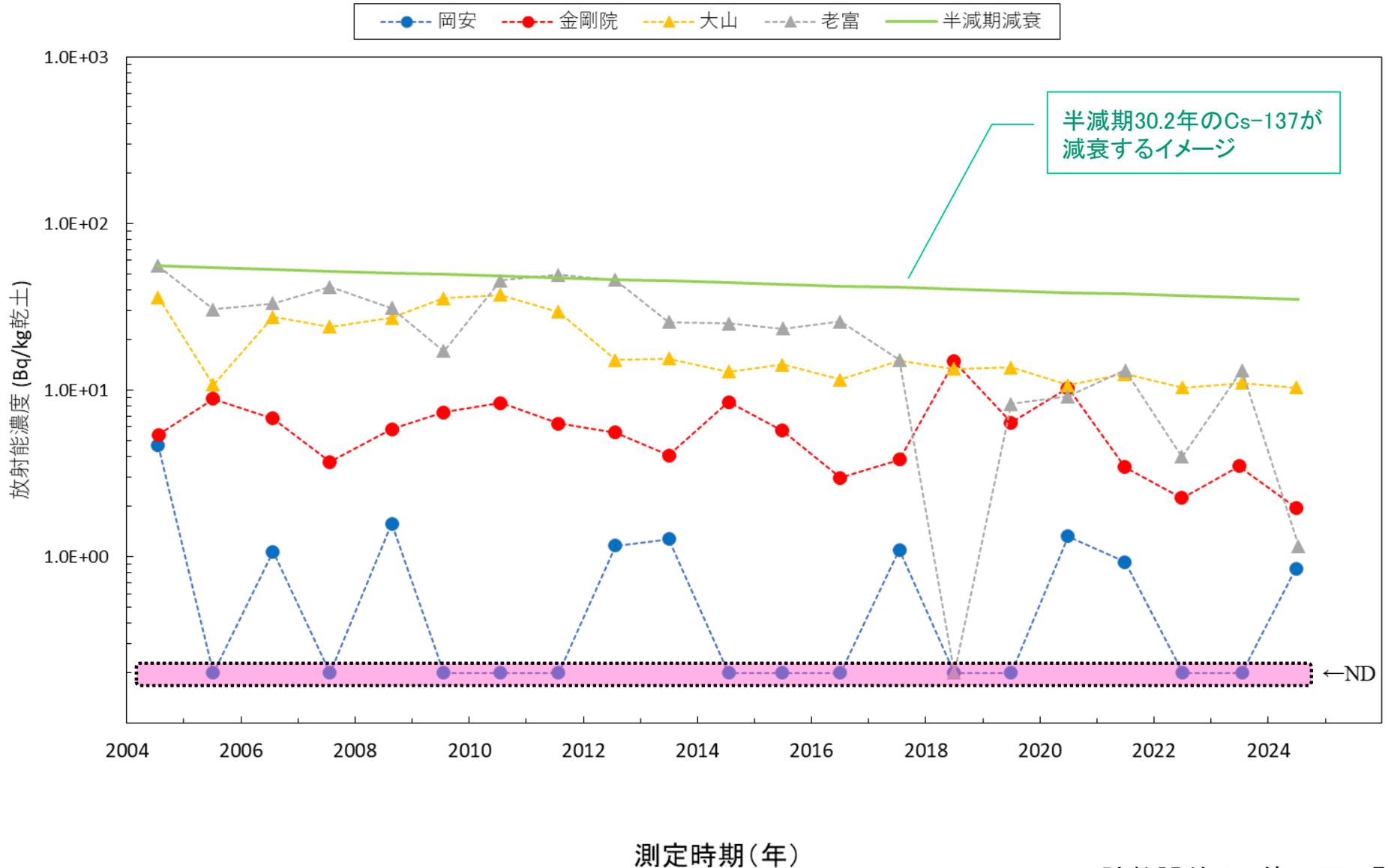
# ガンマ線放出核種分析結果

- 陸土、松葉、海水、海底沈積物  
→ 過去と同程度のCs-137を検出。
- その他（浮遊じん、降下物、きゅうり）  
→ 人工放射性核種は計数誤差の3倍以下。

（資料 1 - 2 p.28 - 30）

# ガンマ線放出核種分析結果

## 陸土中のCs-137の経年変化



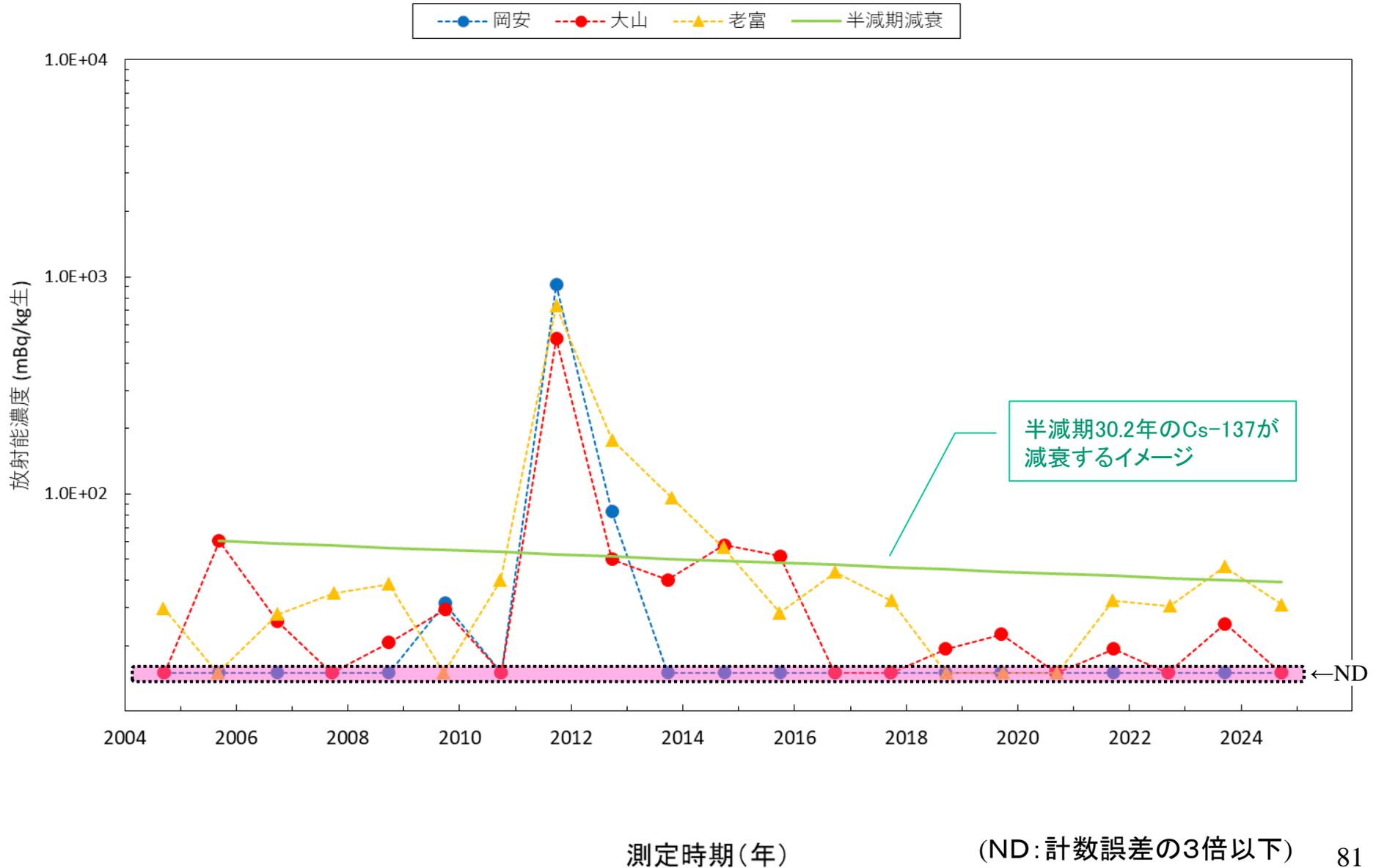
## 陸土中のCs-137の地点別濃度（5年周期地点）

単位：Bq/kg乾土

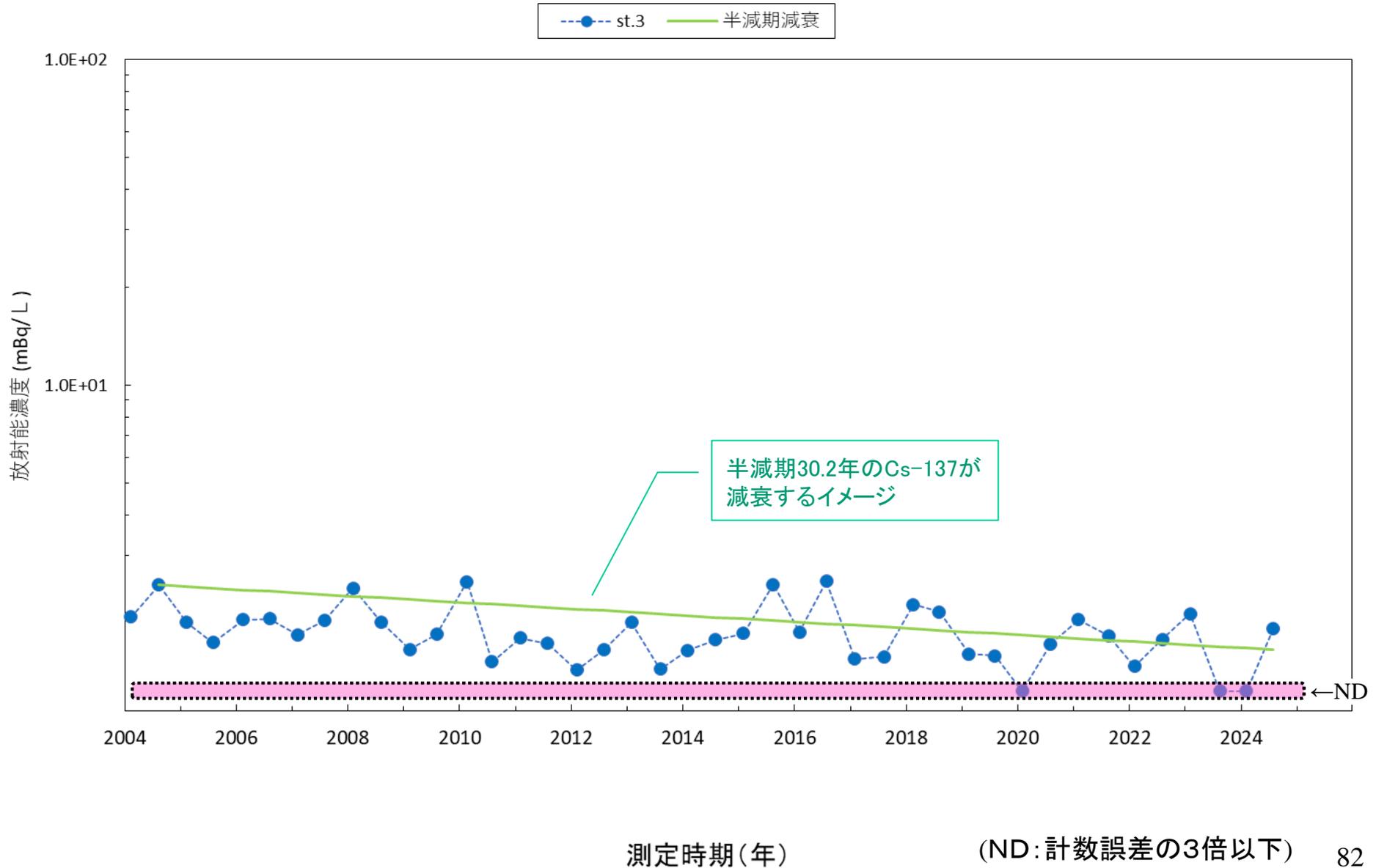
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
広河原	1.4 ± 0.23					ND
倉梯Ⅱ	2.8 ± 0.25					3.2 ± 0.25
知井	ND					ND
養老	ND					ND
塩汲		3.5 ± 0.29				
岡安Ⅱ		4.0 ± 0.26				
上司		ND				
老富Ⅱ		9.5 ± 0.34				
吉坂Ⅱ			2.1 ± 0.23			
八津合			1.8 ± 0.27			
島			ND			
地頭				6.1 ± 0.33		
相生				1.7 ± 0.22		
上杉				2.3 ± 0.26		
日出				1.6 ± 0.25		
本庄					1.8 ± 0.22	
三浜					ND	
神崎					ND	

注：測定値 $N \pm \Delta N$ において $\Delta N$ は計数誤差であり、 $N \leq 3 \times \Delta N$ のとき「検出限界以下」とし、「ND」で表わしている。

# ガンマ線放出核種分析結果 松葉中のCs-137の経年変化

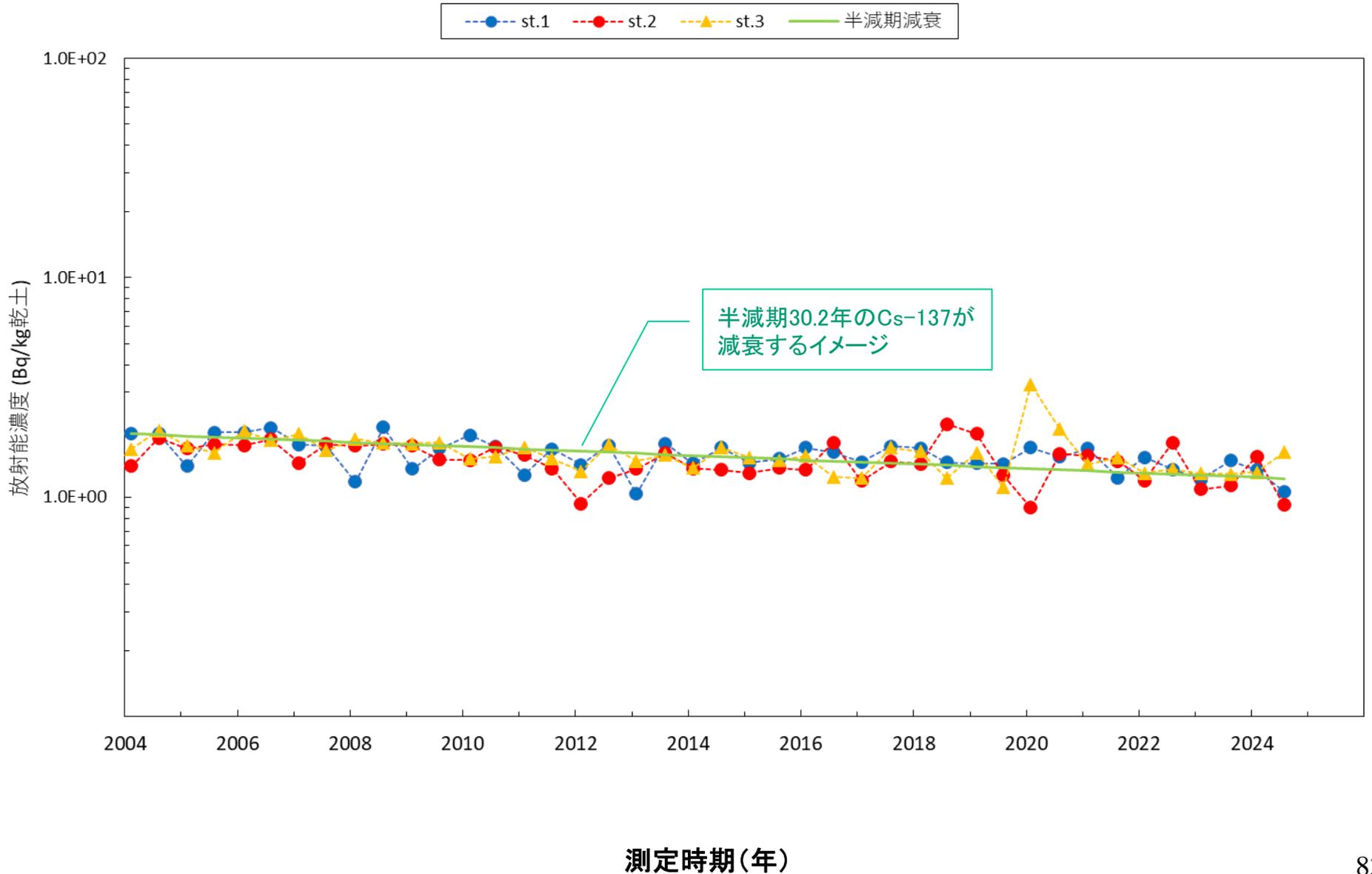


# ガンマ線放出核種分析結果 海水中のCs-137の経年変化



# ガンマ線放出核種分析結果

## 海底沈積物中のCs-137の経年変化



# ガンマ線放出核種分析結果

- 放射性ガス状ヨウ素  
→ 計数誤差の3倍以下

(資料 1 - 2 p.31)

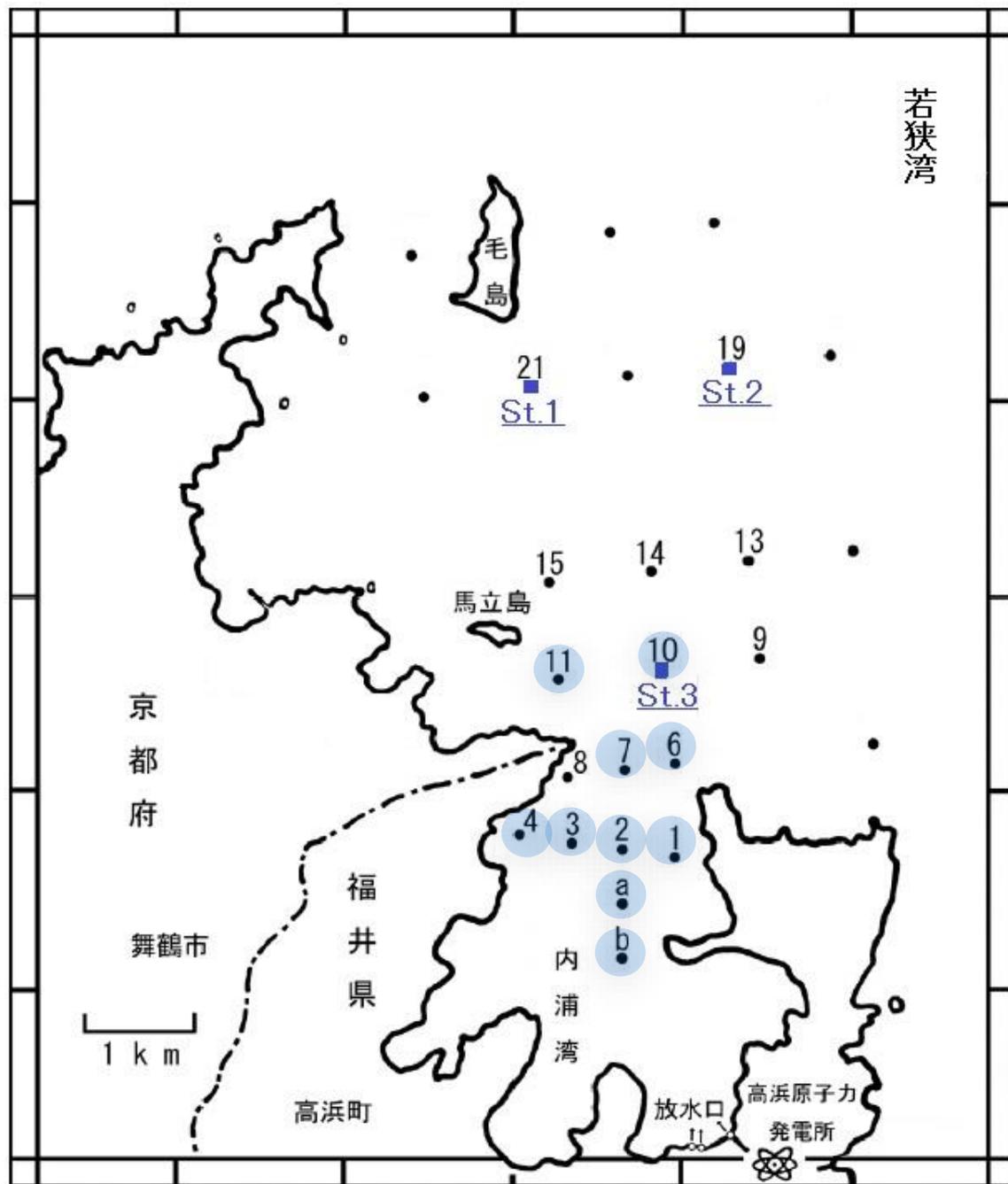
# トリチウム分析結果

➤ 17地点の海水を測定。  
(今期採水：8月)

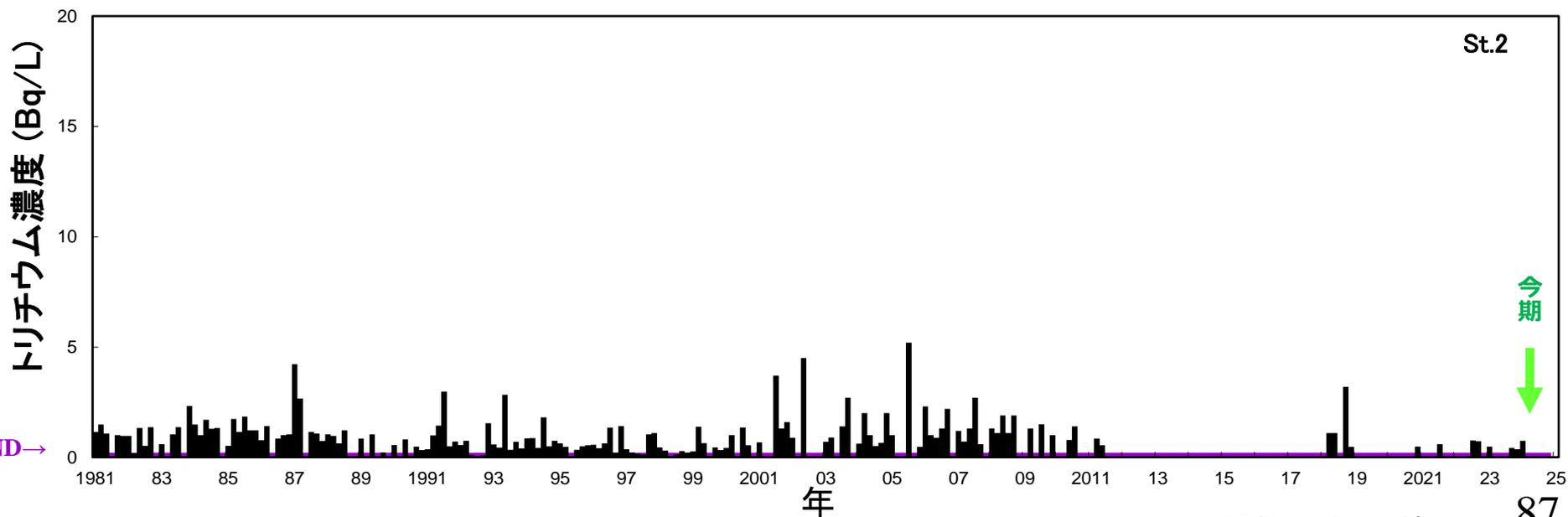
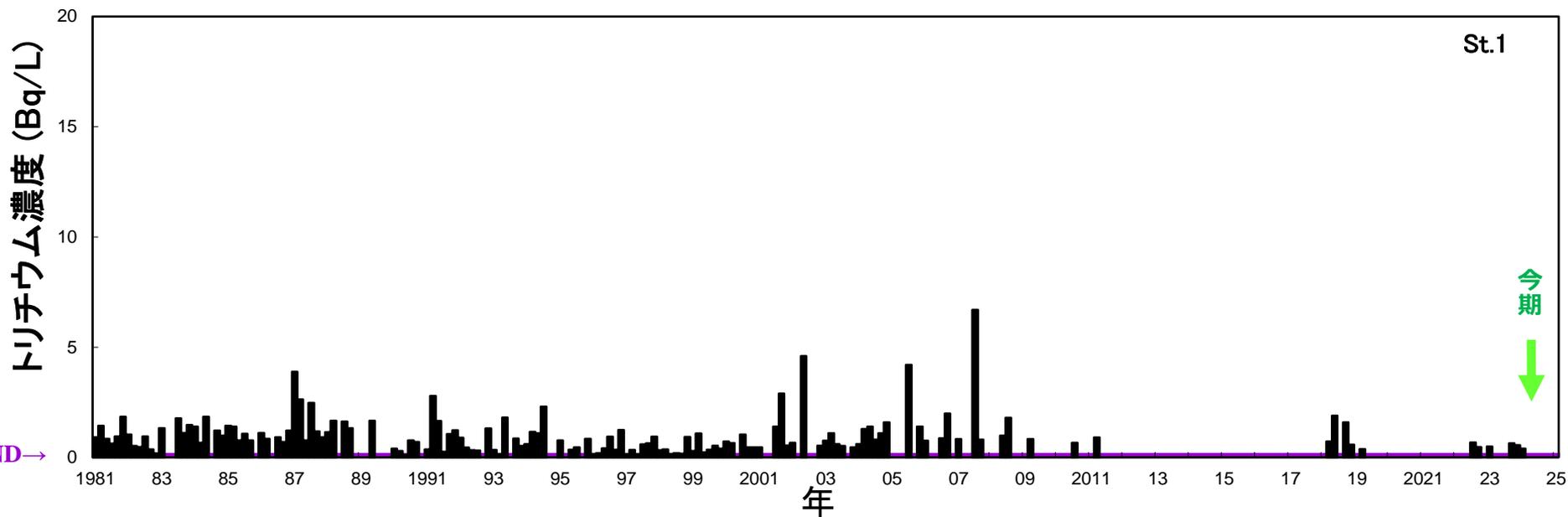
→ 10地点でSt. 1～3における過去  
10年間の変動範囲内で検出。

(資料1 - 2 p.32)

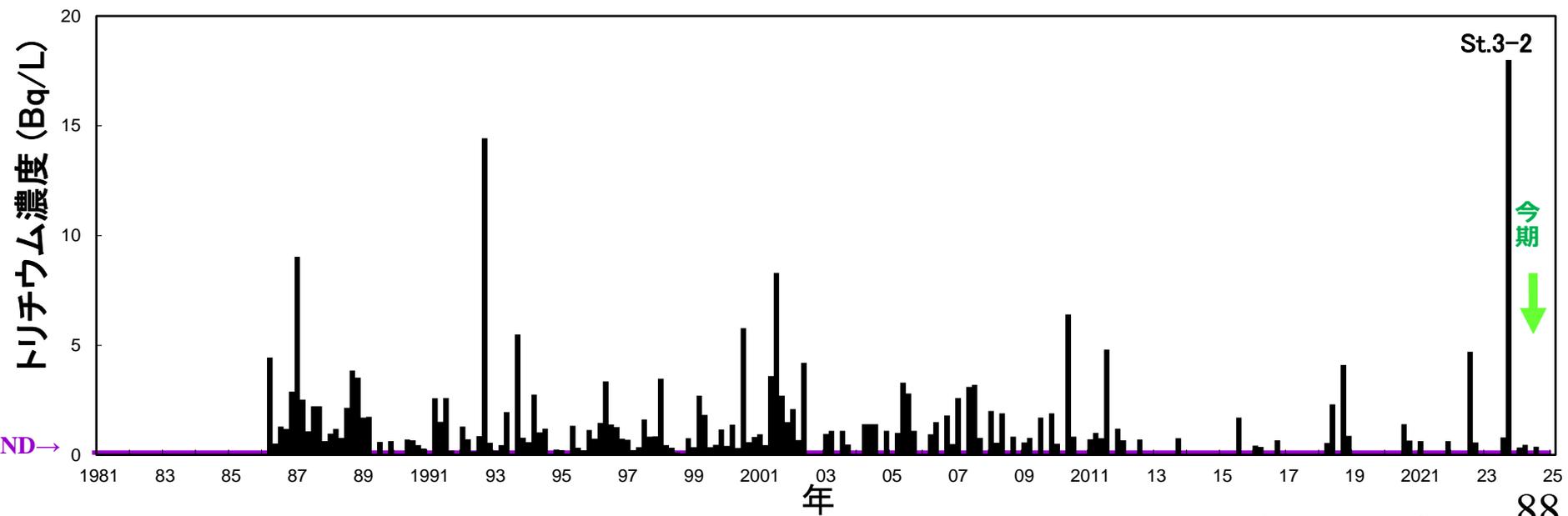
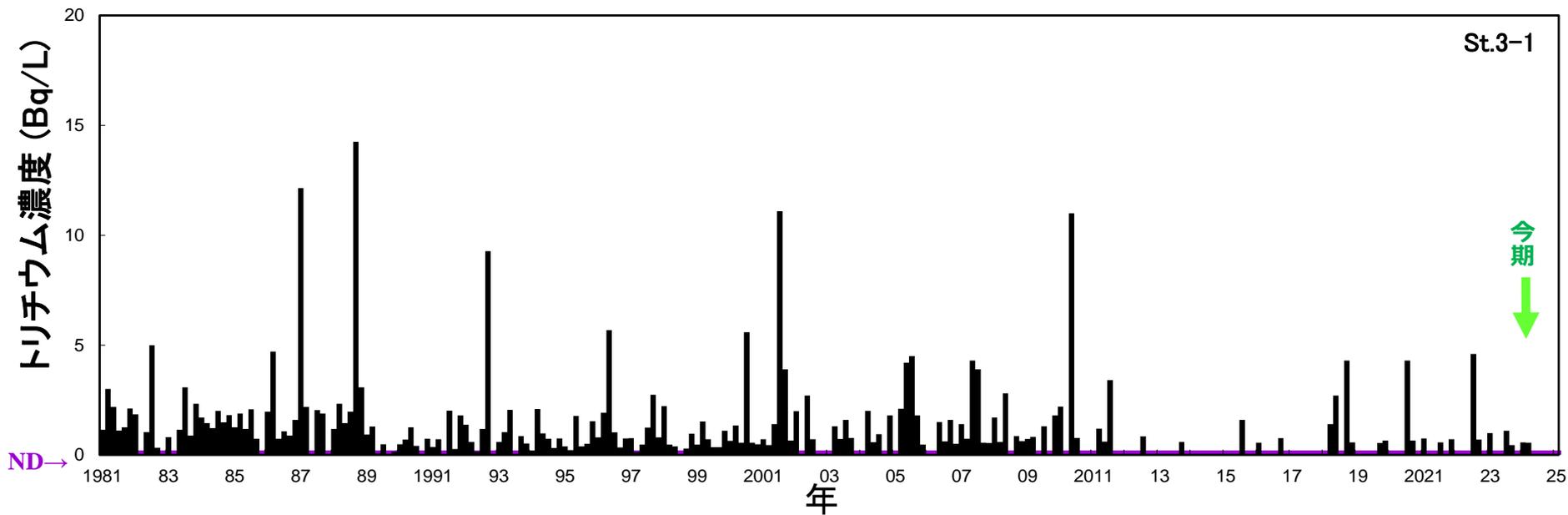
# 海水採取地点



# 海水中のトリチウム濃度の経年変化



# 海水中のトリチウム濃度の経年変化



# 令和6年度第2四半期 (令和6年7月～9月)

環境放射線測定結果は  
以上のとおりでした。